

2015年度
調査委員会報告書

2017年7月

調査委員会

【目次】

	ページ
00-はじめに(小橋岳史委員長) 1
01-「ソーシャルラーニングに関するweb調査」(2014年10月実施) 2
02-「モバイルラーニングに関するweb調査」(2015年2月実施) 11
11-「生活者のeラーニング利用状況実態調査」<第1回>(2015年5月実施) 37
12-「eラーニングの関連技術に関するWebアンケート」<第1回>(2015年12月実施) 66
13-「生活者のeラーニング利用状況実態調査」<第2回>(2016年3月実施) 88

はじめに

本報告書は2014年から2016年にかけて日本イーラーニングコンソシアムの調査委員会が実施した調査結果をまとめたものです。

モバイルデバイスやSNSの急速な浸透は、従来のeラーニング環境に大きな変革をもたらしています。この変革を客観的に、定量的に把握できないかという要望から本報告書で示した調査を企画・実施しました。

具体的にはソーシャルラーニング、モバイルラーニング、eラーニング関連技術、そして広く一般的な認知度を問う生活者のeラーニングという4つの調査を実施しその結果を掲載しています。

本報告書がeラーニングに関わる、もしくは興味のあるすべての皆様に対し、有益な情報をご提供しご判断の一助なることができれば望外の喜びです。

調査委員会
委員長 小橋岳史

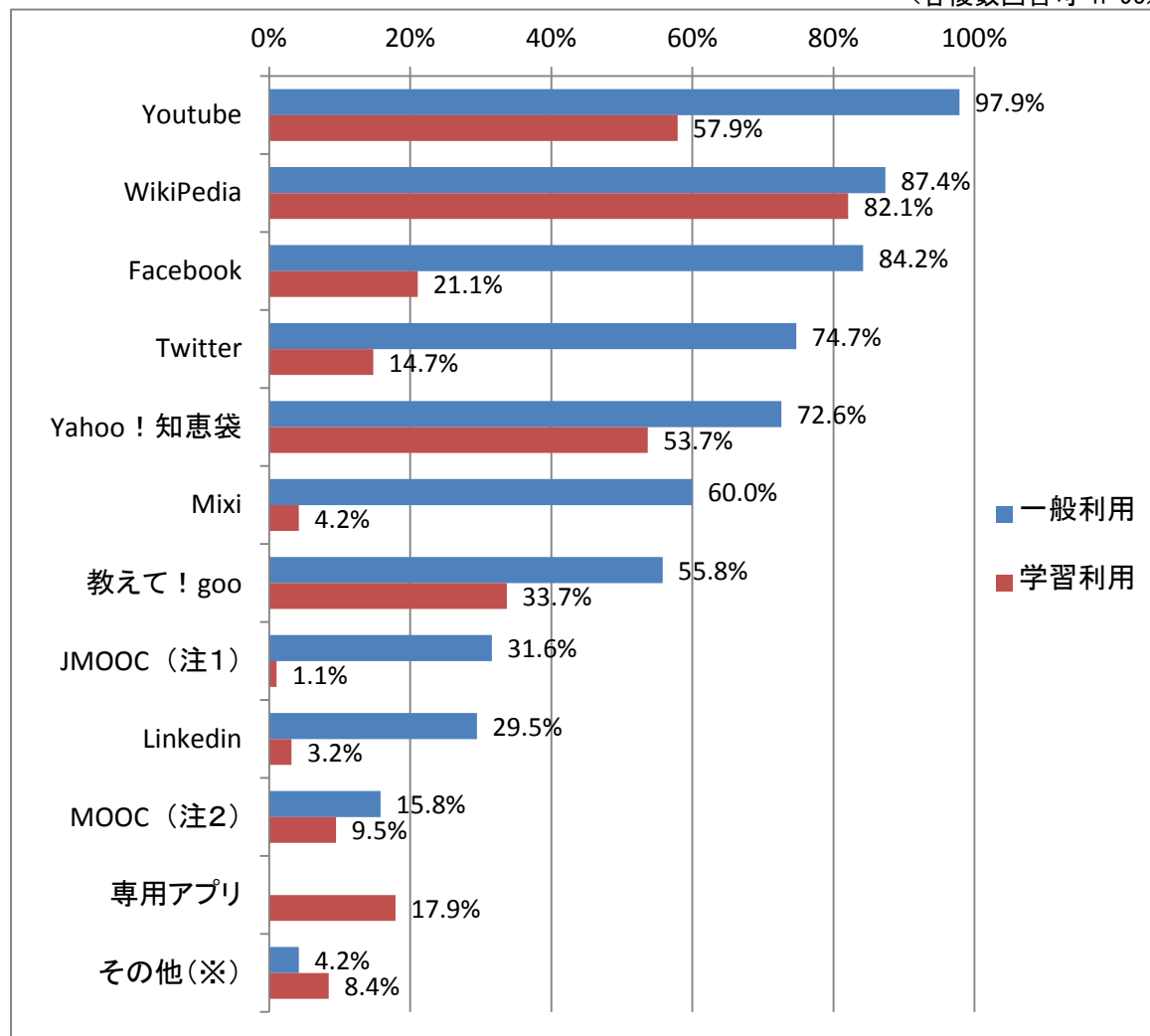
01-ソーシャルラーニングに関するweb調査

【調査の概要】

- ・調査対象者： eLC事務局登録者
- ・サンプル数： 95 サンプル
- ・調査年月： 2014年10月

A. 利用したことがある(過去にあったも含む)インターネットのサービス

<各複数回答可・n=95>



	回答数(n=95)		%	
	一般利用	学習利用	一般利用	学習利用
Youtube	93	55	97.9%	57.9%
WikiPedia	83	78	87.4%	82.1%
Facebook	80	20	84.2%	21.1%
Twitter	71	14	74.7%	14.7%
Yahoo! 知恵袋	69	51	72.6%	53.7%
Mixi	57	4	60.0%	4.2%
教えて! goo	53	32	55.8%	33.7%
JMOOC(注1)	30	1	31.6%	1.1%
Linkedin	28	3	29.5%	3.2%
MOOC(注2)	15	9	15.8%	9.5%
専用アプリ		17		17.9%
その他(※)	4	8	4.2%	8.4%

※その他の回答
<一般利用>

- ・Google Drive, iGoogle, Dropbox, O366, 各種フリーメール, MyYahoo, ICQ, IRC,...etc...
- ・色々
- ・ニコニコ動画
- ・ShareWis

<学習利用>

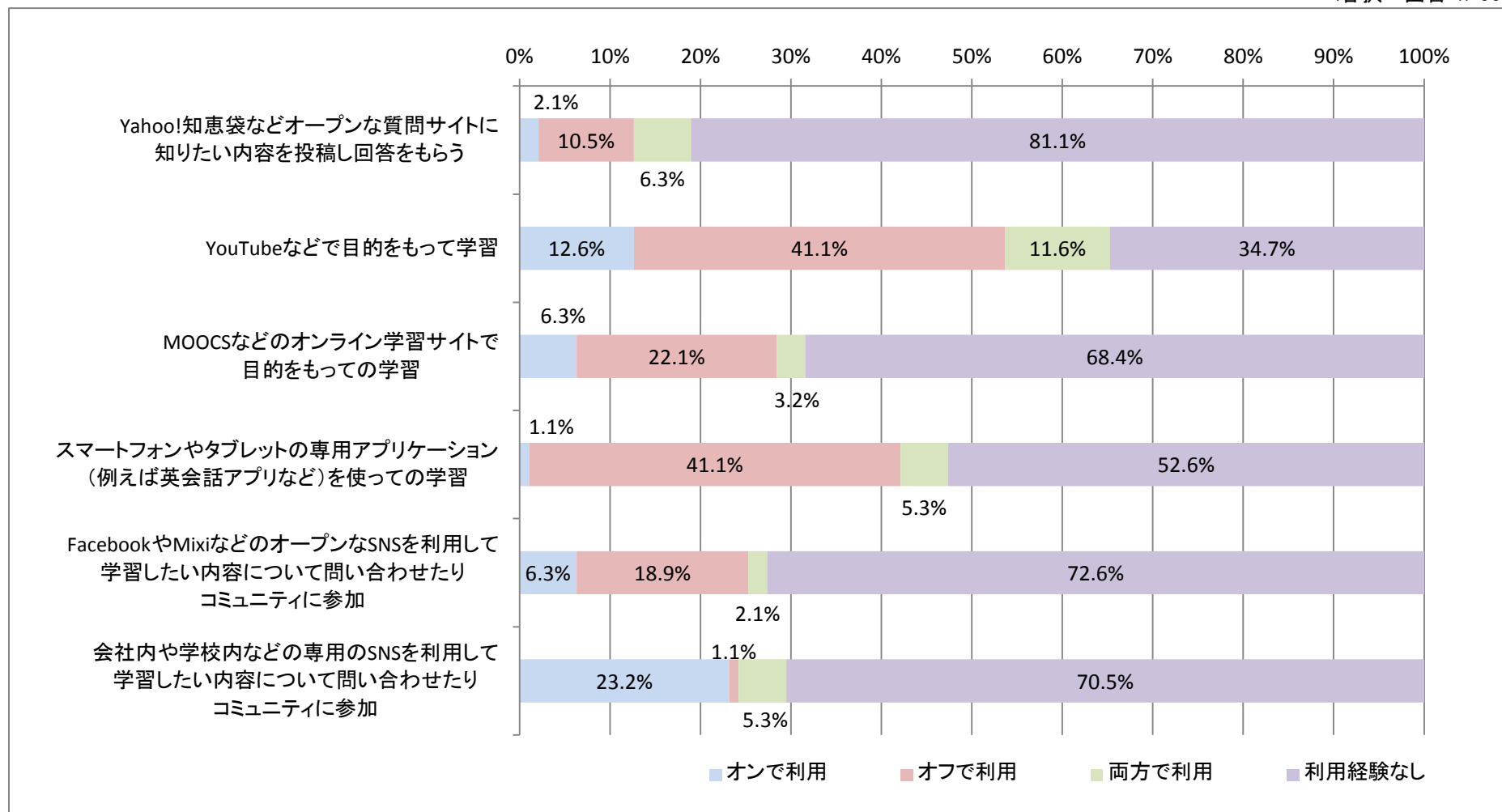
- ・google (4件)
- ・ニコニコ動画
- ・ShareWis
- ・検索エンジン
- ・Podcast

注1) JMOOC ... gacco、OpenLearning、OUJ MOOC

注2) MOOC ... Coursera、edX、Udacity

B-1. 学習形態別の利用経験

<各択一回答・n=95>

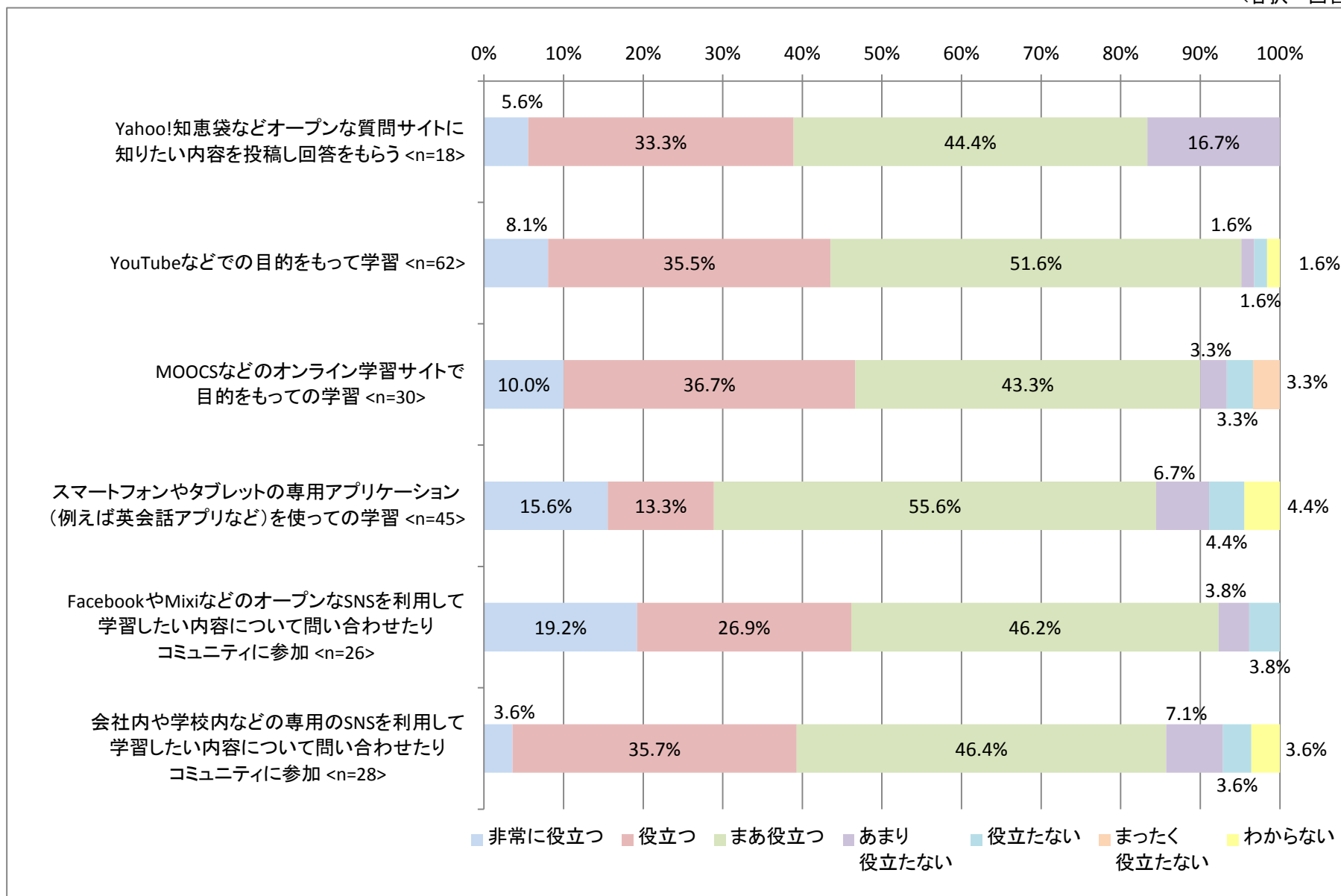


※『オンでの利用』、『オフでの利用』について
 “オン”とは、会社や学校での利用
 “オフ”とは、プライベートでの利用

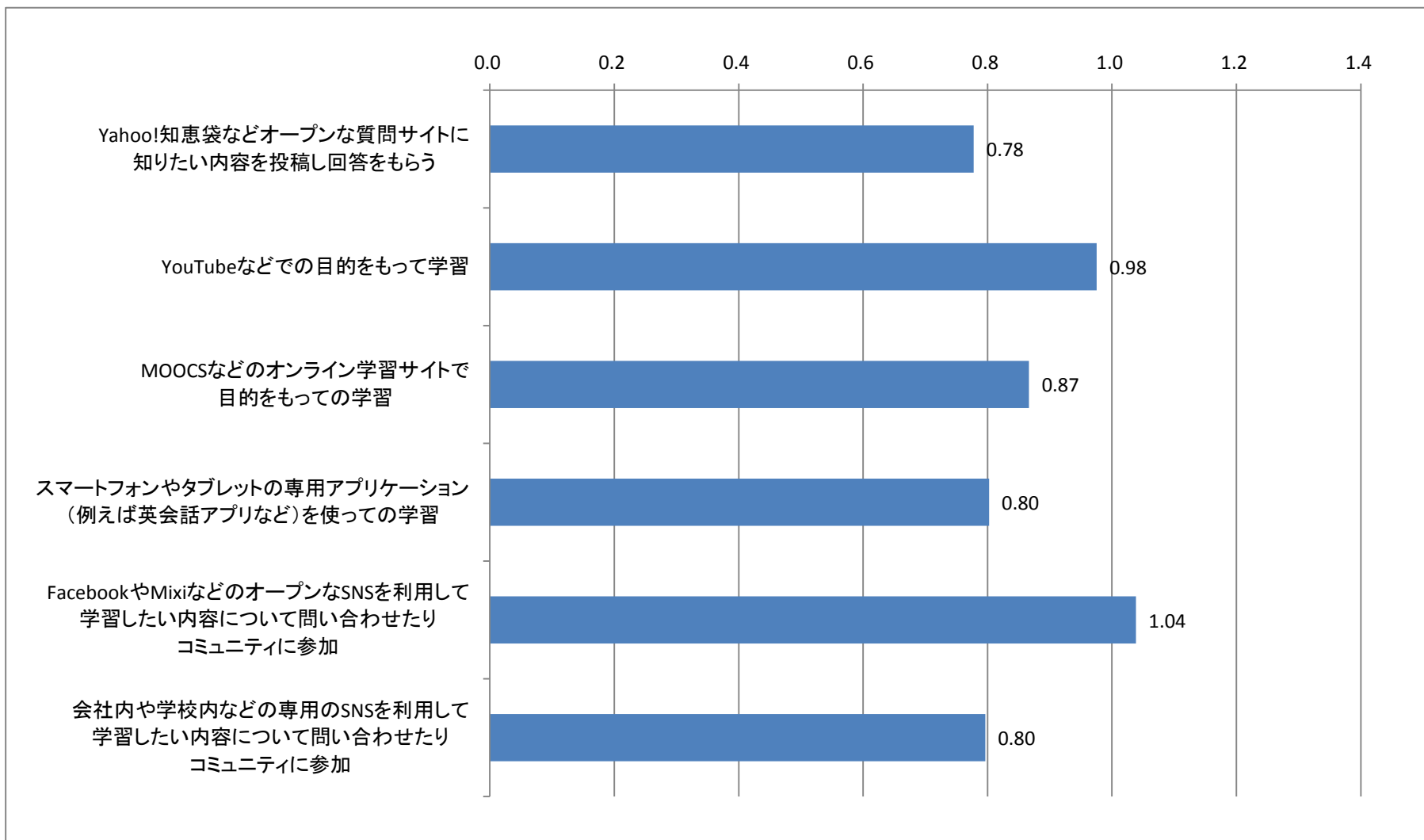
		オンで利用	オフで利用	両方で利用	利用経験なし	計(n)
回答数	Yahoo!知恵袋などオープンな質問サイトに 知りたい内容を投稿し回答をもらう	2	10	6	77	95
	YouTubeなどで目的をもって学習	12	39	11	33	95
	MOOCSなどのオンライン学習サイトで 目的をもつての学習	6	21	3	65	95
	スマートフォンやタブレットの専用アプリケーション (例えば英会話アプリなど)を使っての学習	1	39	5	50	95
	FacebookやMixiなどのオープンなSNSを利用し て 学習したい内容について問い合わせたり	6	18	2	69	95
	会社内や学校内などの専用のSNSを利用して 学習したい内容について問い合わせたり コミュニティに参加	22	1	5	67	95
%	Yahoo!知恵袋などオープンな質問サイトに 知りたい内容を投稿し回答をもらう	2.1%	10.5%	6.3%	81.1%	100.0%
	YouTubeなどで目的をもって学習	12.6%	41.1%	11.6%	34.7%	100.0%
	MOOCSなどのオンライン学習サイトで 目的をもつての学習	6.3%	22.1%	3.2%	68.4%	100.0%
	スマートフォンやタブレットの専用アプリケーション (例えば英会話アプリなど)を使っての学習	1.1%	41.1%	5.3%	52.6%	100.0%
	FacebookやMixiなどのオープンなSNSを利用し て 学習したい内容について問い合わせたり	6.3%	18.9%	2.1%	72.6%	100.0%
	会社内や学校内などの専用のSNSを利用して 学習したい内容について問い合わせたり コミュニティに参加	23.2%	1.1%	5.3%	70.5%	100.0%

B-2. 学習形態別の役立ち具合

<各択一回答>



＜“役立ち具合”の加重平均ポイント＞



※ 加重平均ポイントの計算方法
 (“非常に役立つ”の回答数x2.5ポイント + “役立つ”x1.5 + “まあ役立つ”x0.5
 + “あまり役立たない”x-0.5 + “役立たない”x-1.5 + “まったく役立たない”x-2.5)
 ÷ (計(n) - “わからない”)

		非常に役立つ	役立つ	まあ役立つ	役にあまり立たない	役に立たない	役にまったく立たない	わからない	計(n)	利用経験なし	加重平均ポイント
回答数	Yahoo!知恵袋などオープンな質問サイトに知りたい内容を投稿し回答をもらう	1	6	8	3	0	0	0	18	77	0.78
	YouTubeなどでの目的をもって学習	5	22	32	1	1	0	1	62	33	0.98
	MOOCSなどのオンライン学習サイトで目的をもっての学習	3	11	13	1	1	1	0	30	65	0.87
	スマートフォンやタブレットの専用アプリケーション(例えば英会話アプリなど)を使っての学習	7	6	25	3	2	0	2	45	50	0.80
	FacebookやMixiなどのオープンなSNSを利用して学習したい内容について問い合わせたり	5	7	12	1	1	0	0	26	69	1.04
	会社内や学校内などの専用のSNSを利用して学習したい内容について問い合わせたりコミュニティに参加	1	10	13	2	1	0	1	28	67	0.80
%	Yahoo!知恵袋などオープンな質問サイトに知りたい内容を投稿し回答をもらう <n=18>	5.6%	33.3%	44.4%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
	YouTubeなどでの目的をもって学習 <n=62>	8.1%	35.5%	51.6%	1.6%	1.6%	0.0%	1.6%	100.0%		
	MOOCSなどのオンライン学習サイトで目的をもっての学習 <n=30>	10.0%	36.7%	43.3%	3.3%	3.3%	3.3%	0.0%	100.0%		
	スマートフォンやタブレットの専用アプリケーション(例えば英会話アプリなど)を使っての学習	15.6%	13.3%	55.6%	6.7%	4.4%	0.0%	4.4%	100.0%		
	FacebookやMixiなどのオープンなSNSを利用して学習したい内容について問い合わせたり	19.2%	26.9%	46.2%	3.8%	3.8%	0.0%	0.0%	100.0%		
	会社内や学校内などの専用のSNSを利用して学習したい内容について問い合わせたりコミュニティに参加 <n=28>	3.6%	35.7%	46.4%	7.1%	3.6%	0.0%	3.6%	100.0%		

C. その他、行ったことがあるICTを利用した学びの方法

- ・ CiNii閲覧による学术论文の講読
- ・ DropBoxやEverNoteなどに、自分のメモを書きこむGoogle+で資料画像を整理したホワイトボードに書いた内容をデジカメで保存した手書きの資料をPDFにしてファイリングしたWeb会議を利用して講義を行った。
- ・ eLCのeラーニング
- ・ e-learning, Webinar, Digital book
- ・ e-Learningを使用した学習
- ・ elpベーシック資格
- ・ <http://www.tagindex.com/>など、専門の出典サイトで知識を得る。
- ・ ICTの範囲が広すぎて書ききれない。
- ・ Podcast
- ・ SHARE WIS
- ・ Skypeを使った学び、slide share などの選択学習、企業や団体が実施しているE-learningなど
- ・ インターネットで調べたいことを検索する。
- ・ コース受講
- ・ ソーシャルではない、いわゆるe-Learningシステム。座学のデジタル版
- ・ ロゼッタストーンなどオンライン連動型英会話。
- ・ 暗記補助アプリ
- ・ 画像検索専門家によるチュートリアル系ブログ普通に仕事をしているとアナログの補完的にしかICTを利用して学ぶことがなくて思いつかず。申し訳ございません。
- ・ 外国語の学習グループの仲間でFacebookの非公開グループをつくり、情報交換や進捗状況を報告しあいました。そのときに、自己紹介やスピーキングの練習動画を各自で作成し、YouTubeにアップして互いにコメントしました。1週間に1度ずつGoogle+のハングアウトで学習会をしたり、ちょっとした有名人に参加してもらって10人でディスカッションしました。見ず知らずの人でも、顔を見て言葉を交わすとその後のコミュニケーションが楽になります。
- ・ 企業内研修全般
- ・ 検索エンジンで調べる
- ・ 資格維持のための継続研修
- ・ 自宅でのeラーニング学習
- ・ 社内と契約しているeラーニングシステム(LMS)を使って、情報セキュリティ、コンプライアンス、品質管理等を学んだことがあります。

D. スマートフォンなどの専用アプリの利用

- ・「FP3」
- ・「i暗記+」「Evernote」「名刺確認」「VQSC 交流」「音声秘書」「グノシー」「乗換ナビ」「コトバンク」
- ・ Duolingo
- ・ Duolingo Quizlet Memrise TEDCT
- ・ eラーニング
- ・ iKnow! 他 英語学習アプリ
- ・ JLPT PLEP N4 & N5ワオっち！SMART NEWS
- ・ Rosetta Stone
- ・ SmartNews
- ・ TOEICや韓国語の学習アプリ
- ・ Weblio英和Amazon KindleTED
- ・ ドイツ語文法山川世界史一問一答NHKらじるらじる
- ・ 英語
- ・ 英語、百人一首
- ・ 電子書籍のビューアアプリ
- ・ 名称は失念しましたが、英単語を学習するアプリで、日本語の単語が表示され、英文を入力するものだったと記憶しています。

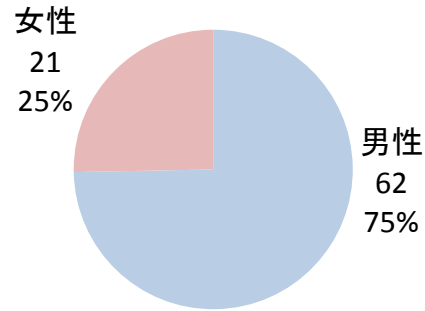
02-モバイルラーニングに関するweb調査

【調査の概要】

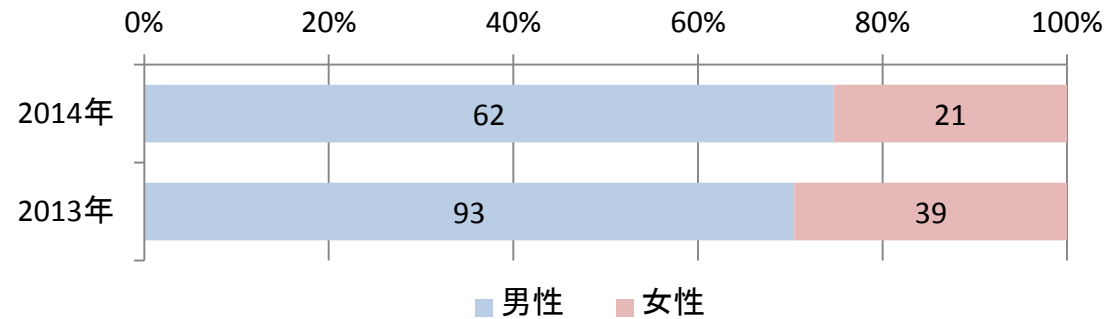
- ・調査対象者： eLC事務局登録者
- ・サンプル数： 2014年…83サンプル、2013年…132サンプル、
2006年(白書)…100サンプル
- ・報告書作成年月： 2015年2月

【回答者の属性】

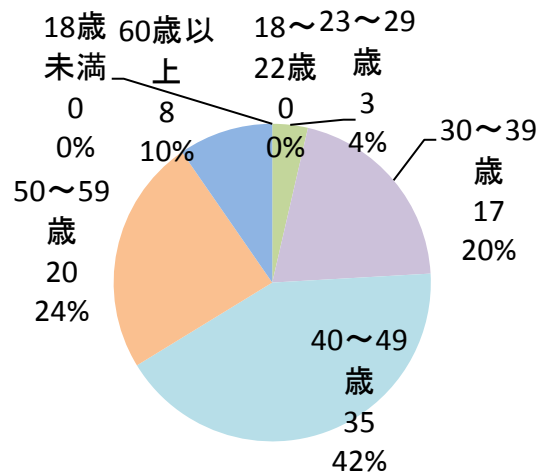
◆ 性別 <2014年>



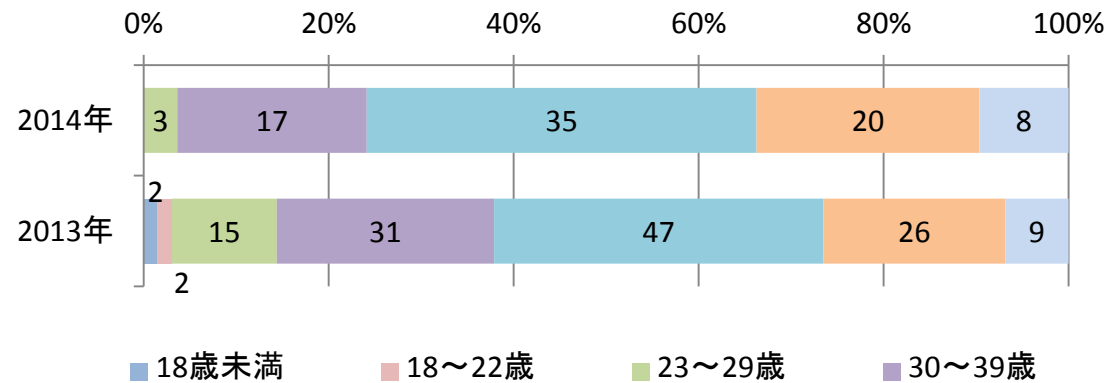
<2014-2013年>



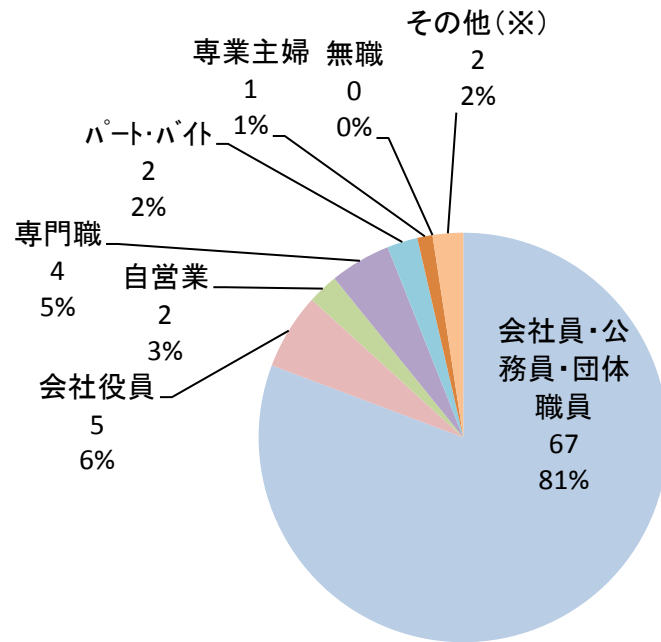
◆ 年齢帯 <2014年>



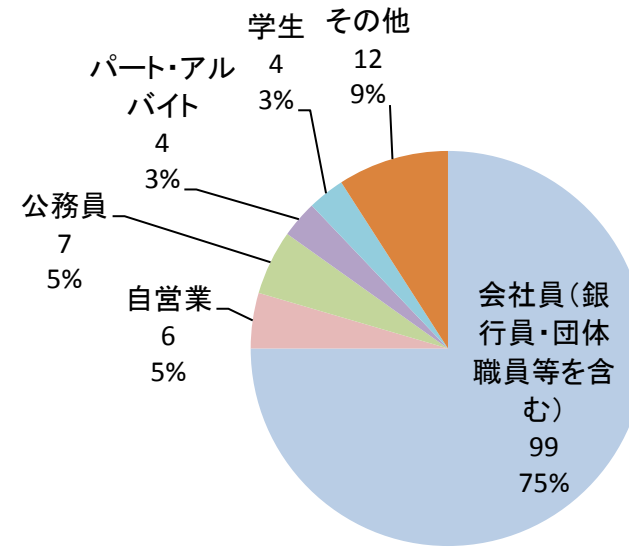
<2014-2013年>



◆ 職 業<2014年>



<2013年>



◆ 性別

	2014年	2013年
男性	62	93
女性	21	39
計	83	132

◆ 年齢帯

	2014年	2013年
18歳未満		2
18～22歳		2
23～29歳	3	15
30～39歳	17	31
40～49歳	35	47
50～59歳	20	26
60歳以上	8	9
計	83	132

◆ 職業

	2014年
会社員・公務員・団体職員	67
会社役員	5
自営業	2
専門職	4
パート・バイト	2
専業主婦	1
無職	0
その他(※)	2
計	83

	2013年
会社員(銀行員・団体職員等を含)	99
自営業	6
公務員	7
パート・アルバイト	4
学生	4
その他	12
計	132

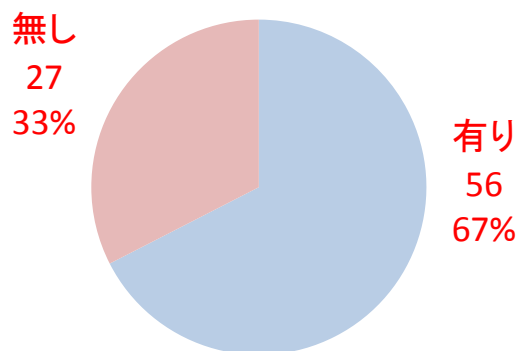
Q1. モバイルラーニング経験の有無〈択一回答〉

(モバイルラーニング … スマートフォン、タブレット、フィーチャーフォン、携帯型ゲーム機、などを使った学習)

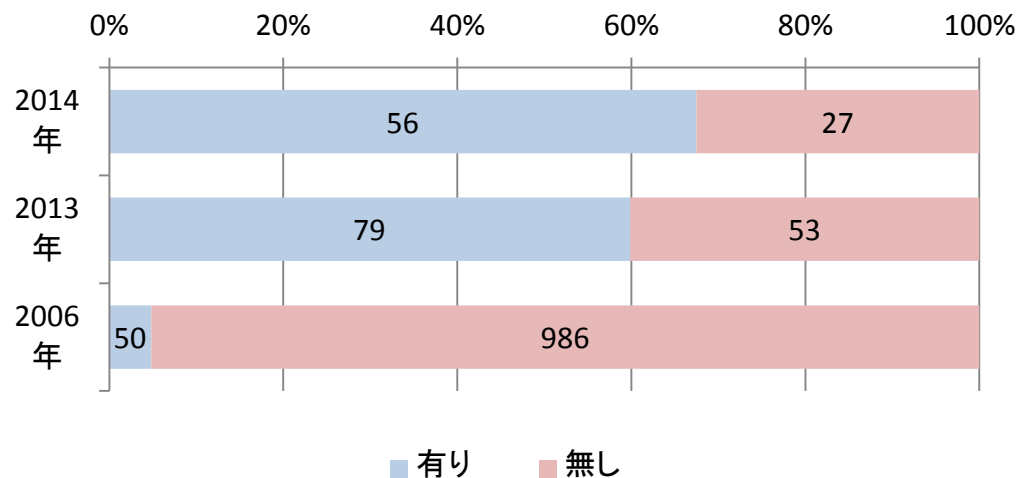
今回	モバイルラーニング体験者の67%で、およそ3人に2人の割合。
----	--------------------------------

トレンド	2014年は3013年(60%)の7ポイント増。8年前の2006年には、いわゆるガラ系が一般的で、スマホやタブレット端末の普及率が低かったことから5%に過ぎなかった。
------	---

<2014年>



<2014・2013・2006年>



	2014年	2013年	2006年	2014年	2013年	2006年
有り	56	79	50	67.5%	59.8%	4.8%
無し	27	53	986	32.5%	40.2%	95.2%
計	83	132	1036	100.0%	100.0%	100.0%

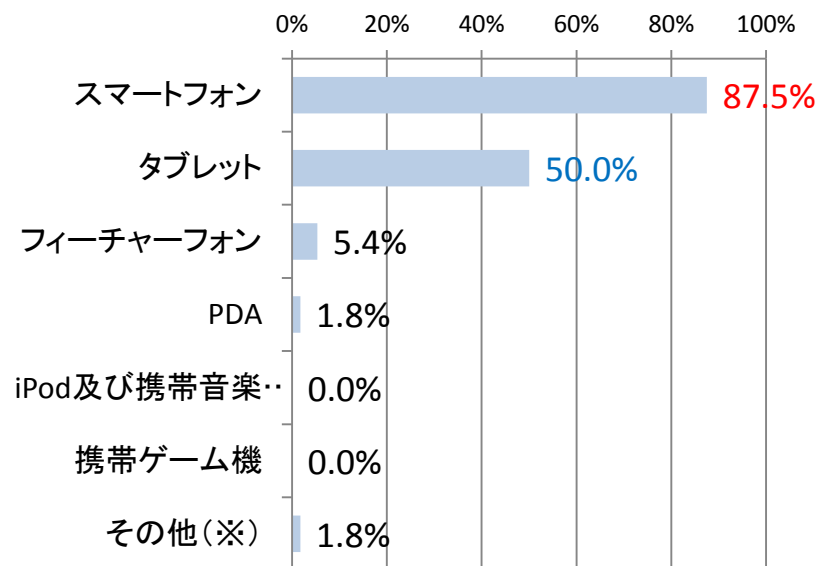
【 以下、モバイルラーニング経験が有る人について 】

Q2. 使用端末〈複数回答可〉

今回	スマートフォンが87.5%で最多。次いでタブレットが50.0%。これら2タイプがほとんどを占める。
----	---

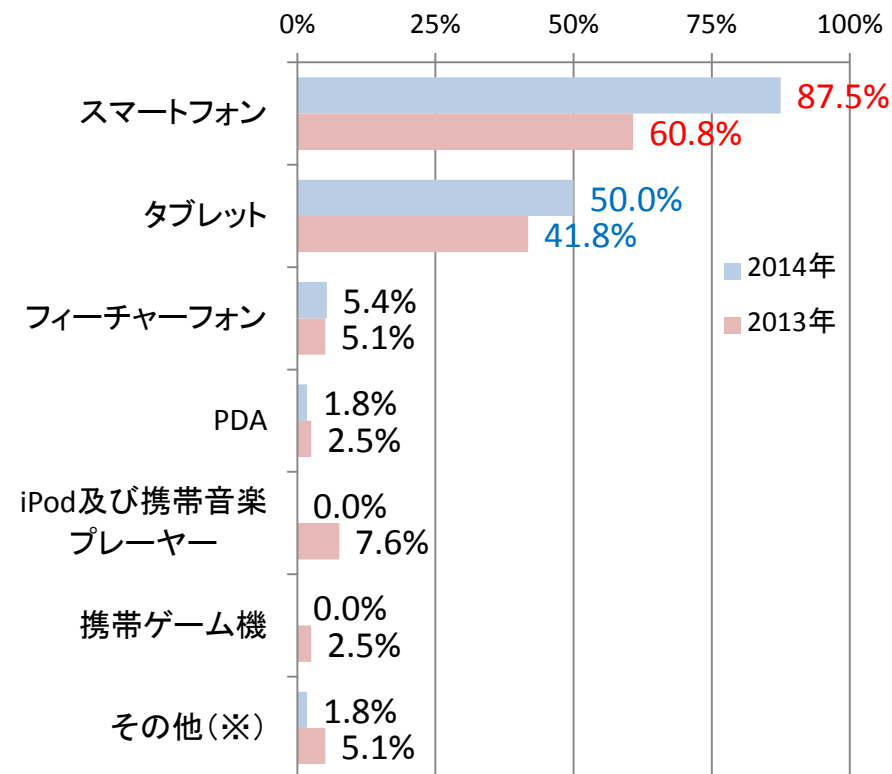
トレンド	2013年⇒2014年では、スマートフォンが27ポイントの大幅増。タブレットは8ポイント増にとどまった。
------	--

<2014年>



※ その他の回答
・kindle

<2014・2013年>

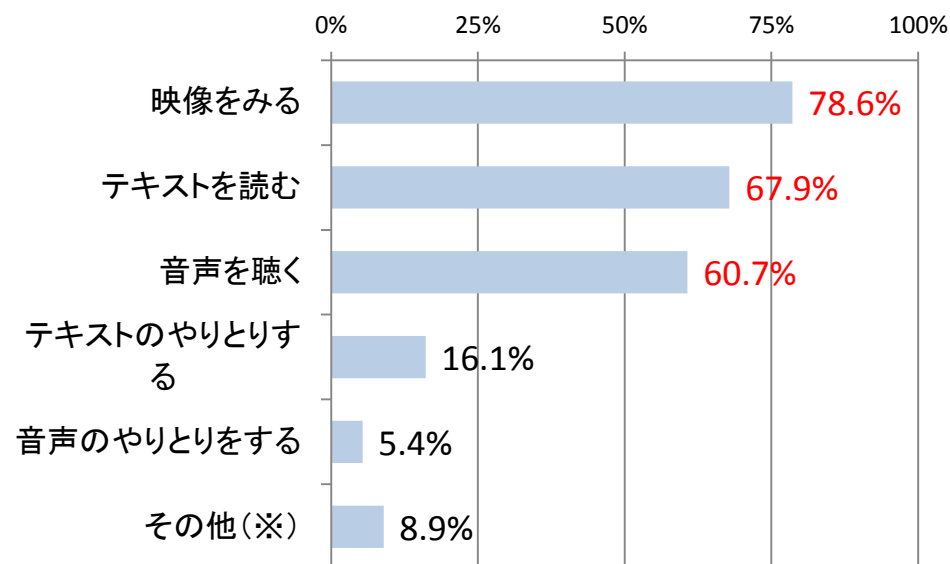


	#		%	
	2014年	2013年	2014年	2013年
スマートフォン	49	48	87.5%	60.8%
タブレット	28	33	50.0%	41.8%
フィーチャーフォン	3	4	5.4%	5.1%
PDA	1	2	1.8%	2.5%
iPod及び携帯音楽プレイヤー	0	6	0.0%	7.6%
携帯ゲーム機	0	2	0.0%	2.5%
その他(※)	1	4	1.8%	5.1%
n=	56	79	100.0%	100.0%

Q3. 利用メディア〈複数回答可〉

今回	“映像を見る”人が78.6%で最も多く、次いで“テキストを読む”(67.9%)、“音声を聴く”(60.7%)の順。その他の回答で目立ったのは、テストを含む“問題演習”。
----	--

<2014年>



	2014年
	#
映像をみる	44
テキストを読む	38
音声を聴く	34
テキストのやりとりする	9
音声のやりとりをする	3
その他(※)	5
	n= 56
	%
映像をみる	78.6%
テキストを読む	67.9%
音声を聴く	60.7%
テキストのやりとりする	16.1%
音声のやりとりをする	5.4%
その他(※)	8.9%

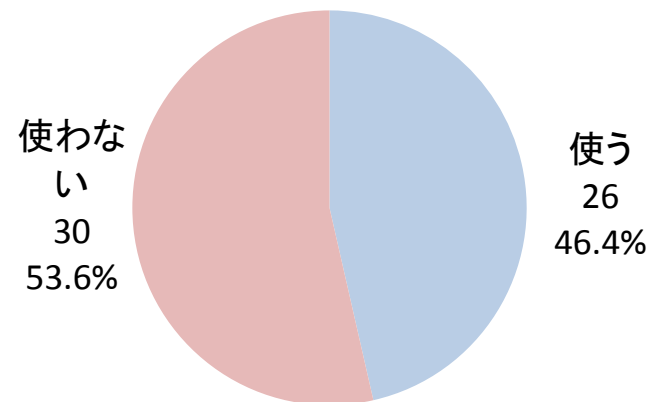
※ その他の回答

- ・画像をみる
- ・選択式設問への回答
- ・英単語のテスト
- ・問題演習
- ・テキストを書く

Q4. 学習専用アプリケーション使用の有無〈択一回答〉

今回	使う人が46.4%、使わない人が53.6%で拮抗。
----	---------------------------

<2014年>



	2014年
使う	26
使わない	30
計	56

【 Q4で“使う”と回答した人について 】

Q5. 使っているアプリ〈自由回答〉

今回	外国語の習得や、テスト対策に関係したアプリが目立つ。
----	----------------------------

<2014年>

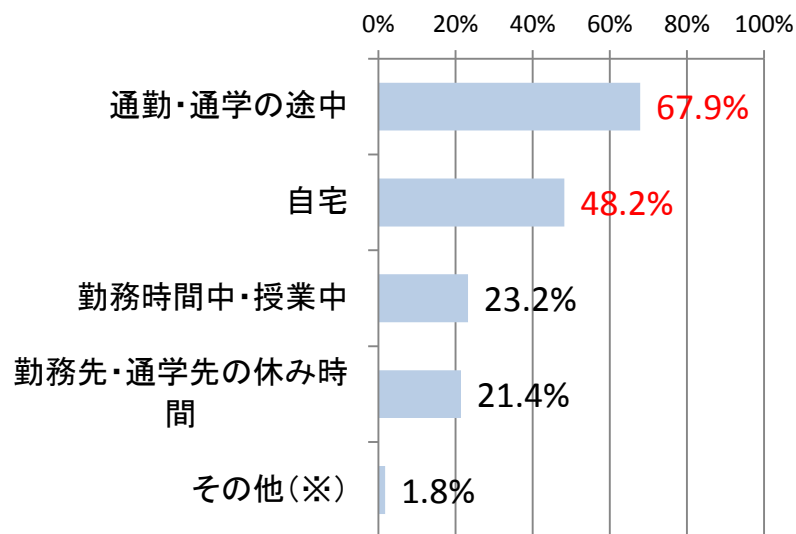
- ・ alc等の英単語学習アプリ
- ・ Duolingo
- ・ iKnow (2人)
- ・ smart.fm等
- ・ TOEIC英単語など
- ・ TOIEC対策アプリ
- ・ えいぽんたん (2人)
- ・ みかん
- ・ 暗記をするためのアプリ
- ・ 英語のビデオ教材
- ・ 英単語専用アプリ、単語カード帳アプリ
- ・ 外国語文法、単語、一問一答、ラジオ、SNS、podcast
- ・ 看護師国家試験(過去問)
- ・ 韓国語の聞き取りテスト(クイズ形式)のドリル
- ・ 当該教材用に開発された専用アプリケーション
- ・ 情報処理技術者試験、社会保険労務士試験の過去問題や予想問題を解くことができるアプリ。出題分野別の正答率の把握と、苦手分野に絞った出題ができる。設問への回答後に解説を読むことにより理解度が深まる。
- ・ 専用アプリ

【 以下、再びモバイルラーニング経験が有る人(全員)について 】

Q6. モバイルラーニングを実施する時〈複数回答可〉

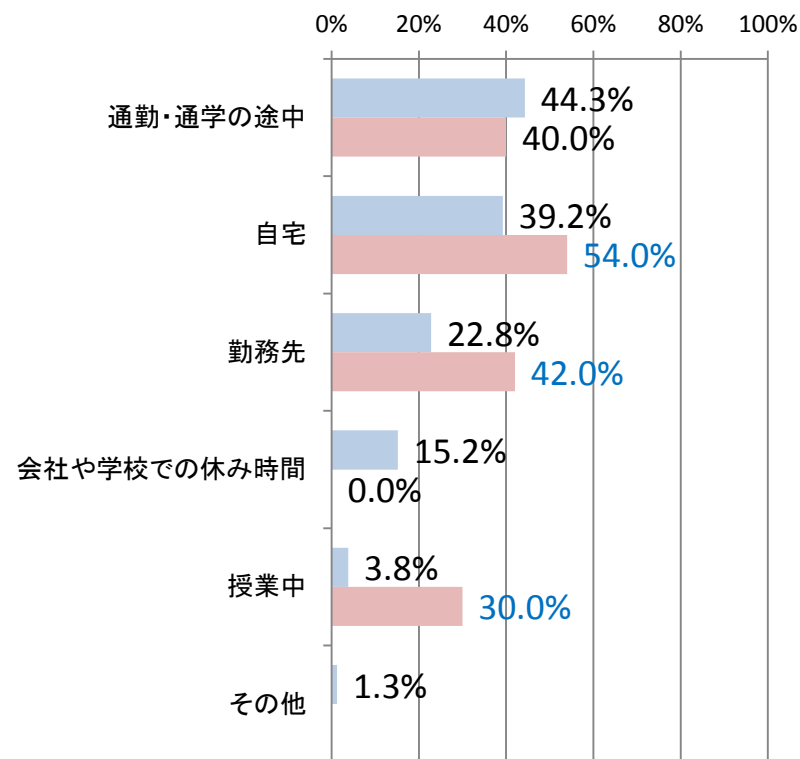
今回	最も多かったのは“通勤・通学の途中”で67.9%。モバイルならではの使用環境。次いで自宅が48.2%。
----	---

<2014年>



※ その他の回答
・仕事の移動中

<2013・2006年>



注) 2006年については全員の回答

	2014年
	#
通勤・通学の途中	38
自宅	27
勤務時間中・授業中	13
勤務先・通学先の休み時間	12
その他(※)	1
n=	56
	%
通勤・通学の途中	67.9%
自宅	48.2%
勤務時間中・授業中	23.2%
勤務先・通学先の休み時間	21.4%
その他(※)	1.8%

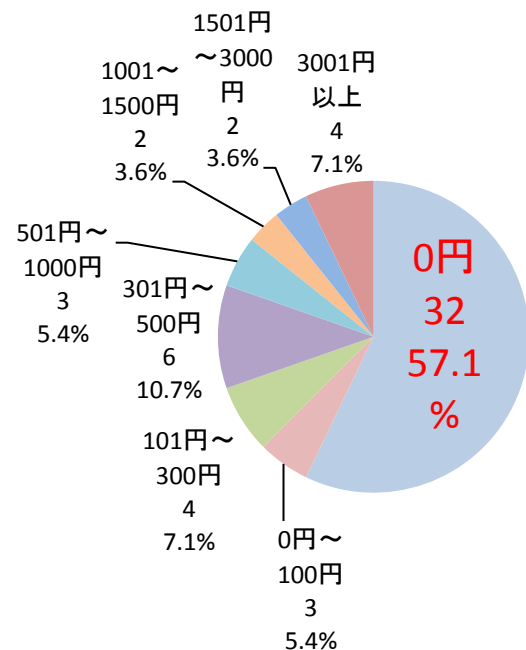
	#	#
	2013年	2006年
通勤・通学の途中	35	40
自宅	31	54
勤務先	18	42
会社や学校での休み時間	12	0
授業中	3	30
その他	1	
n=	79	100
	%	%
	2013年	2006年
通勤・通学の途中	44.3%	40.0%
自宅	39.2%	54.0%
勤務先	22.8%	42.0%
会社や学校での休み時間	15.2%	0.0%
授業中	3.8%	30.0%
その他	1.3%	

Q7. 学習に支払っている(支払っていた)1ヶ月あたりの金額〈択一回答〉

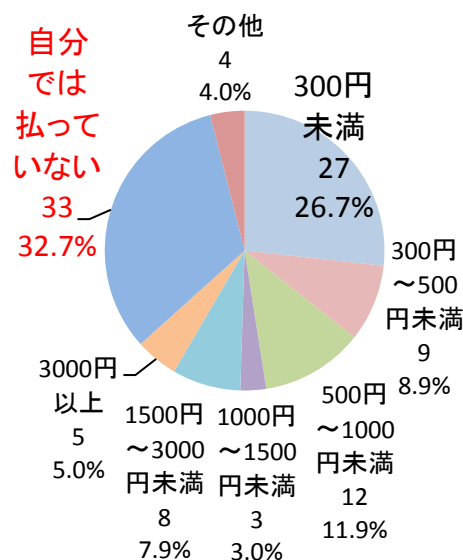
今回	“0円”すなわち無料が57.1%を占め、半数超。会社負担、授業の一環、無料アプリなどが想定される。
----	---

トレンド	回答選択肢は異なるが、2013年では自己負担無しが1/3。それに対して、2006年では負担金額がまちまちで時代の変化がうかがわれた。
------	--

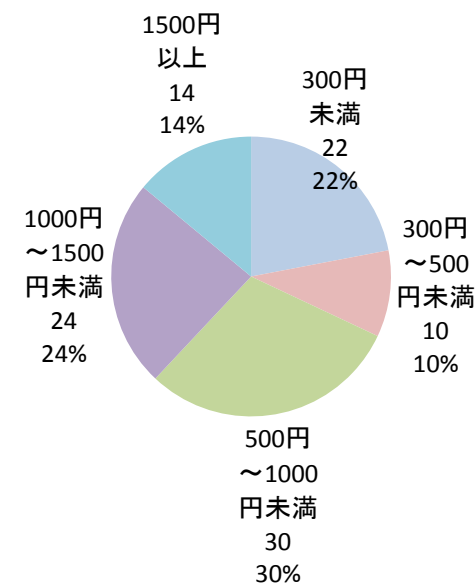
<2014年>



<2013年>



<2006年>



注) 2006年については全員の回答

	2014年
0円	32
0円～100円	3
101円～300円	4
301円～500円	6
501円～1000円	3
1001～1500円	2
1501円～3000円	2
3001円以上	4
計	56

	2013年
	#
300円未満	27
300円～500円未満	9
500円～1000円未満	12
1000円～1500円未満	3
1500円～3000円未満	8
3000円以上	5
自分では払っていない	33
その他	4
計	101

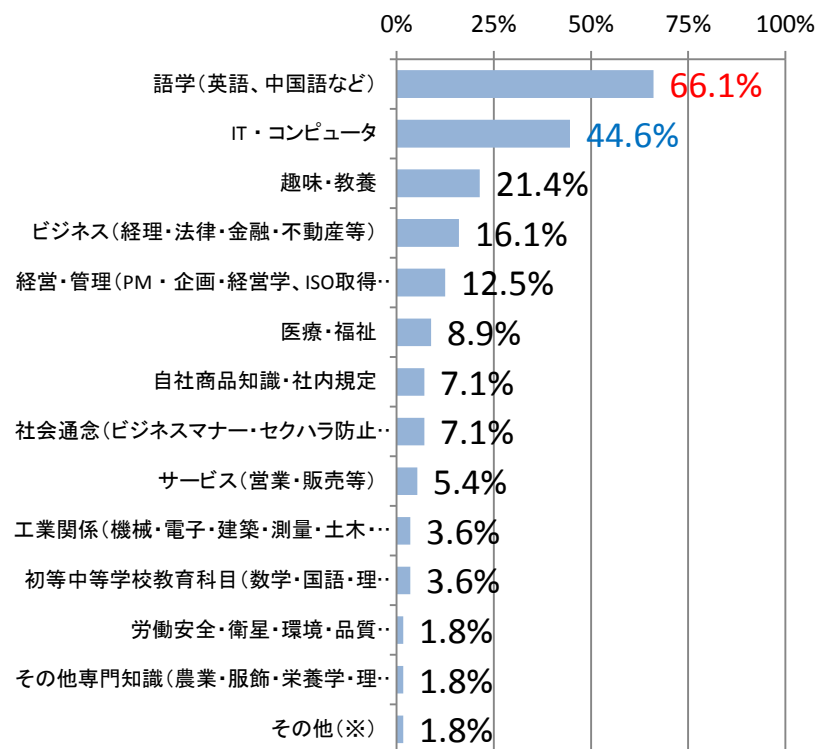
	2006年
	#
300円未満	22
300円～500円未満	10
500円～1000円未満	30
1000円～1500円未満	24
1500円以上	14
計	100

Q8. モバイルラーニングの利用分野〈複数回答可〉

今回	“語学(英語、中国語など)”が66.1%で最も多く、次いで“IT・コンピュータ”が44.6%。
----	---

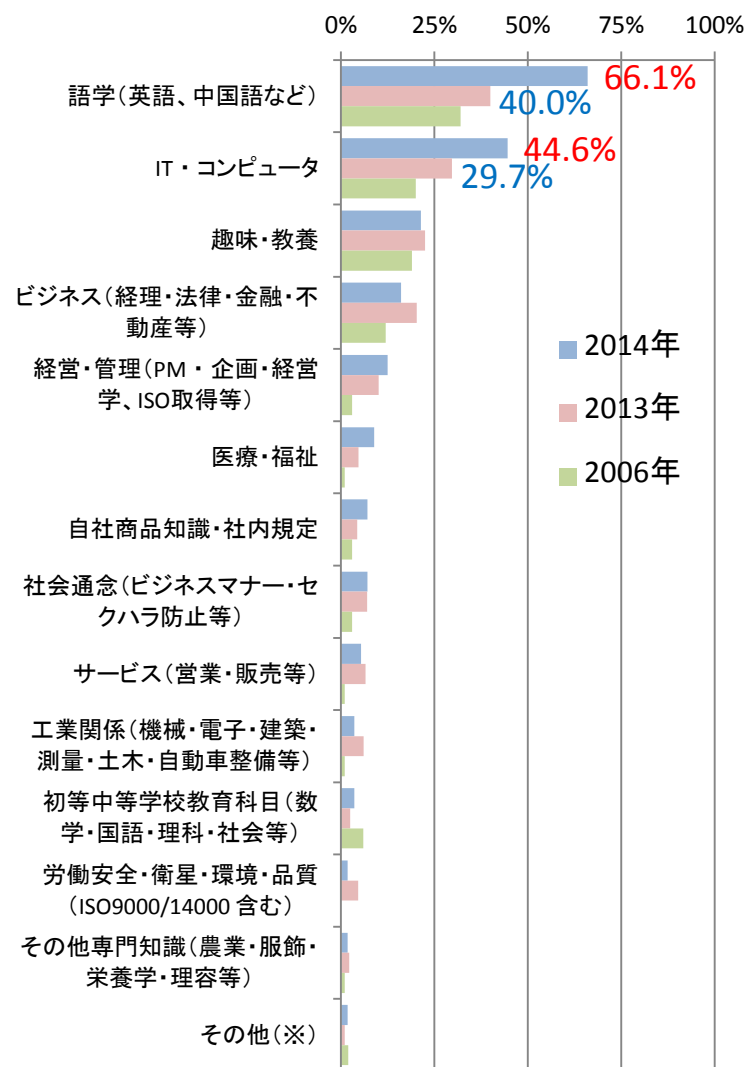
トレンド	13⇒14年は“語学”が1.7倍、“IT・コンピュータ”が1.5倍と、顕著な伸び。
------	---

〈2014年〉



※ その他の回答
・資格試験

〈2014・2013・2006年〉



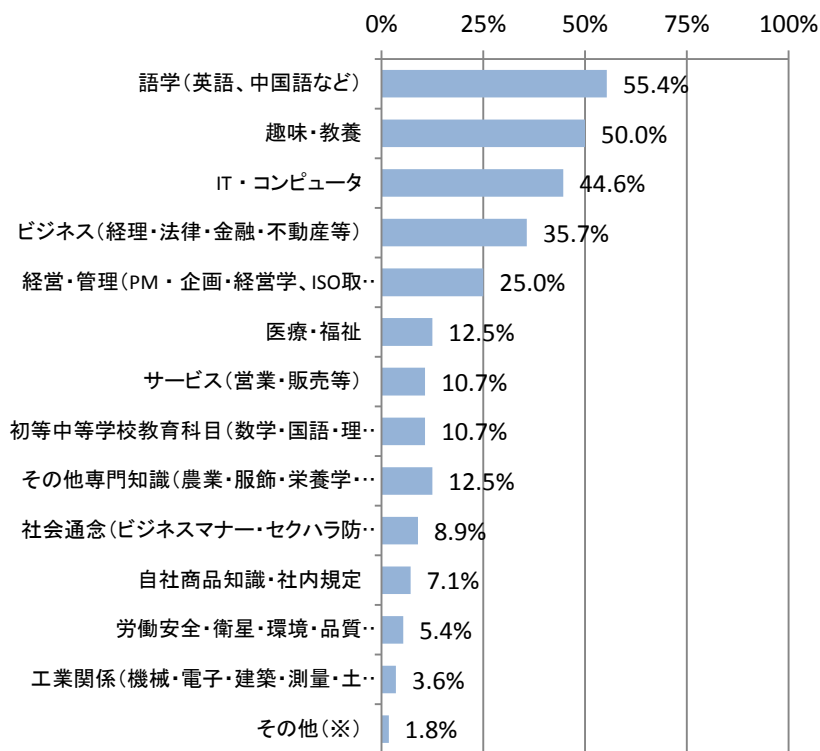
注) 2006年については全員の回答

	#		
	2014年	2013年	2006年
語学(英語、中国語など)	37		
IT・コンピュータ	25		
趣味・教養	12		
ビジネス(経理・法律・金融・)	9		
経営・管理(PM・企画・経営)	7		
医療・福祉	5		
自社商品知識・社内規定	4		
社会通念(ビジネスマナー・)	4		
サービス(営業・販売等)	3		
工業関係(機械・電子・建築)	2		
初等中等学校教育科目(数学・国語・理科・社会等)	2		
労働安全・衛生・環境・品質	1		
その他専門知識(農業・服飾)	1		
その他(※)	1		
n=	56		
	%		
	2014年	2013年	2006年
語学(英語、中国語など)	66.1%	40.0%	32.0%
IT・コンピュータ	44.6%	29.7%	20.0%
趣味・教養	21.4%	22.5%	19.0%
ビジネス(経理・法律・金融・)	16.1%	20.3%	12.0%
経営・管理(PM・企画・経営)	12.5%	10.1%	3.0%
医療・福祉	8.9%	4.7%	1.0%
自社商品知識・社内規定	7.1%	4.4%	3.0%
社会通念(ビジネスマナー・)	7.1%	7.0%	3.0%
サービス(営業・販売等)	5.4%	6.6%	1.0%
工業関係(機械・電子・建築)	3.6%	6.1%	1.0%
初等中等学校教育科目(数学・国語・理科・社会等)	3.6%	2.5%	6.0%
労働安全・衛生・環境・品質	1.8%	4.6%	0.0%
その他専門知識(農業・服飾)	1.8%	2.2%	1.0%
その他(※)	1.8%	1.0%	2.0%

Q9. 今後利用してみたい分野〈複数回答可〉

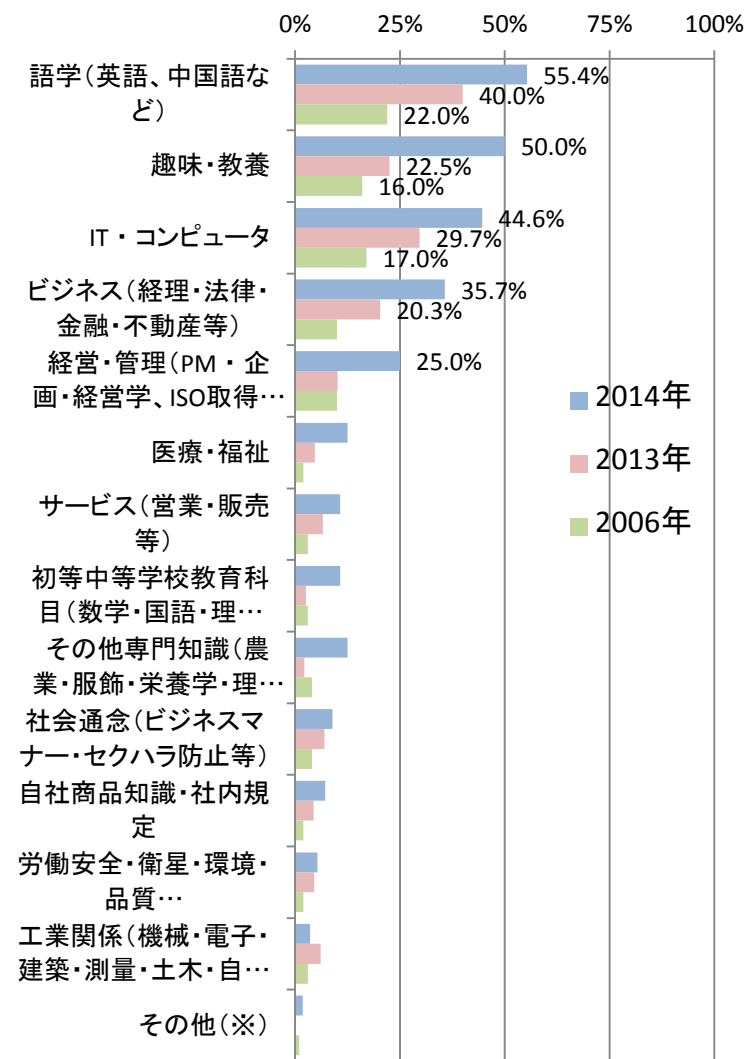
今回	“語学”が55.4%、“趣味・教養”が50.0%、“IT・コンピュータ”44.6%の順。
トレンド	トップ3分野の14/076年の伸び率は、2.5倍、3.1倍、2.6倍。

〈2014年〉



※ その他の回答
・資格取得

〈2014・2013・2006年〉



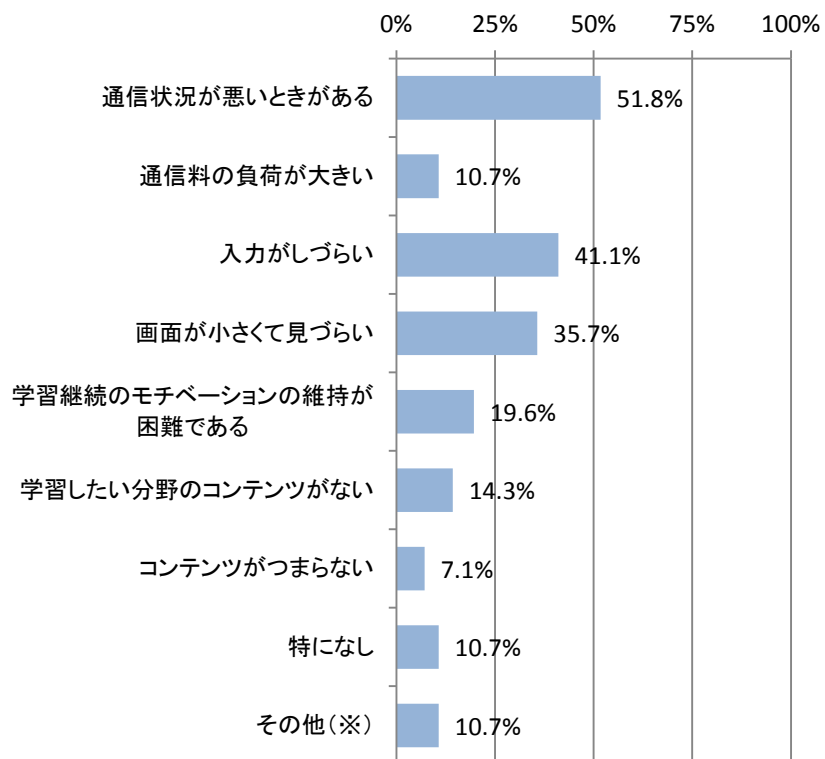
注) 2006年については全員の回答

	#		
	2014年	2013年	2006年
語学(英語、中国語など)	31		22
趣味・教養	28		16
IT・コンピュータ	25		17
ビジネス(経理・法律・金融・)	20		10
経営・管理(PM・企画・経営)	14		10
医療・福祉	7		2
サービス(営業・販売等)	6		3
初等中等学校教育科目(数)	6		3
その他専門知識(農業・服飾)	7		4
社会通念(ビジネスマナー・)	5		4
自社商品知識・社内規定	4		2
労働安全・衛生・環境・品質	3		2
工業関係(機械・電子・建築)	2		3
その他(※)	1		1
n=	56		100

	%		
	2014年	2013年	2006年
語学(英語、中国語など)	55.4%	40.0%	22.0%
趣味・教養	50.0%	22.5%	16.0%
IT・コンピュータ	44.6%	29.7%	17.0%
ビジネス(経理・法律・金融・)	35.7%	20.3%	10.0%
経営・管理(PM・企画・経営)	25.0%	10.1%	10.0%
医療・福祉	12.5%	4.7%	2.0%
サービス(営業・販売等)	10.7%	6.6%	3.0%
初等中等学校教育科目(数)	10.7%	2.6%	3.0%
その他専門知識(農業・服飾)	12.5%	2.2%	4.0%
社会通念(ビジネスマナー・)	8.9%	7.0%	4.0%
自社商品知識・社内規定	7.1%	4.4%	2.0%
労働安全・衛生・環境・品質	5.4%	4.6%	2.0%
工業関係(機械・電子・建築)	3.6%	6.1%	3.0%
その他(※)	1.8%	0.1%	1.0%

Q10. モバイルラーニングの不満点〈複数回答可〉

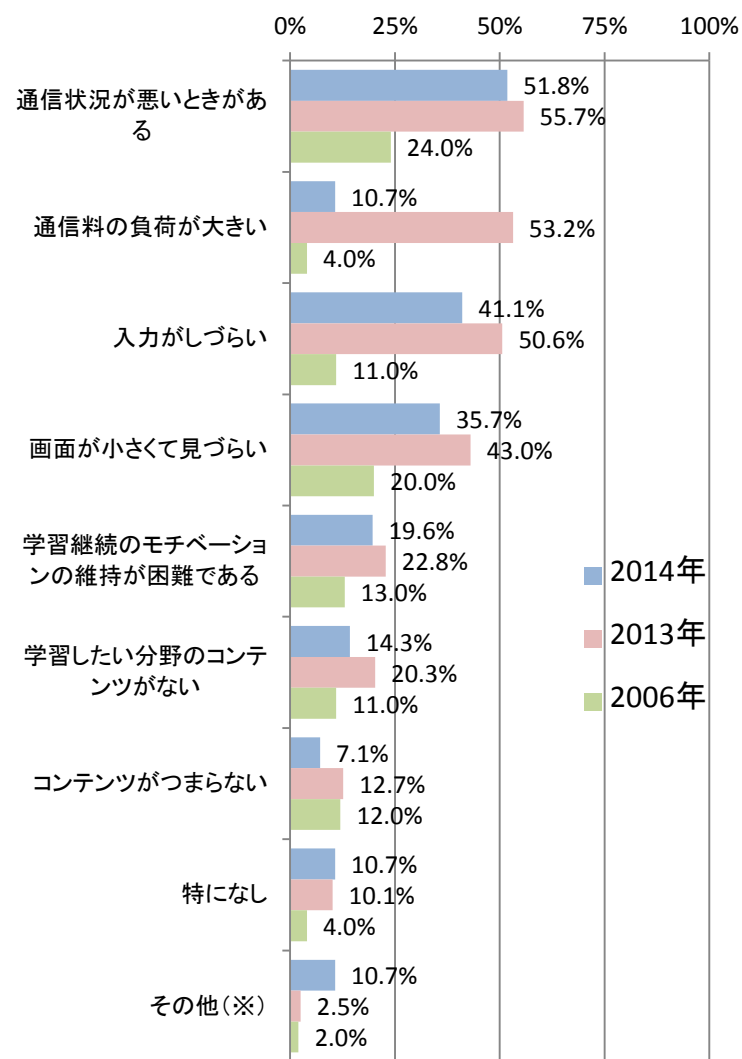
〈2014年〉



※ その他の回答

- ・サービスがスマートフォンに対応していないことがある
- ・電池持ち
- ・手軽なだけに、いつでもできると簡単に考え教材を購入することがあるが、それほどには利用できないこと
- ・いつでもどこでもできるので、一日の優先順位の最下位になって取りかかりが夜中になってしまう
- ・音が聴こえにくい
- ・操作性が悪いか、良くても内容がチープ

〈2014・2013・2006年〉



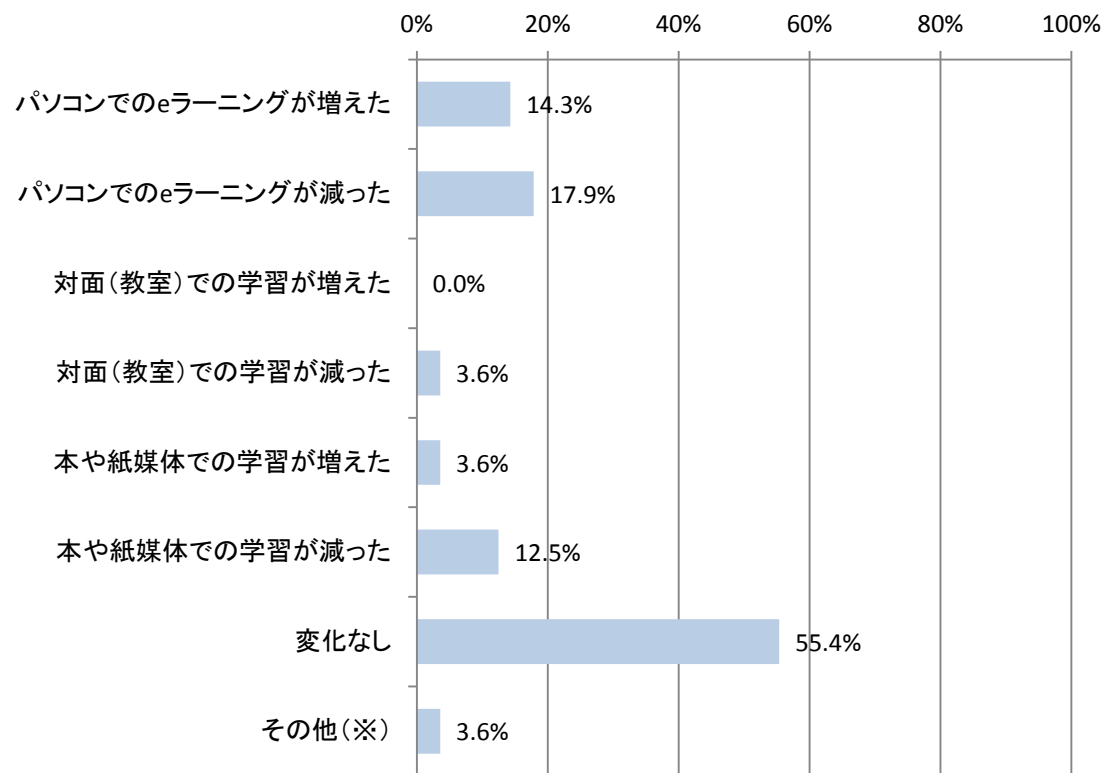
注) 2006年については全員の回答

	#		
	2014年	2013年	2006年
通信状況が悪いときがある	29	44	24
通信料の負荷が大きい	6	42	4
入力がしづらい	23	40	11
画面が小さくて見づらい	20	34	20
学習継続のモチベーションの維持が困難である	11	18	13
学習したい分野のコンテンツがない	8	16	11
コンテンツがつまらない	4	10	12
特になし	6	8	4
その他(※)	6	2	2
n=	56	79	100

	%		
	2014年	2013年	2006年
通信状況が悪いときがある	51.8%	55.7%	24.0%
通信料の負荷が大きい	10.7%	53.2%	4.0%
入力がしづらい	41.1%	50.6%	11.0%
画面が小さくて見づらい	35.7%	43.0%	20.0%
学習継続のモチベーションの維持が困難である	19.6%	22.8%	13.0%
学習したい分野のコンテンツがない	14.3%	20.3%	11.0%
コンテンツがつまらない	7.1%	12.7%	12.0%
特になし	10.7%	10.1%	4.0%
その他(※)	10.7%	2.5%	2.0%

Q11. モバイルラーニングの利用による学習形態の変化〈複数回答可〉

<2014年>



※ その他の回答

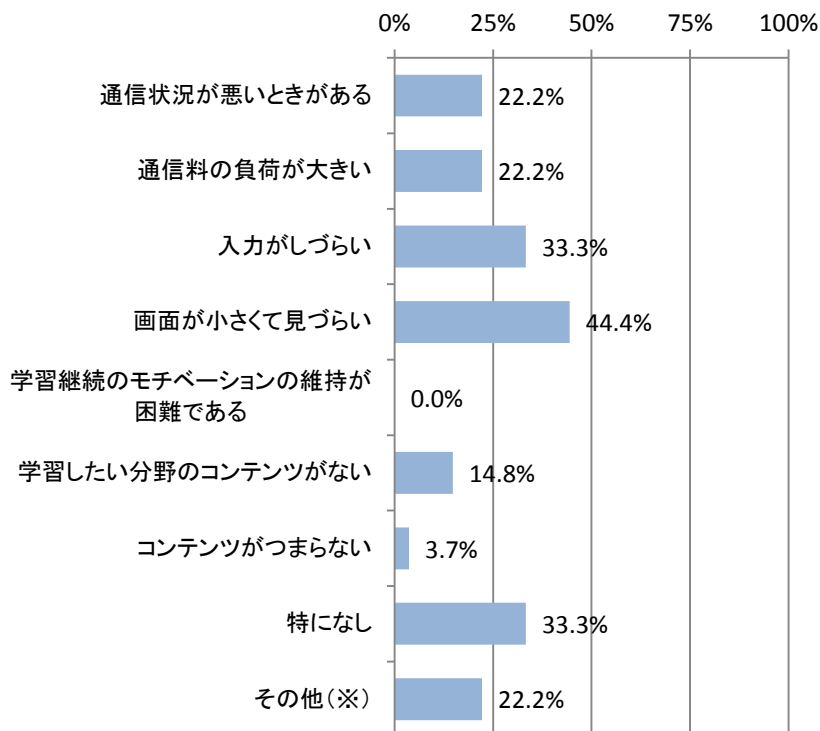
- ・書籍を持ち運ぶ機会が減った。暗い場所でも学習できるようになった。
- ・プラスアルファの学習ができるようになった

	2014年 #
パソコンでのeラーニングが増えた	8
パソコンでのeラーニングが減った	10
対面(教室)での学習が増えた	0
対面(教室)での学習が減った	2
本や紙媒体での学習が増えた	2
本や紙媒体での学習が減った	7
変化なし	31
その他(※)	2
n=	56
	%
パソコンでのeラーニングが増えた	14.3%
パソコンでのeラーニングが減った	17.9%
対面(教室)での学習が増えた	0.0%
対面(教室)での学習が減った	3.6%
本や紙媒体での学習が増えた	3.6%
本や紙媒体での学習が減った	12.5%
変化なし	55.4%
その他(※)	3.6%

【 モバイルラーニング経験が無い人について 】

Q12. モバイルラーニングでの学習を希望しない理由 <複数回答可>

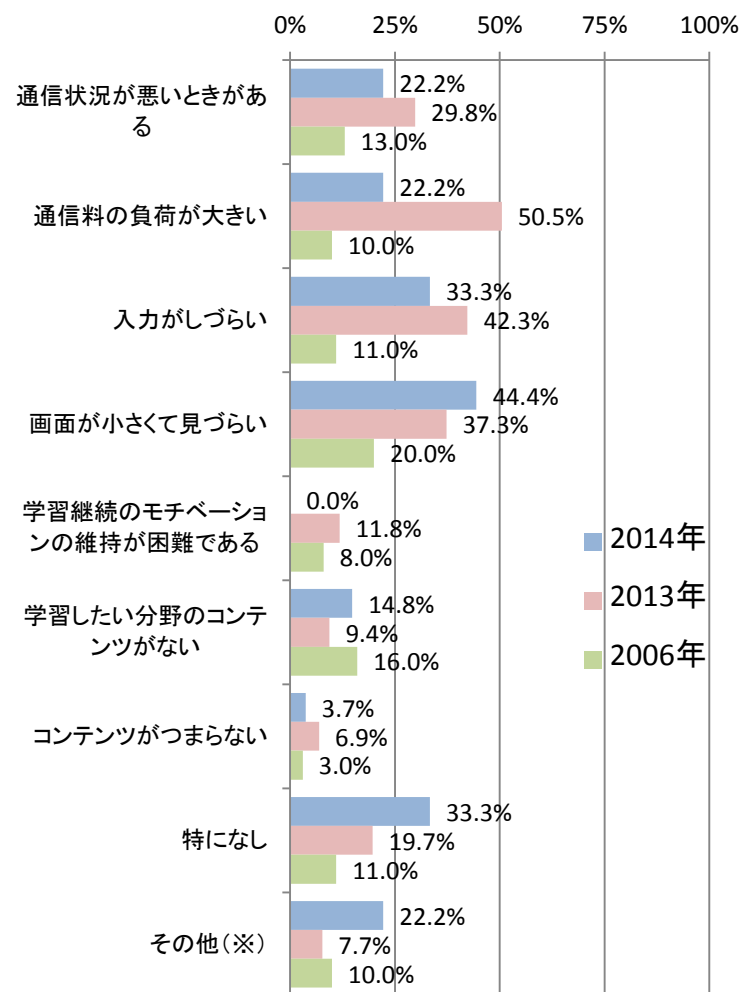
<2014年>



※ その他の回答

- ・興味はあるが機会が無かった
- ・スマホ、タブレットを所有していない
- ・モバイルを持っていない
- ・適したデバイスを持ってない
- ・機能のある携帯電話を持っていない。
- ・デバイスを持っていない

<2014・2013・2006年>



注) 2006年については全員の回答

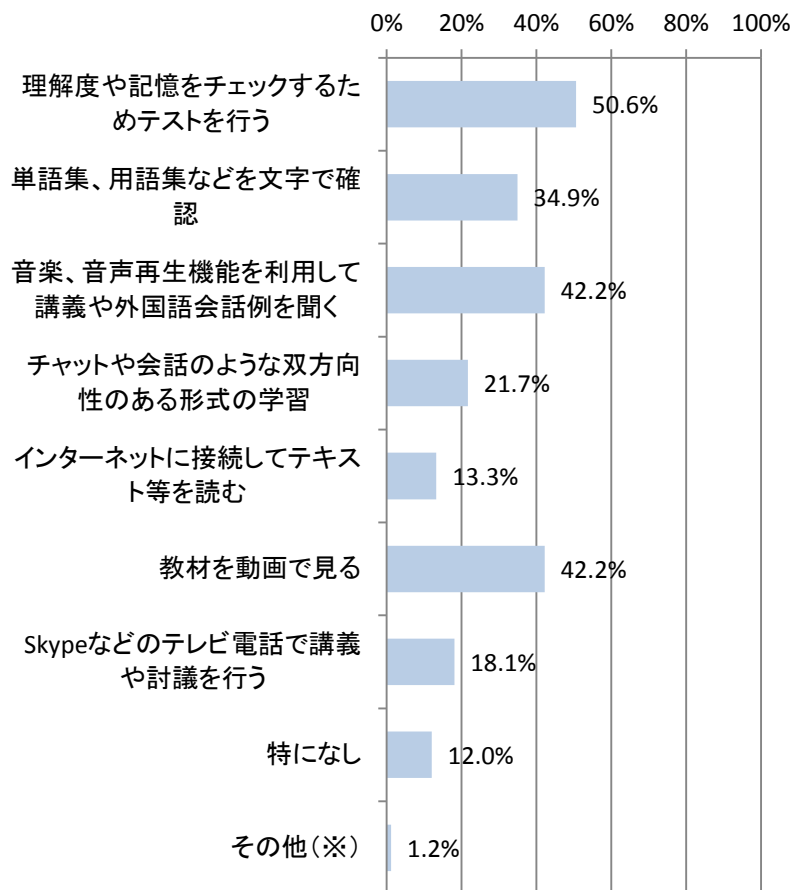
	#		
	2014年	2013年	2006年
通信状況が悪いときがある	6		13
通信料の負荷が大きい	6		10
入力がしづらい	9		11
画面が小さくて見づらい	12		20
学習継続のモチベーションの維持が困難である	0		8
学習したい分野のコンテンツがない	4		16
コンテンツがつまらない	1		3
特になし	9		11
その他(※)	6		10
n=	27	53	100

	%		
	2014年	2013年	2006年
通信状況が悪いときがある	22.2%	29.8%	13.0%
通信料の負荷が大きい	22.2%	50.5%	10.0%
入力がしづらい	33.3%	42.3%	11.0%
画面が小さくて見づらい	44.4%	37.3%	20.0%
学習継続のモチベーションの維持が困難である	0.0%	11.8%	8.0%
学習したい分野のコンテンツがない	14.8%	9.4%	16.0%
コンテンツがつまらない	3.7%	6.9%	3.0%
特になし	33.3%	19.7%	11.0%
その他(※)	22.2%	7.7%	10.0%

【 全員 】

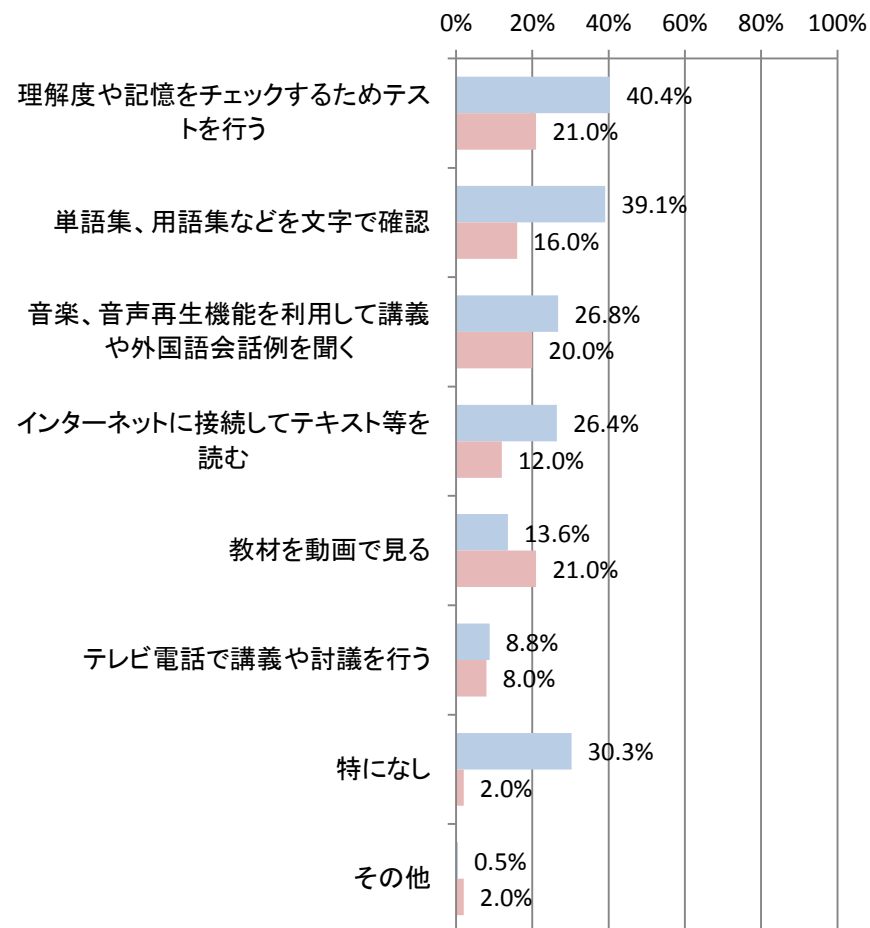
Q13. 今後利用してみたいモバイルラーニングの形態〈複数回答可〉

〈2014年〉



※ その他の回答
・ゲーム感覚で進められる

〈2013・2006年〉



注) 2006年については全員の回答

	#
	2014年
理解度や記憶をチェックするためテストを行う	42
単語集、用語集などを文字で確認	29
音楽、音声再生機能を利用して講義や外国語会話例を	35
チャットや会話のような双方向性のある形式の学習	18
インターネットに接続してテキスト等を読む	11
教材を動画で見る	35
Skypeなどのテレビ電話で講義や討議を行う	15
特になし	10
その他(※)	1
n=	83
	%
理解度や記憶をチェックするためテストを行う	50.6%
単語集、用語集などを文字で確認	34.9%
音楽、音声再生機能を利用して講義や外国語会話例を	42.2%
チャットや会話のような双方向性のある形式の学習	21.7%
インターネットに接続してテキスト等を読む	13.3%
教材を動画で見る	42.2%
Skypeなどのテレビ電話で講義や討議を行う	18.1%
特になし	12.0%
その他(※)	1.2%

	#	#
	2013年	2006年
理解度や記憶をチェックするためテストを行う		21
単語集、用語集などを文字で確認		16
音楽、音声再生機能を利用して講義や外国語会話例を		20
インターネットに接続してテキスト等を読む		12
教材を動画で見る		21
テレビ電話で講義や討議を行う		8
特になし		2
その他		2
n=	132	100
	%	%
	2013年	2006年
理解度や記憶をチェックするためテストを行う	40.4%	21.0%
単語集、用語集などを文字で確認	39.1%	16.0%
音楽、音声再生機能を利用して講義や外国語会話例を	26.8%	20.0%
インターネットに接続してテキスト等を読む	26.4%	12.0%
教材を動画で見る	13.6%	21.0%
テレビ電話で講義や討議を行う	8.8%	8.0%
特になし	30.3%	2.0%
その他	0.5%	2.0%

11-生活者のeラーニング利用状況実態調査

webアンケート

<第1回>

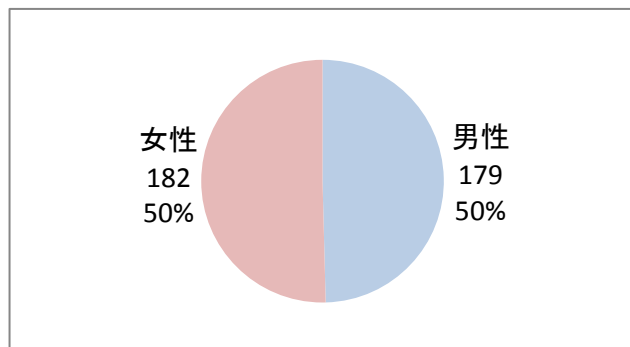
【調査の概要】

A. 概要

- ① 対象 … 一般生活者 (web調査会社の登録モニターを利用)
- ② 性別 … 男女
- ③ 年齢 … 15～69歳
- ④ 地域 … 全国
- ⑤ サンプル数 … 361s.s.
- ⑥ 実査時期 … 2015年5月29日(金)～31日(日)

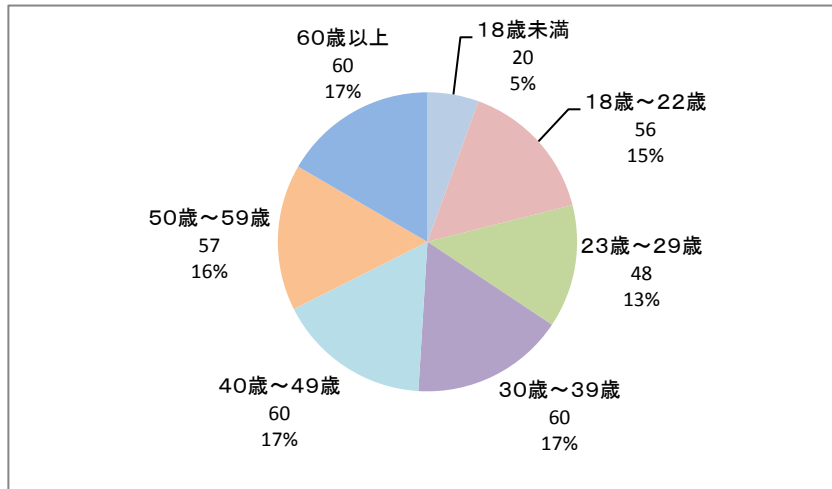
B. 回答者の属性

1) 性別



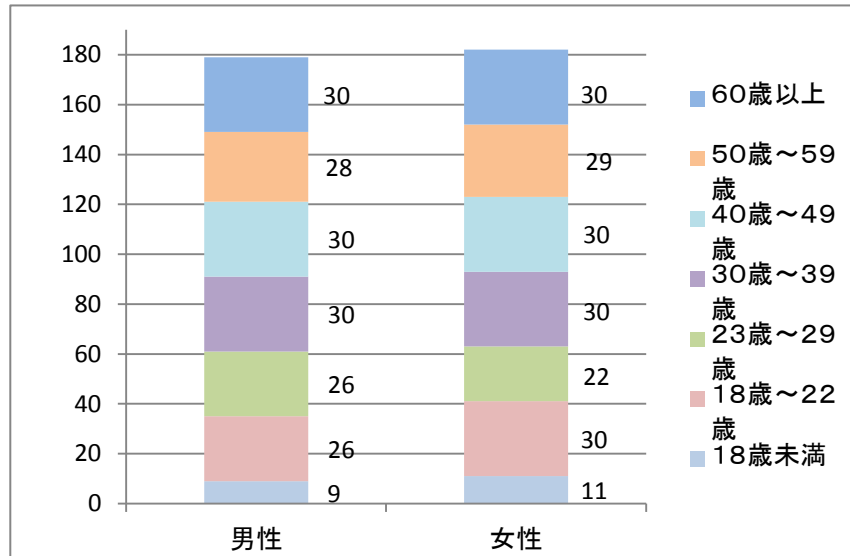
	#	%
男性	179	49.6%
女性	182	50.4%
計	361	100.0%

2) 年齢帯



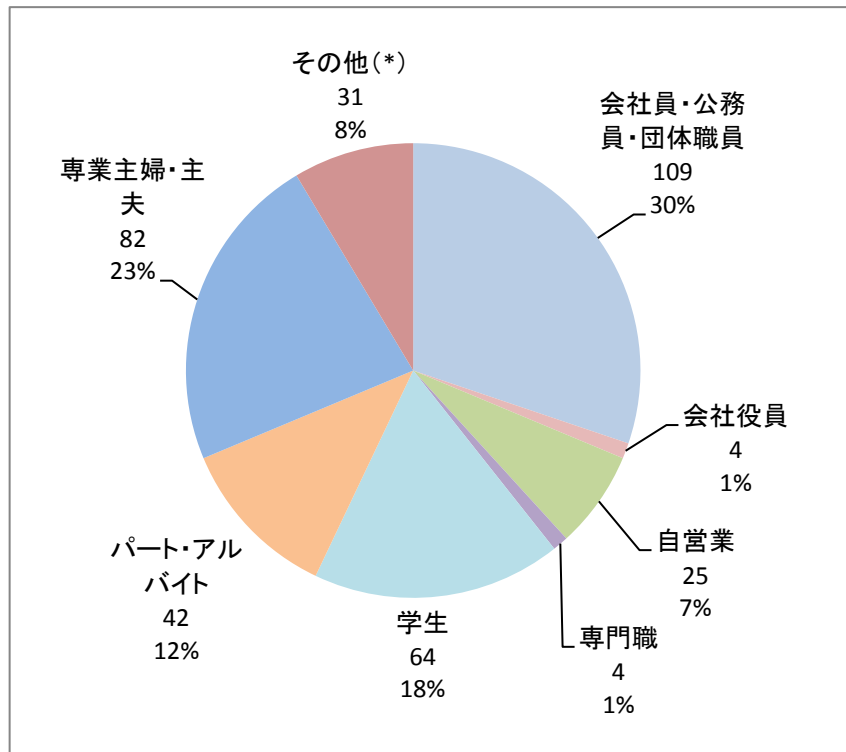
	#	%
18歳未満	20	5.5%
18歳～22歳	56	15.5%
23歳～29歳	48	13.3%
30歳～39歳	60	16.6%
40歳～49歳	60	16.6%
50歳～59歳	57	15.8%
60歳以上	60	16.6%
計	361	100.0%

2) - a. 性別 x 年齢帯



		男性	女性	計
#	18歳未満	9	11	20
	18歳～22歳	26	30	56
	23歳～29歳	26	22	48
	30歳～39歳	30	30	60
	40歳～49歳	30	30	60
	50歳～59歳	28	29	57
	60歳以上	30	30	60
	計	179	182	361
%	18歳未満	5.0%	6.0%	5.5%
	18歳～22歳	14.5%	16.5%	15.5%
	23歳～29歳	14.5%	12.1%	13.3%
	30歳～39歳	16.8%	16.5%	16.6%
	40歳～49歳	16.8%	16.5%	16.6%
	50歳～59歳	15.6%	15.9%	15.8%
	60歳以上	16.8%	16.5%	16.6%
	計	100.0%	100.0%	100.0%

3) 職業

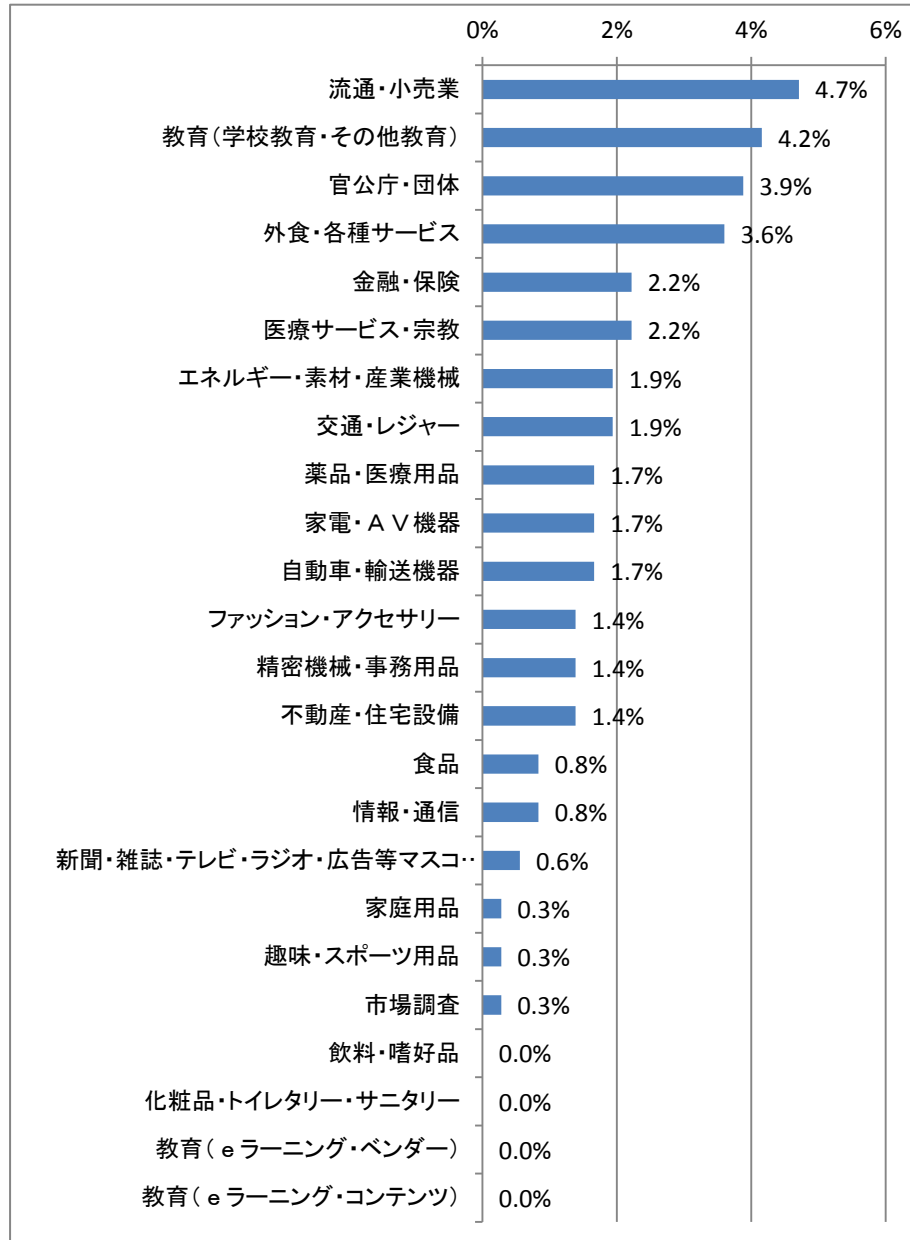


	#	%
会社員・公務員・団体職員	109	30.2%
会社役員	4	1.1%
自営業	25	6.9%
専門職	4	1.1%
学生	64	17.7%
パート・アルバイト	42	11.6%
専業主婦・主夫	82	22.7%
その他(*)	31	8.6%
計	361	100.0%

* その他の回答

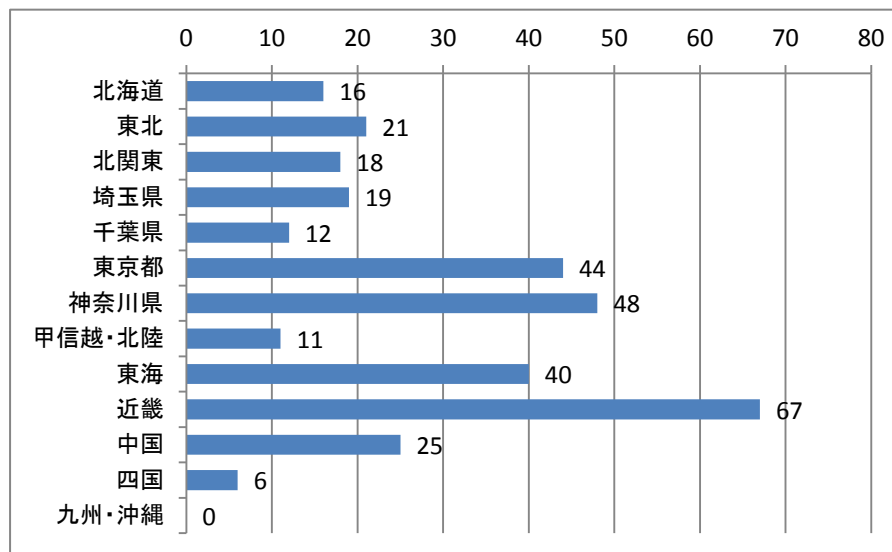
- ・無職(15人)
- ・年金受給者(5人)
- ・定年退職者/引退(5人)
- ・求職中/就活中(2人)
- ・農業
- ・フリーター
- ・家事手伝い
- ・休職中

4) 勤め先の業界



	#	%
流通・小売業	17	4.7%
教育(学校教育・その他教育)	15	4.2%
官公庁・団体	14	3.9%
外食・各種サービス	13	3.6%
金融・保険	8	2.2%
医療サービス・宗教	8	2.2%
エネルギー・素材・産業機械	7	1.9%
交通・レジャー	7	1.9%
薬品・医療用品	6	1.7%
家電・AV機器	6	1.7%
自動車・輸送機器	6	1.7%
ファッション・アクセサリ	5	1.4%
精密機械・事務用品	5	1.4%
不動産・住宅設備	5	1.4%
食品	3	0.8%
情報・通信	3	0.8%
新聞・雑誌・テレビ・ラジオ・広告等マスコミ関係	2	0.6%
家庭用品	1	0.3%
趣味・スポーツ用品	1	0.3%
市場調査	1	0.3%
飲料・嗜好品	0	0.0%
化粧品・トイレタリー・サニタリー	0	0.0%
教育(eラーニング・ベンダー)	0	0.0%
教育(eラーニング・コンテンツ)	0	0.0%
あてはまるものはな	228	63.2%
計	361	100.0%

5) 居住都道府県



	#	%
北海道	16	4.9%
東北	21	6.4%
北関東	18	5.5%
埼玉県	19	5.8%
千葉県	12	3.7%
東京都	44	13.5%
神奈川県	48	14.7%
甲信越・北陸	11	3.4%
東海	40	12.2%
近畿	67	20.5%
中国	25	7.6%
四国	6	1.8%
九州・沖縄	0	0.0%
計	327	100.0%

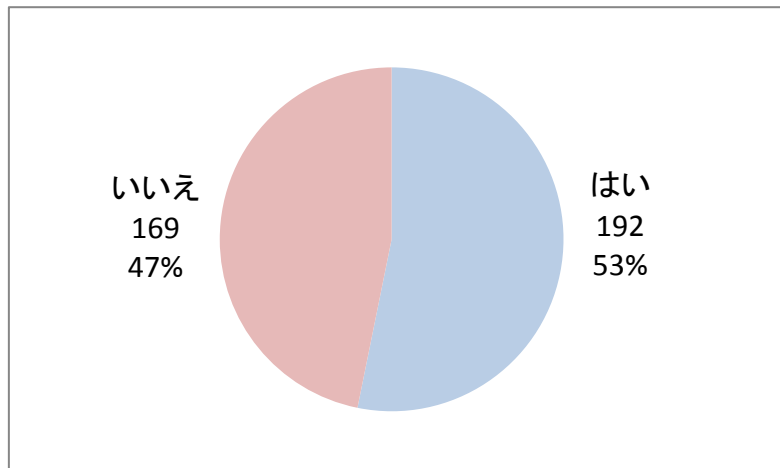
	#	%
北海道	16	8.5%
青森県	2	1.1%
岩手県	4	2.1%
宮城県	8	4.2%
秋田県	1	0.5%
山形県	3	1.6%
福島県	3	1.6%
茨城県	6	3.2%
栃木県	7	3.7%
群馬県	5	2.6%
埼玉県	19	10.1%
千葉県	12	6.3%
東京都	44	23.3%
神奈川県	48	25.4%
新潟県	4	2.1%
富山県	1	0.5%
石川県	1	0.5%
福井県	1	0.5%
山梨県	0	0.0%
長野県	4	2.1%

	#	%
岐阜県	7	3.7%
静岡県	7	3.7%
愛知県	23	12.2%
三重県	3	1.6%
滋賀県	4	2.1%
京都府	5	2.6%
大阪府	30	15.9%
兵庫県	19	10.1%
奈良県	9	4.8%
和歌山県	0	0.0%
鳥取県	1	0.5%
島根県	1	0.5%
岡山県	6	3.2%
広島県	12	6.3%
山口県	5	2.6%
徳島県	0	0.0%
香川県	2	1.1%
愛媛県	3	1.6%
高知県	1	0.5%
福岡県	13	6.9%

	#	%
佐賀県	0	0.0%
長崎県	7	3.7%
熊本県	5	2.6%
大分県	2	1.1%
宮崎県	1	0.5%
鹿児島県	3	1.6%
沖縄県	3	1.6%
計	189	100.0%

【調査の結果】

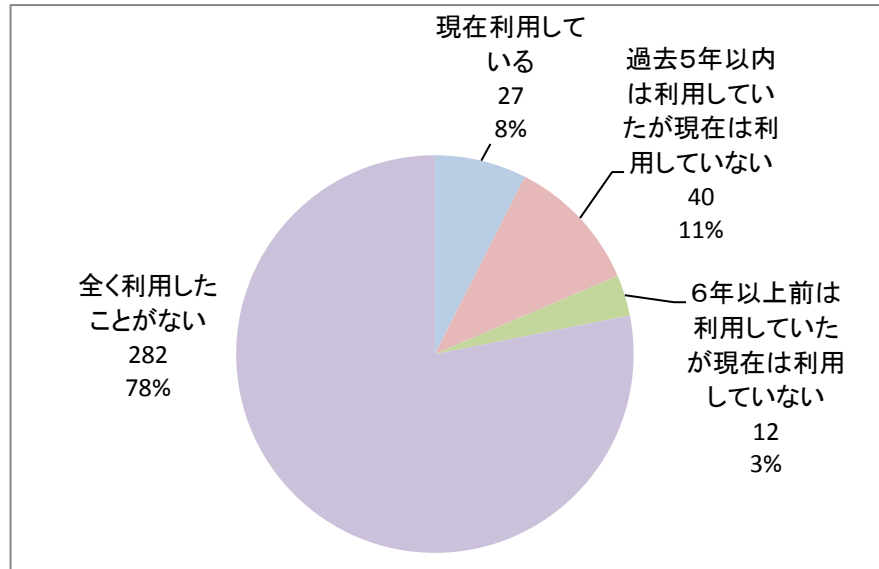
A. 「eラーニング」という言葉を知っていますか？(非助成ベースの認知状況) <択一回答>



	#	%
はい	192	53.2%
いいえ	169	46.8%
計(n)	361	100.0%

B. 「eラーニング」の利用状況〈択一回答〉

※ 調査における「eラーニング」の定義：『スマートフォンやタブレット、パソコンなどの情報機器を活用した学習』



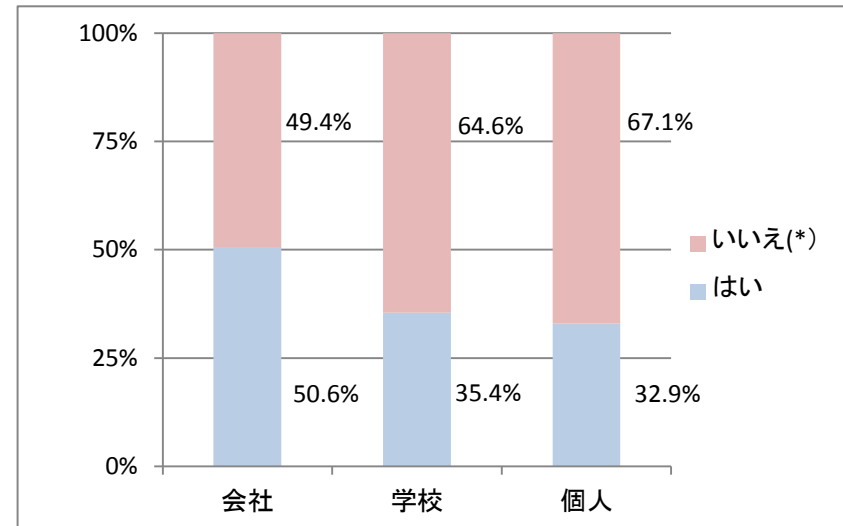
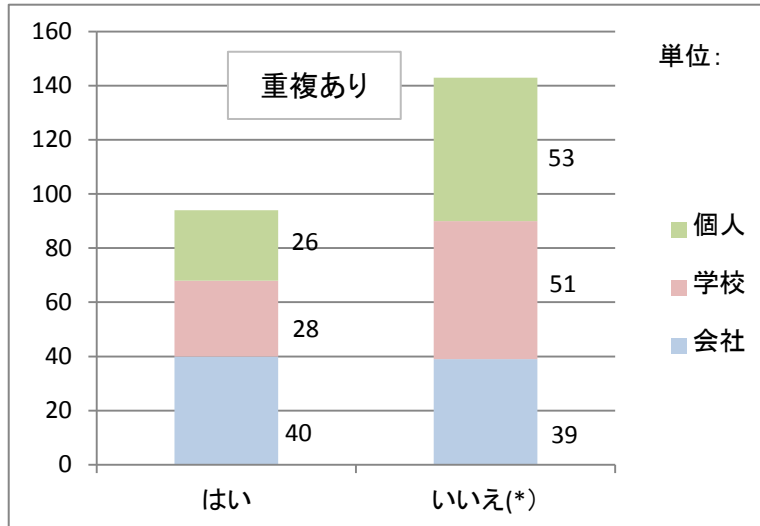
	#	%
現在利用している	27	7.5%
過去5年以内は利用していたが現在は利用していない	40	11.1%
6年以上前は利用していたが現在は利用していない	12	3.3%
全く利用したことがない	282	78.1%
計(n)	361	100.0%

<“B”で、「現在利用している」、「過去5年以内は利用していたが現在は利用していない」、
「6年以上前は利用していたが現在は利用していない」と回答した人について>

C. 「eラーニング」の利用経験

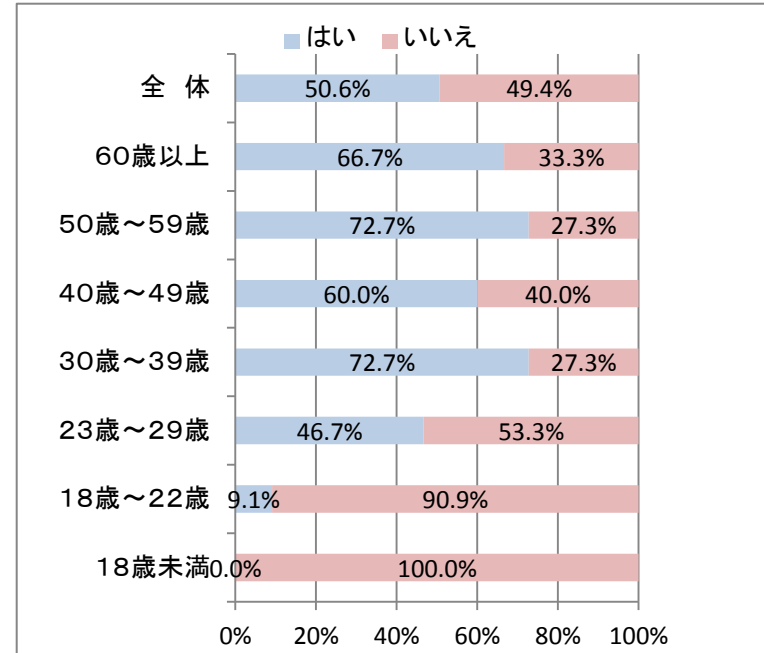
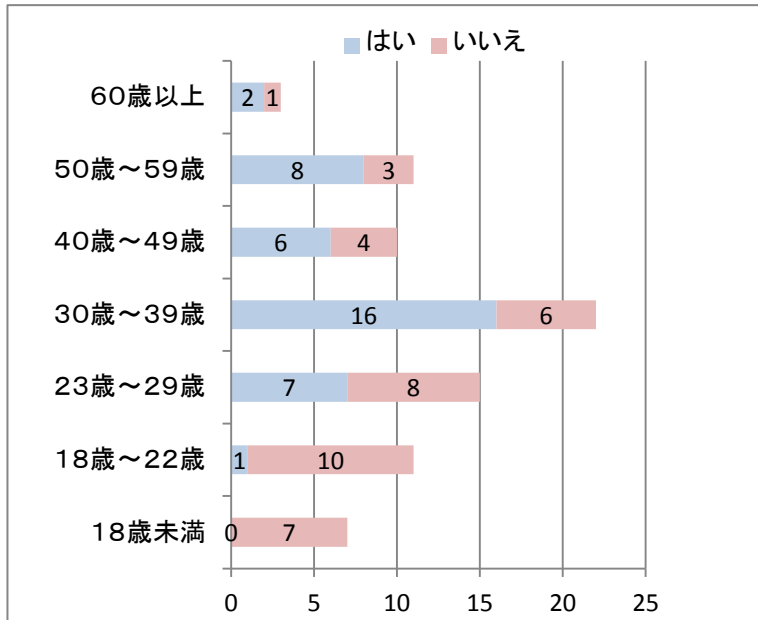
C-① 会社/学校/個人における「eラーニング」の利用経験 <択一回答>

* “会社”については、学生や会社などでの勤務経験がない人を含む



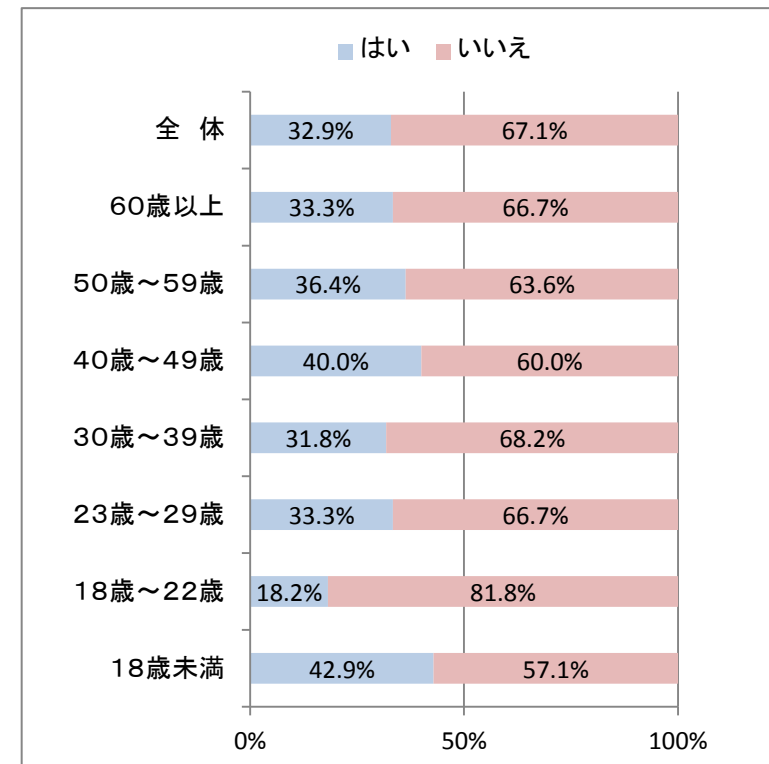
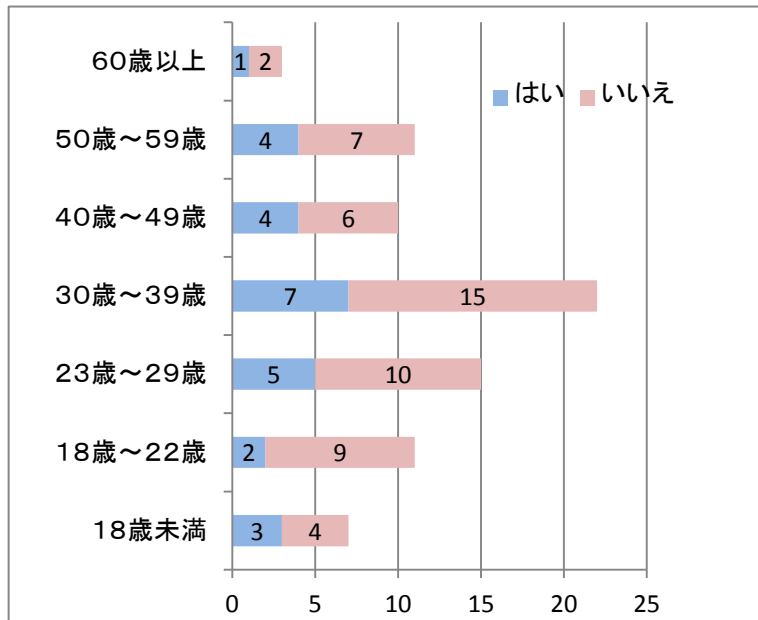
	#			%		
	会社	学校	個人	会社	学校	個人
はい	40	28	26	50.6%	35.4%	32.9%
いいえ(*)	39	51	53	49.4%	64.6%	67.1%
計(n)	79	79	79	100.0%	100.0%	100.0%

C-② 年齢帯別の会社における研修での「eラーニング」の利用状況〈択一回答〉



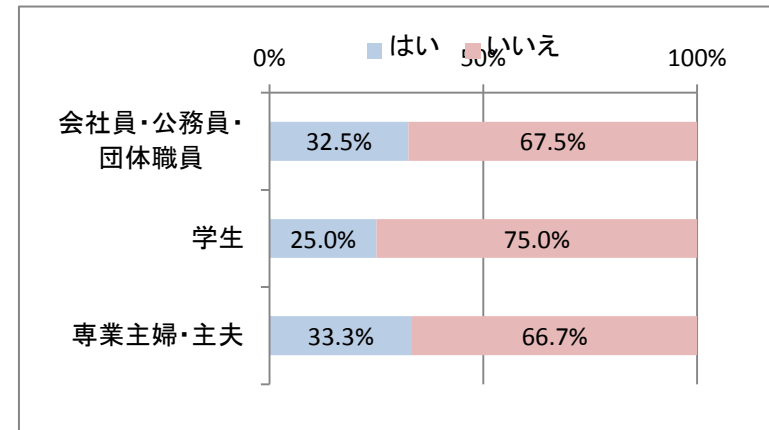
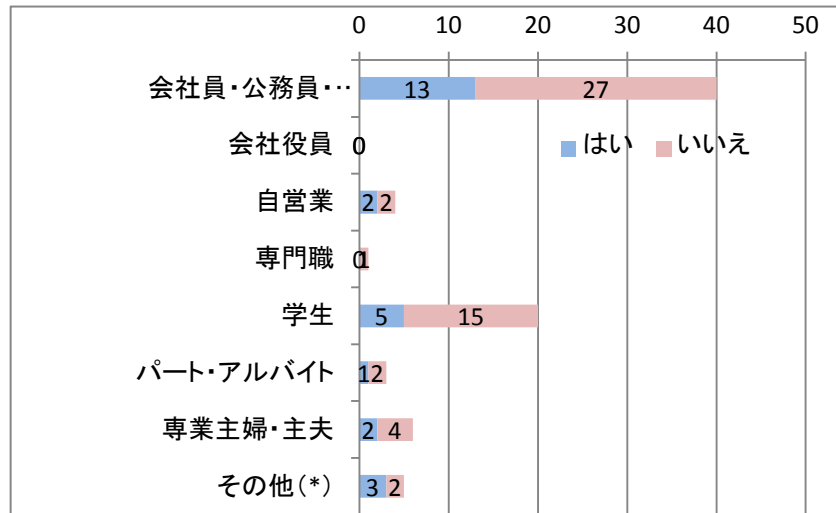
		はい	いいえ	計
#	18歳未満	0	7	7
	18歳～22歳	1	10	11
	23歳～29歳	7	8	15
	30歳～39歳	16	6	22
	40歳～49歳	6	4	10
	50歳～59歳	8	3	11
	60歳以上	2	1	3
	計(n)	40	39	79
%	18歳未満	0.0%	100.0%	100.0%
	18歳～22歳	9.1%	90.9%	100.0%
	23歳～29歳	46.7%	53.3%	100.0%
	30歳～39歳	72.7%	27.3%	100.0%
	40歳～49歳	60.0%	40.0%	100.0%
	50歳～59歳	72.7%	27.3%	100.0%
	60歳以上	66.7%	33.3%	100.0%
	全体	50.6%	49.4%	100.0%

C-③ 年齢帯別の個人的な「eラーニング」の利用状況〈択一回答〉



		はい	いいえ	計
#	18歳未満	3	4	7
	18歳～22歳	2	9	11
	23歳～29歳	5	10	15
	30歳～39歳	7	15	22
	40歳～49歳	4	6	10
	50歳～59歳	4	7	11
	60歳以上	1	2	3
	計(n)	26	53	79
%	18歳未満	42.9%	57.1%	100.0%
	18歳～22歳	18.2%	81.8%	100.0%
	23歳～29歳	33.3%	66.7%	100.0%
	30歳～39歳	31.8%	68.2%	100.0%
	40歳～49歳	40.0%	60.0%	100.0%
	50歳～59歳	36.4%	63.6%	100.0%
	60歳以上	33.3%	66.7%	100.0%
	全体	32.9%	67.1%	100.0%

C-③-b. 職業別の個人的な「eラーニング」の利用状況〈択一回答〉



		はい	いいえ	計
#	会社員・公務員・ 団体職員	13	27	40
	会社役員	0	0	0
	自営業	2	2	4
	専門職	0	1	1
	学生	5	15	20
	パート・アルバイト	1	2	3
	専業主婦・主夫	2	4	6
	その他(*)	3	2	5
	計(n)	26	53	79
	%	会社員・公務員・ 団体職員	32.5%	67.5%
会社役員		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
自営業		50.0%	50.0%	100.0%
専門職		0.0%	100.0%	100.0%
学生		25.0%	75.0%	100.0%
パート・アルバイト		33.3%	66.7%	100.0%
専業主婦・主夫		33.3%	66.7%	100.0%
その他		60.0%	40.0%	100.0%
全体	32.9%	67.1%	100.0%	

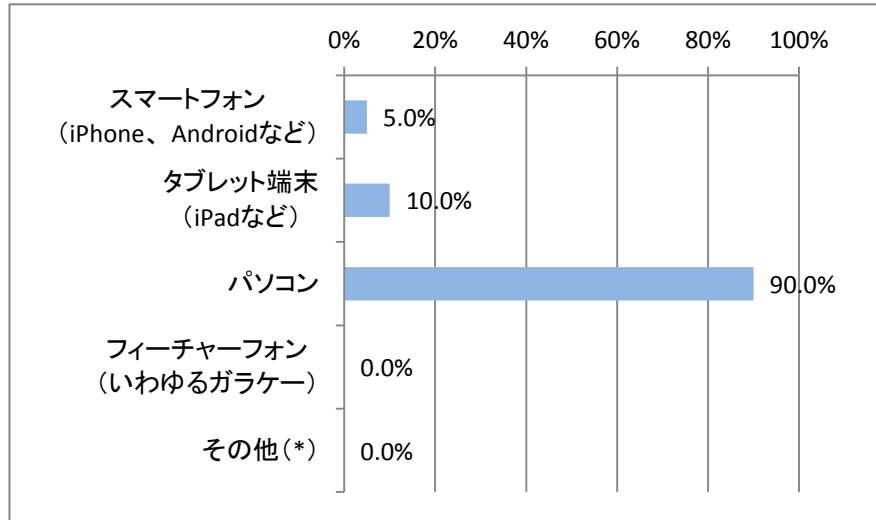
* その他の職業
“はい”の回答者
・無職(2人)
・フリーター

“いいえ”の回答者
・無職
・休職中

<“C-①”（会社の研修での「eラーニング」の利用経験）で、「はい（利用経験がある）」と回答した人について>

D. 会社の研修で利用した/利用している「eラーニング」

D-① 「eラーニング」のデバイス <複数回答可>

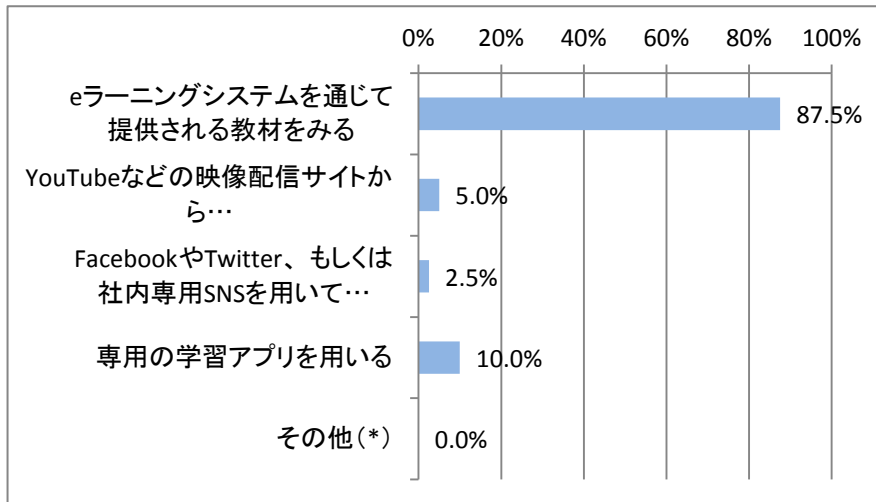


n= 40

	#	%
スマートフォン (iPhone、Androidなど)	2	5.0%
タブレット端末 (iPadなど)	4	10.0%
パソコン	36	90.0%
フィーチャーフォン (いわゆるガラケー)	0	0.0%
その他(*)	0	0.0%

* その他の回答

D-② 「eラーニング」の方法 <複数回答可>

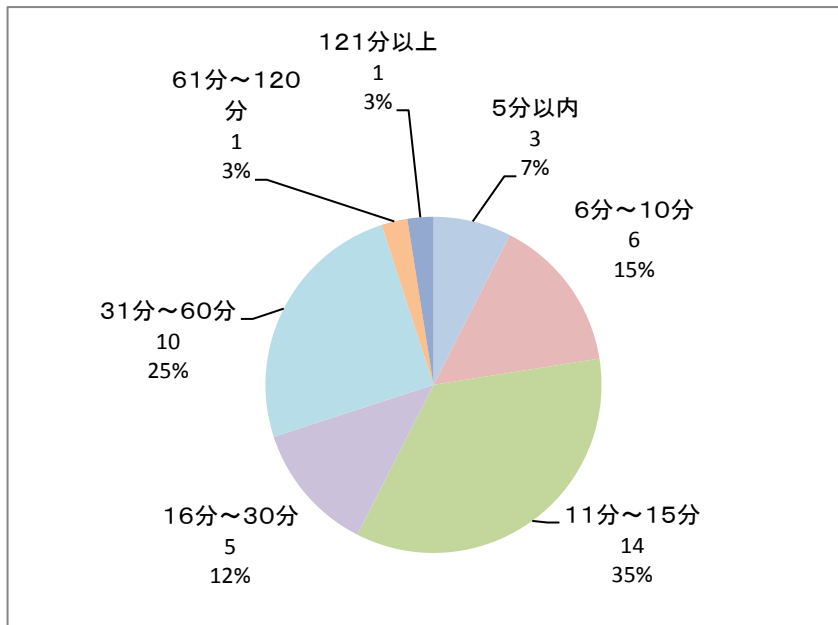


n= 40

	#	%
eラーニングシステムを通じて提供される教材をみる	35	87.5%
YouTubeなどの映像配信サイトから動画をみる	2	5.0%
FacebookやTwitter、もしくは社内専用SNSを用いてディスカッションをする	1	2.5%
専用の学習アプリを用いる	4	10.0%
その他(*)	0	0.0%

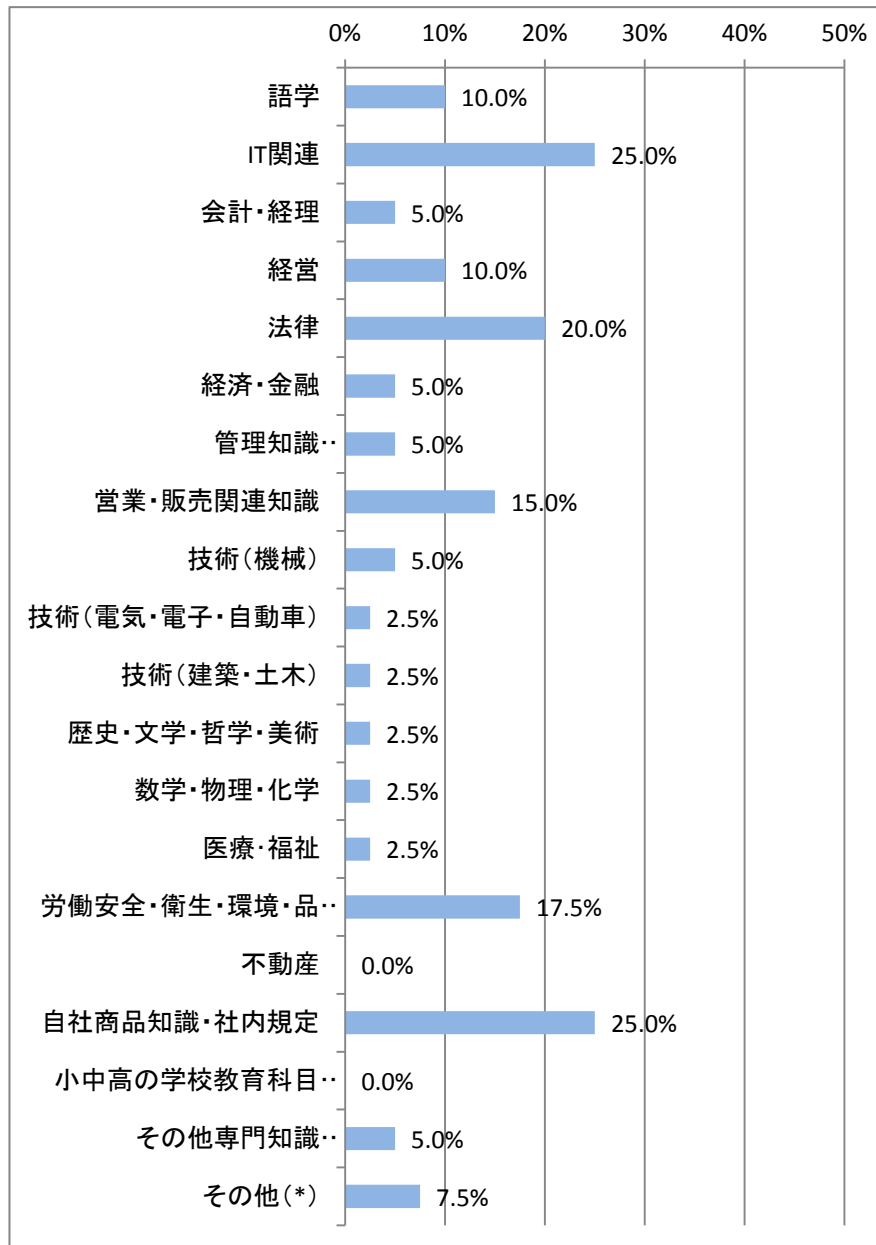
* その他の回答

D-③「eラーニング」の1度の利用時間〈択一回答〉



	#	%
5分以内	3	7.5%
6分～10分	6	15.0%
11分～15分	14	35.0%
16分～30分	5	12.5%
31分～60分	10	25.0%
61分～120分	1	2.5%
121分以上	1	2.5%
計(n)	40	100.0%

D-④「eラーニング」の学習分野 <複数回答可>



n= 40

	#	%
語学	4	10.0%
IT関連	10	25.0%
会計・経理	2	5.0%
経営	4	10.0%
法律	8	20.0%
経済・金融	2	5.0%
管理知識 (プロジェクトマネジメントなど)	2	5.0%
営業・販売関連知識	6	15.0%
技術(機械)	2	5.0%
技術(電気・電子・自動車)	1	2.5%
技術(建築・土木)	1	2.5%
歴史・文学・哲学・美術	1	2.5%
数学・物理・化学	1	2.5%
医療・福祉	1	2.5%
労働安全・衛生・環境・品質 (ISO9000/14000含む)	7	17.5%
不動産	0	0.0%
自社商品知識・社内規定	10	25.0%
小中高の学校教育科目 (国語・社会・数学・理科・英語等)	0	0.0%
その他専門知識 (農業・服飾・栄養・理容等)	2	5.0%
その他(*)	3	7.5%

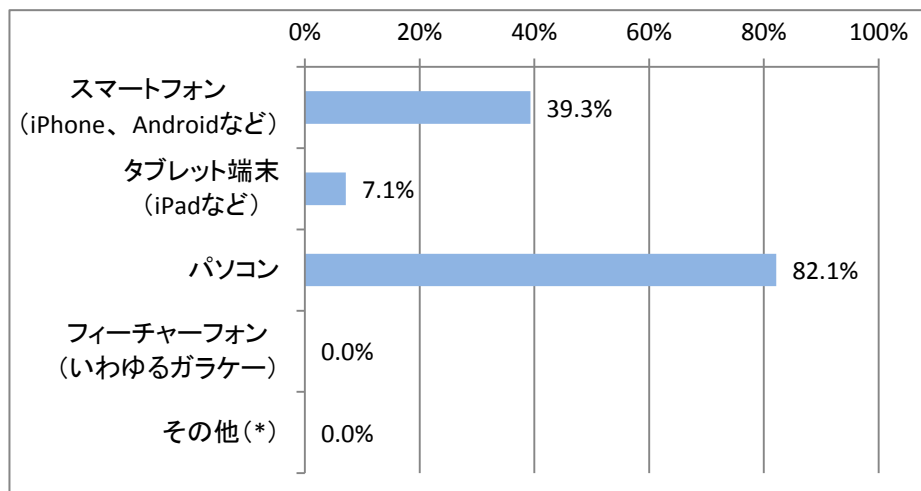
* その他の回答

- ・コンプライアンス(2人)
- ・知財

<“C-②”（高校や大学、専門学校などでの「eラーニング」の利用経験）で、「はい（利用経験がある）」と回答した人について>

E. 高校や大学、専門学校などで行なった/行っている「eラーニング」

E-① 「eラーニング」のデバイス <複数回答可>



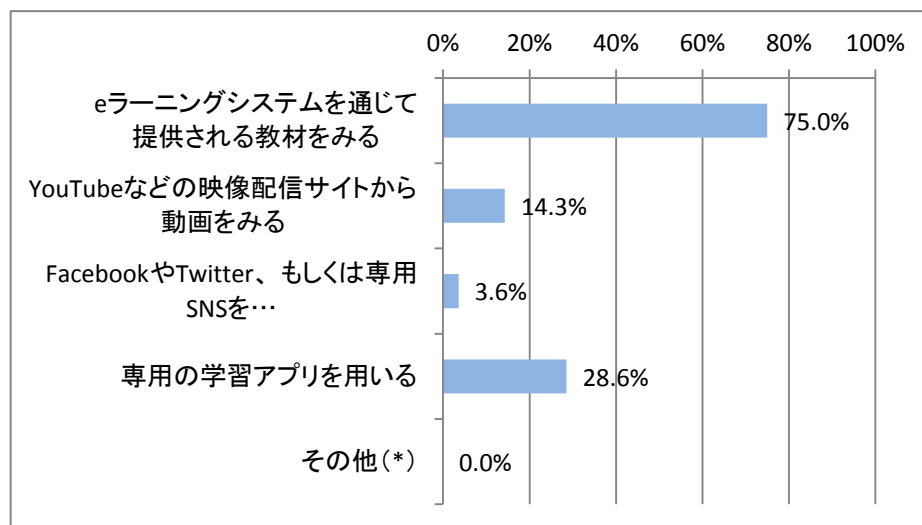
n= 28

	#	%
スマートフォン (iPhone、Androidなど)	11	39.3%
タブレット端末 (iPadなど)	2	7.1%
パソコン	23	82.1%
フィーチャーフォン (いわゆるガラケー)	0	0.0%
その他(*)	0	0.0%

注) 少サンプル

* その他の回答

E-② 「eラーニング」の方法 <複数回答可>



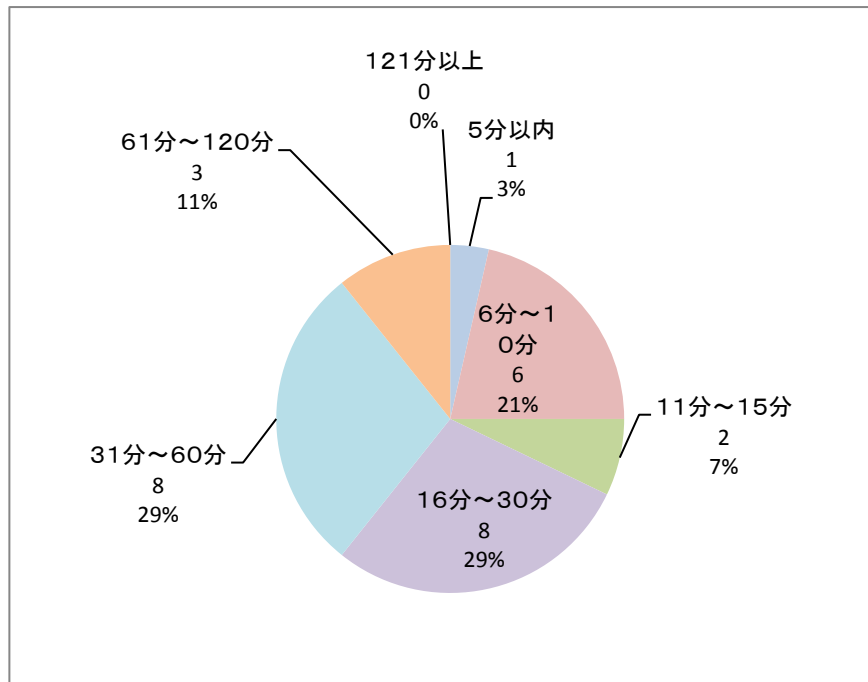
n= 28

	#	%
eラーニングシステムを通じて提供される教材をみる	21	75.0%
YouTubeなどの映像配信サイトから動画をみる	4	14.3%
FacebookやTwitter、もしくは専用SNSを用いてディスカッションをする	1	3.6%
専用の学習アプリを用いる	8	28.6%
その他(*)	0	0.0%

注) 少サンプル

* その他の回答

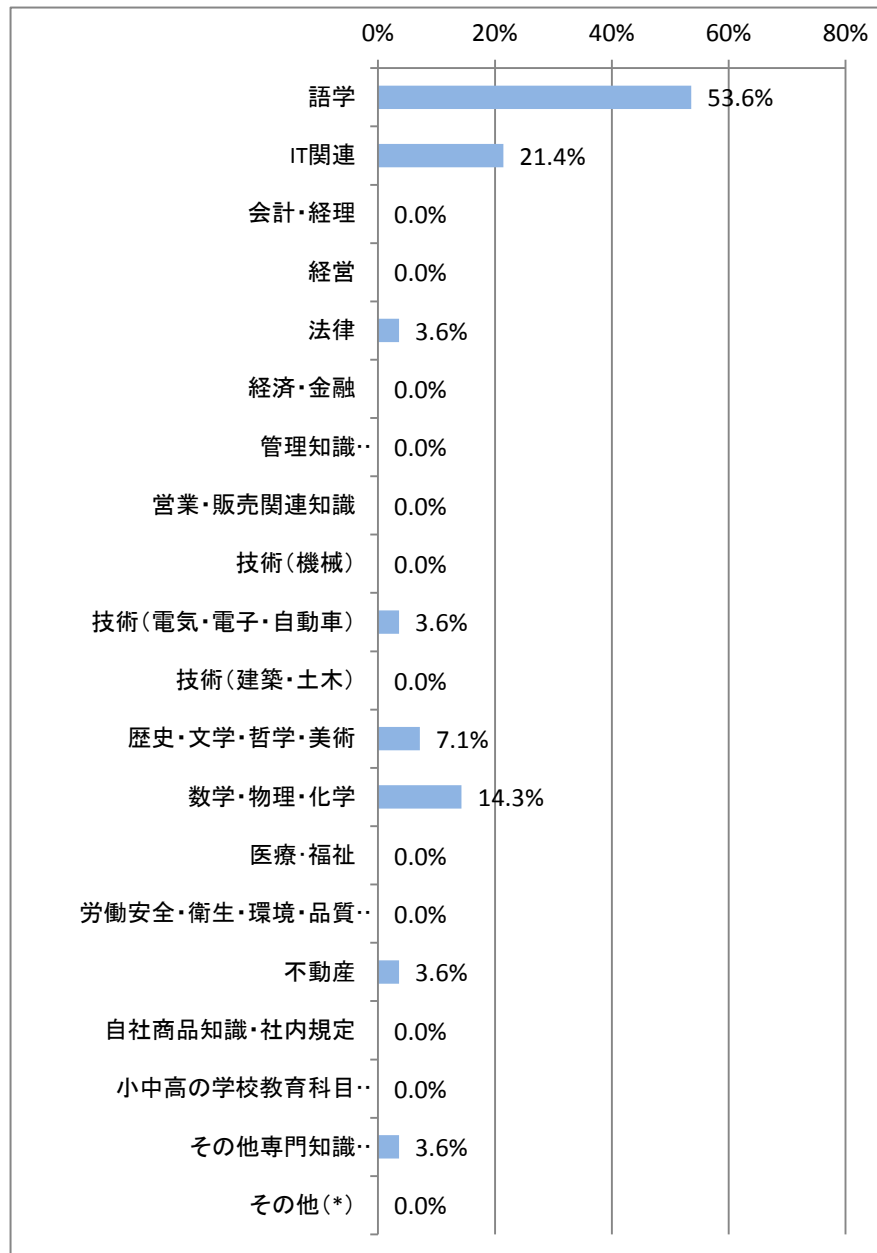
E-③「eラーニング」の1度の利用時間〈択一回答〉



	#	%
5分以内	1	3.6%
6分~10分	6	21.4%
11分~15分	2	7.1%
16分~30分	8	28.6%
31分~60分	8	28.6%
61分~120分	3	10.7%
121分以上	0	0.0%
計(n)	28	100.0%

注) 少サンプル

E-④「eラーニング」の学習分野〈複数回答可〉



n= 28

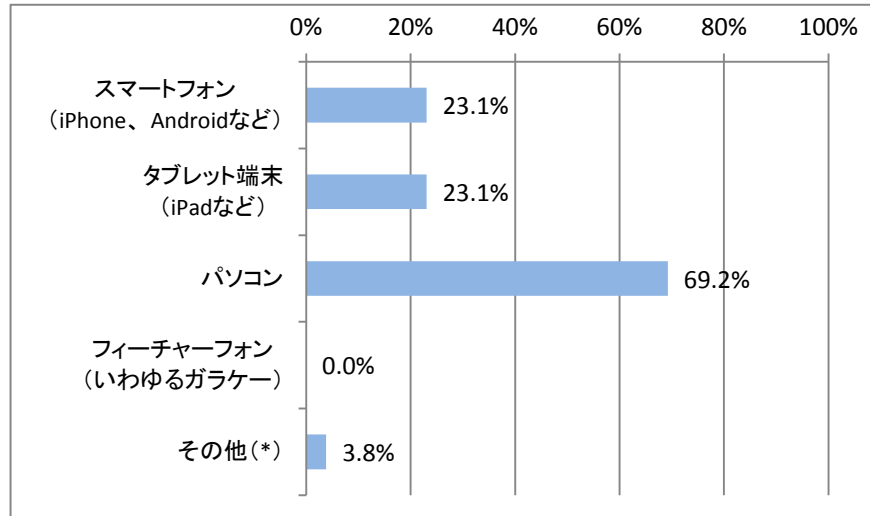
	#	%
語学	15	53.6%
IT関連	6	21.4%
会計・経理	0	0.0%
経営	0	0.0%
法律	1	3.6%
経済・金融	0	0.0%
管理知識 (プロジェクトマネジメントなど)	0	0.0%
営業・販売関連知識	0	0.0%
技術(機械)	0	0.0%
技術(電気・電子・自動車)	1	3.6%
技術(建築・土木)	0	0.0%
歴史・文学・哲学・美術	2	7.1%
数学・物理・化学	4	14.3%
医療・福祉	0	0.0%
労働安全・衛生・環境・品質 (ISO9000/14000含む)	0	0.0%
不動産	1	3.6%
自社商品知識・社内規定	0	0.0%
小中高の学校教育科目 (国語・社会・数学・理科・英語等)	0	0.0%
その他専門知識 (農業・服飾・栄養・理容等)	1	3.6%
その他(*)	0	0.0%

* その他の回答

<“C-③”(個人的な「eラーニング」の利用経験)で、「はい(利用経験がある)」と回答した人について>

F. 個人的に行なった/行っている「eラーニング」

F-①「eラーニング」のデバイス<複数回答可>



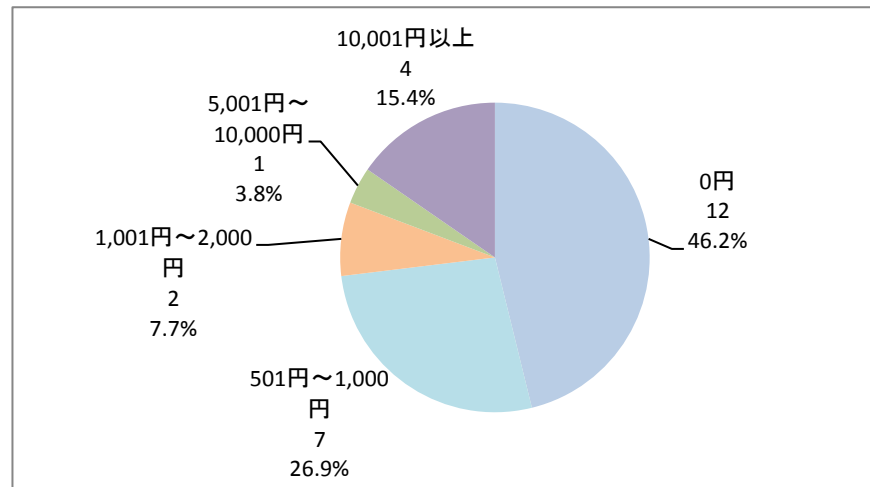
n= 26

	#	%
スマートフォン (iPhone、Androidなど)	6	23.1%
タブレット端末 (iPadなど)	6	23.1%
パソコン	18	69.2%
フィーチャーフォン (いわゆるガラケー)	0	0.0%
その他(*)	1	3.8%

注) 少サンプル

* その他の回答
・プログラミング

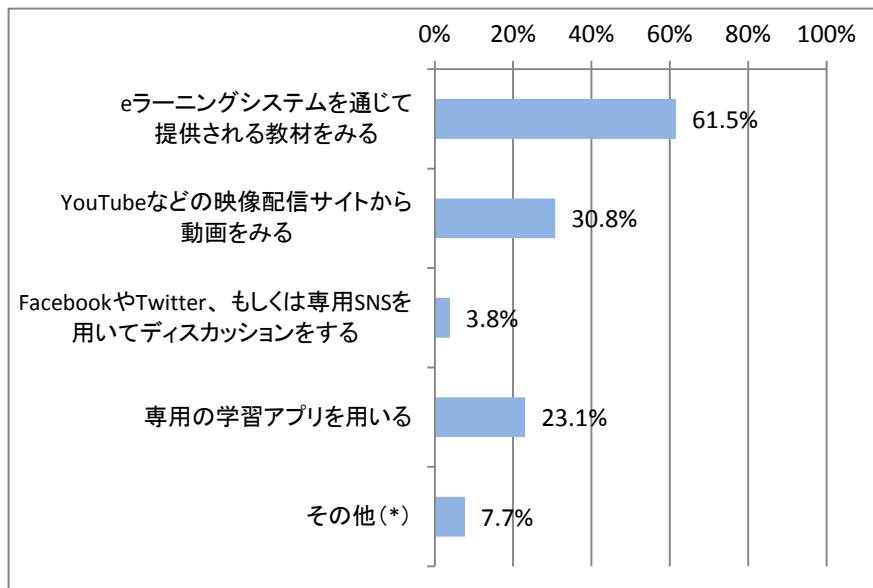
F-②「eラーニング」に費やす月額(合計金額)<択一回答>



	#	%
0円	12	46.2%
1円～100円	0	0.0%
101円～300円	0	0.0%
301円～500円	0	0.0%
501円～1,000円	7	26.9%
1,001円～2,000円	2	7.7%
2,001円～3,000円	0	0.0%
3,001円～5,000円	0	0.0%
5,001円～10,000円	1	3.8%
10,001円以上	4	15.4%
計(n)	26	100.0%

注) 少サンプル

F-③「eラーニング」の方法〈複数回答可〉



n= 26

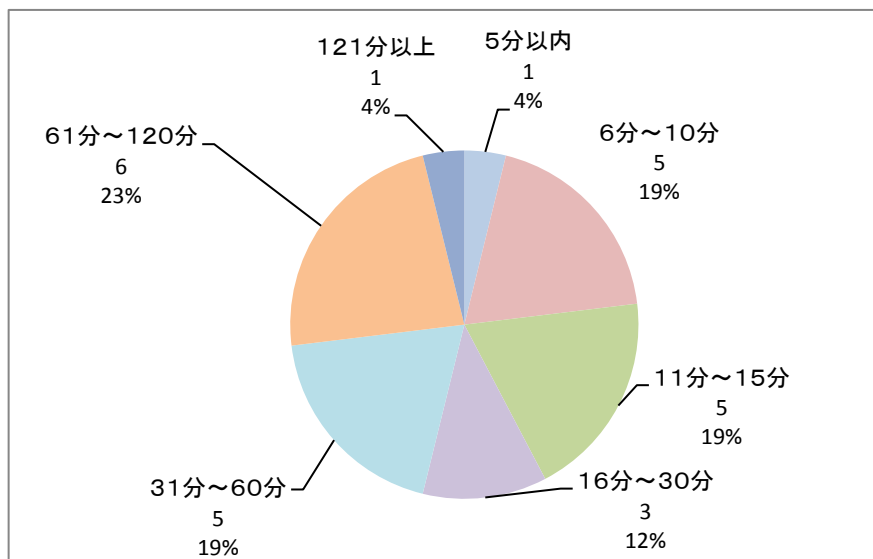
	#	%
eラーニングシステムを通じて提供される教材をみる	16	61.5%
YouTubeなどの映像配信サイトから動画をみる	8	30.8%
FacebookやTwitter、もしくは専用SNSを用いてディスカッションをする	1	3.8%
専用の学習アプリを用いる	6	23.1%
その他(*)	2	7.7%

注) 少サンプル

* その他の回答

- ・教材を自分で作成して学習している
- ・放送大学システムにログインする

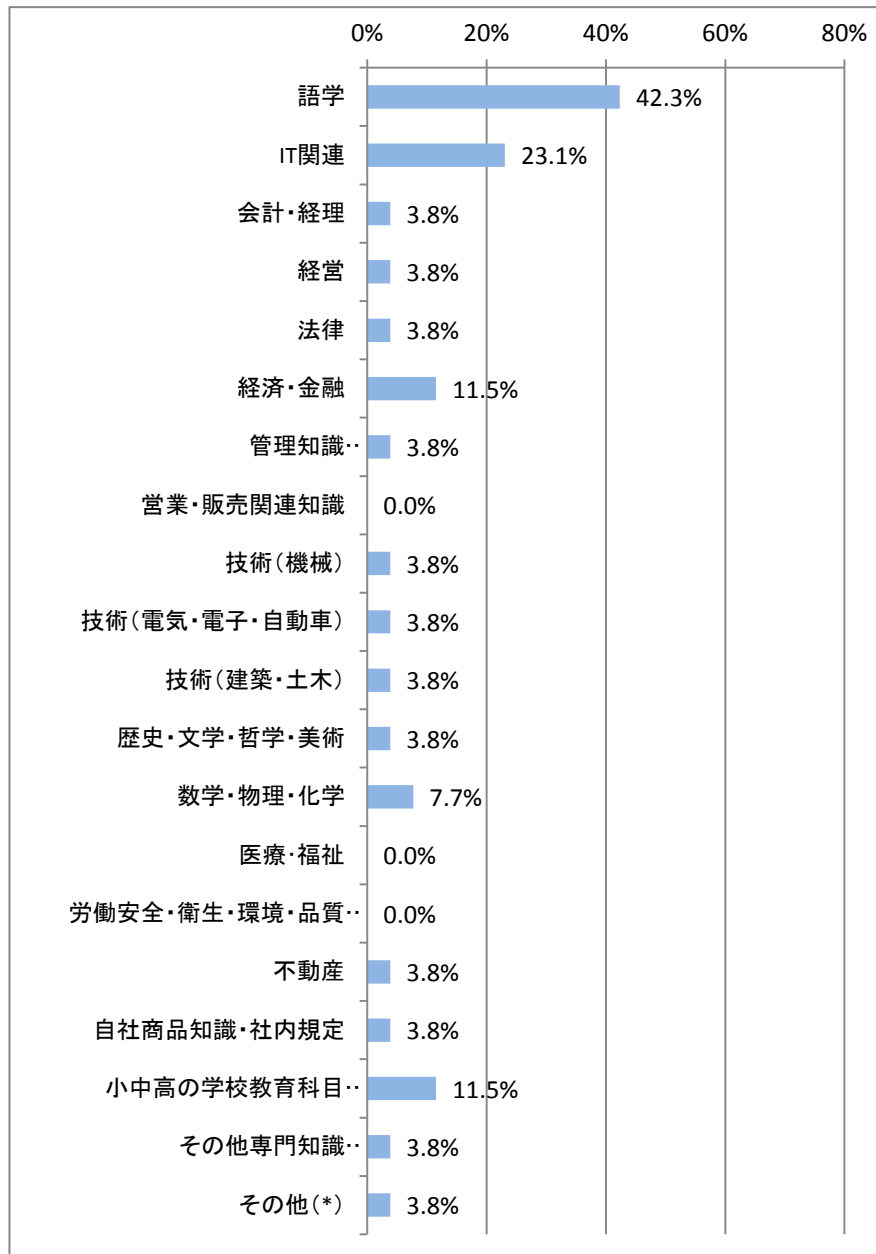
F-④「eラーニング」の1度の利用時間〈択一回答〉



	#	%
5分以内	1	3.8%
6分~10分	5	19.2%
11分~15分	5	19.2%
16分~30分	3	11.5%
31分~60分	5	19.2%
61分~120分	6	23.1%
121分以上	1	3.8%
計(n)	26	100.0%

注) 少サンプル

F-⑤「eラーニング」の学習分野〈複数回答可〉



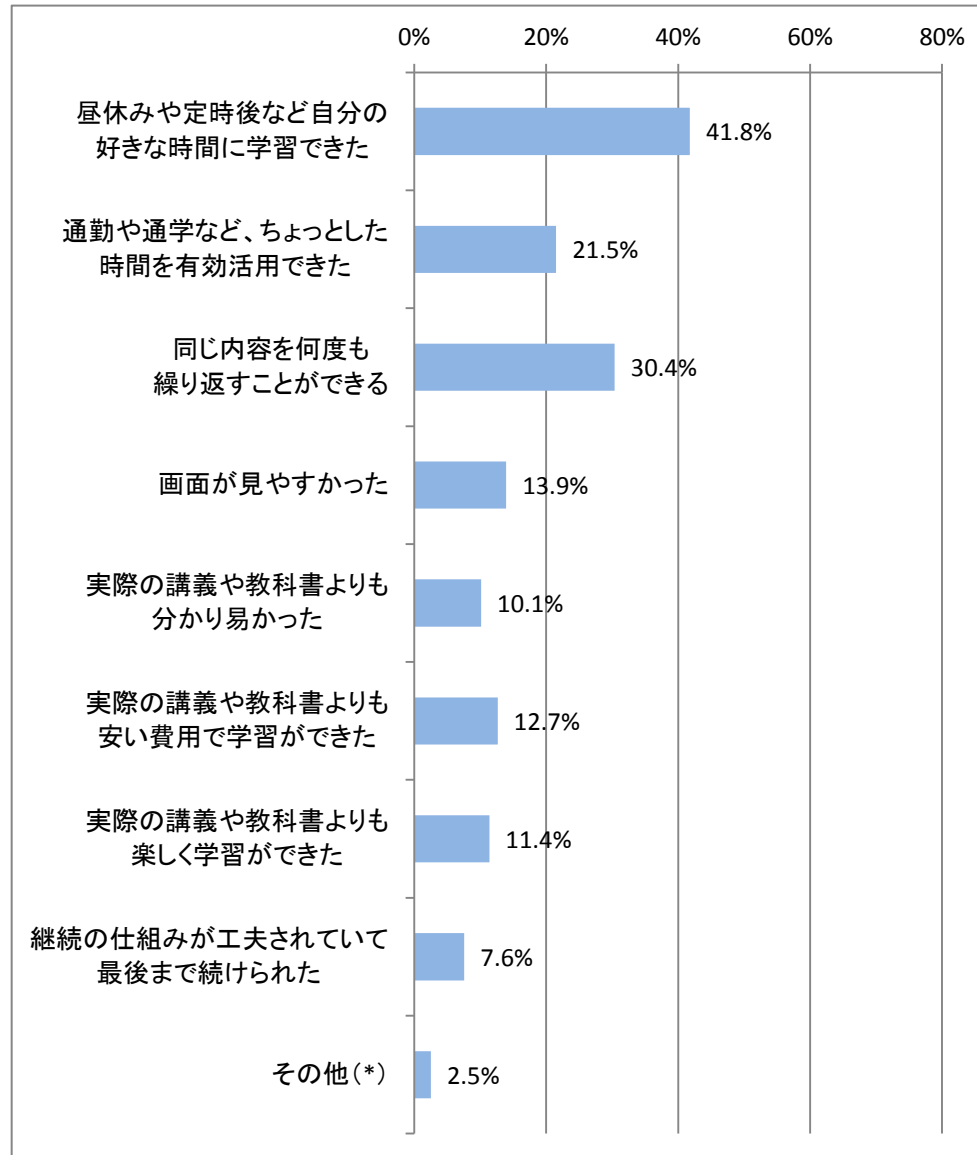
n= 26

	#	%
語学	11	42.3%
IT関連	6	23.1%
会計・経理	1	3.8%
経営	1	3.8%
法律	1	3.8%
経済・金融	3	11.5%
管理知識 (プロジェクトマネジメントなど)	1	3.8%
営業・販売関連知識	0	0.0%
技術(機械)	1	3.8%
技術(電気・電子・自動車)	1	3.8%
技術(建築・土木)	1	3.8%
歴史・文学・哲学・美術	1	3.8%
数学・物理・化学	2	7.7%
医療・福祉	0	0.0%
労働安全・衛生・環境・品質 (ISO9000/14000含む)	0	0.0%
不動産	1	3.8%
自社商品知識・社内規定	1	3.8%
小中高の学校教育科目 (国語・社会・数学・理科・英語等)	3	11.5%
その他専門知識 (農業・服飾・栄養・理容等)	1	3.8%
その他(*)	1	3.8%

* その他の回答
・学校全般の学習

<“B”で、「現在利用している」、「過去5年以内は利用していたが現在は利用していない」、「6年以上前は利用していたが現在は利用していない」と回答した人について>

G. これまで「eラーニング」を利用してきて、良かったこと、役に立ったと感じたこと<複数回答可>



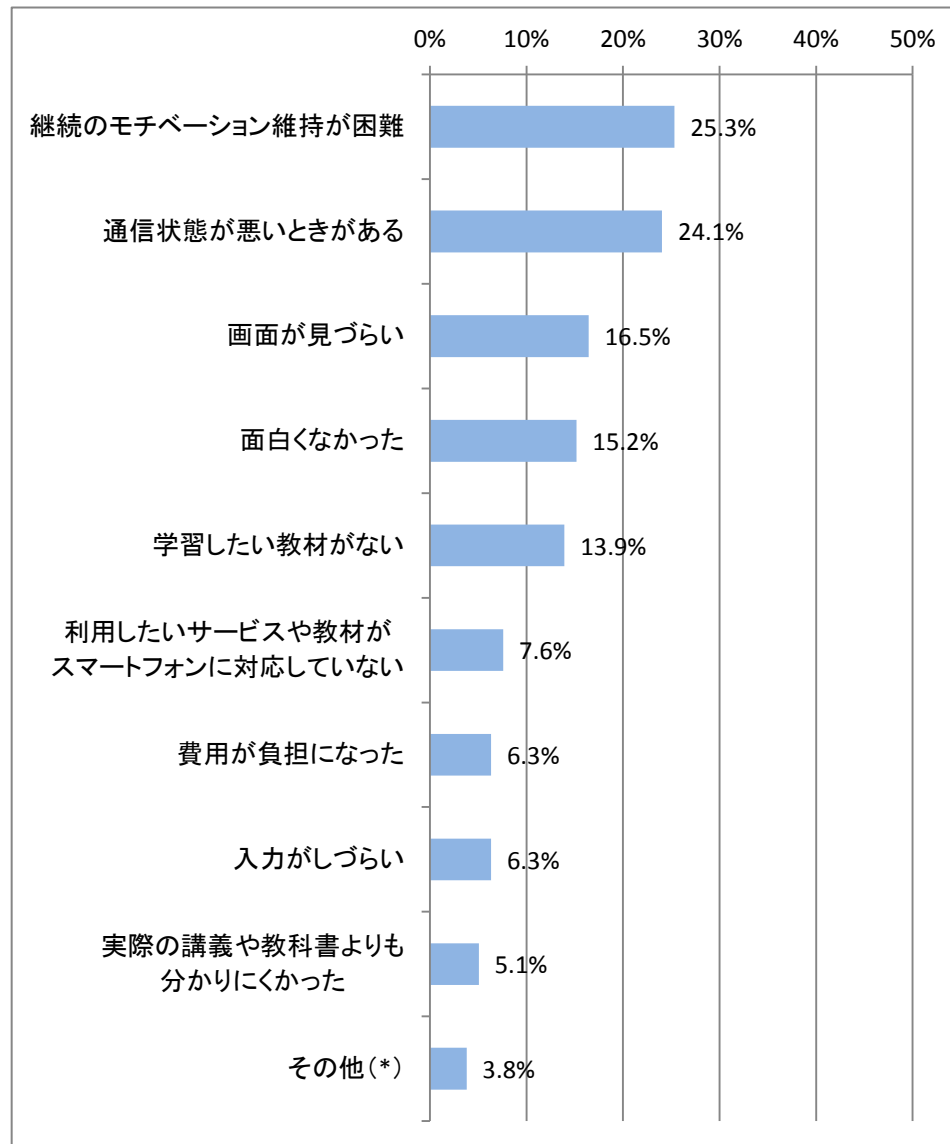
n= 79

	#	%
昼休みや定時後など自分の好きな時間に学習できた	33	41.8%
通勤や通学など、ちょっとした時間を有効活用できた	17	21.5%
同じ内容を何度も繰り返すことができる	24	30.4%
画面が見やすかった	11	13.9%
実際の講義や教科書よりも分かり易かった	8	10.1%
実際の講義や教科書よりも安い費用で学習ができた	10	12.7%
実際の講義や教科書よりも楽しく学習ができた	9	11.4%
継続の仕組みが工夫されていて最後まで続けられた	6	7.6%
その他(*)	2	2.5%

* その他の回答
 ・役に立ってない
 ・特にない

<“B”で、「現在利用している」、「過去5年以内は利用していたが現在は利用していない」、「6年以上前は利用していたが現在は利用していない」と回答した人について>

H. これまで「eラーニング」を利用したなかで、不満に感じたこと<複数回答可>



n= 79

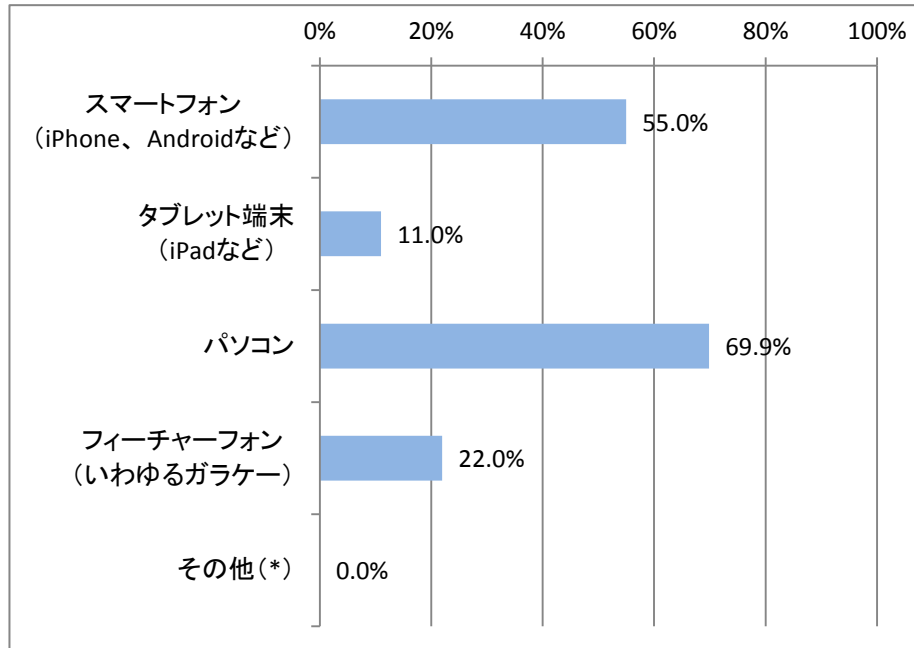
	#	%
継続のモチベーション維持が困難	20	25.3%
通信状態が悪いときがある	19	24.1%
画面が見づらい	13	16.5%
面白くなかった	12	15.2%
学習したい教材がない	11	13.9%
利用したいサービスや教材がスマートフォンに対応していない	6	7.6%
費用が負担になった	5	6.3%
入力がしづらい	5	6.3%
実際の講義や教科書よりも分かりにくかった	4	5.1%
その他(*)	3	3.8%

- * その他の回答
- ・配信期間が決まっており、それを過ぎると費用は払っているのに利用できなくなった
 - ・特にない
 - ・ない

<“B”で、eラーニングを「全く利用したことがない」と回答した人について>

I. 日ごろ利用しているのデバイス/「eラーニング」を利用しない理由

I-① 日ごろ利用しているのデバイス <複数回答可>

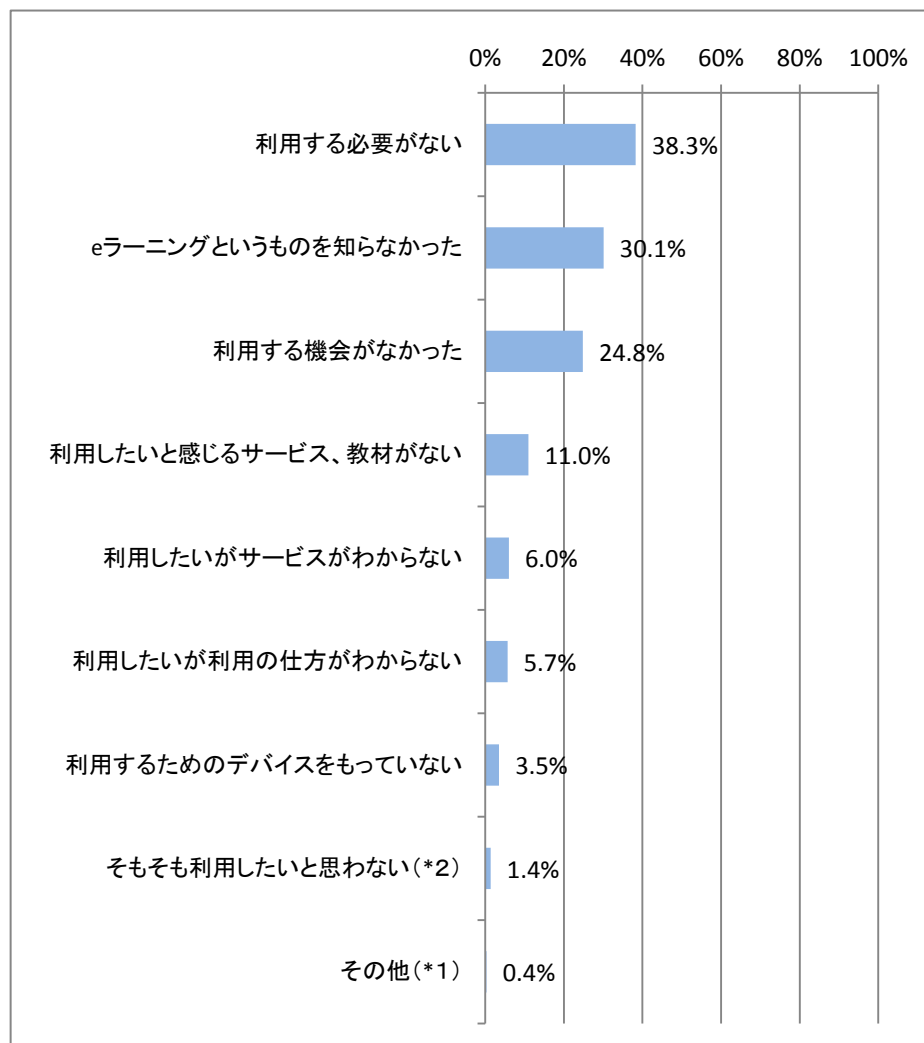


n= 282

	#	%
スマートフォン (iPhone、Androidなど)	155	55.0%
タブレット端末 (iPadなど)	31	11.0%
パソコン	197	69.9%
フィーチャーフォン (いわゆるガラケー)	62	22.0%
その他(*)	0	0.0%

* その他の回答

I-②「eラーニング」を利用しない理由〈複数回答可〉



n= 282

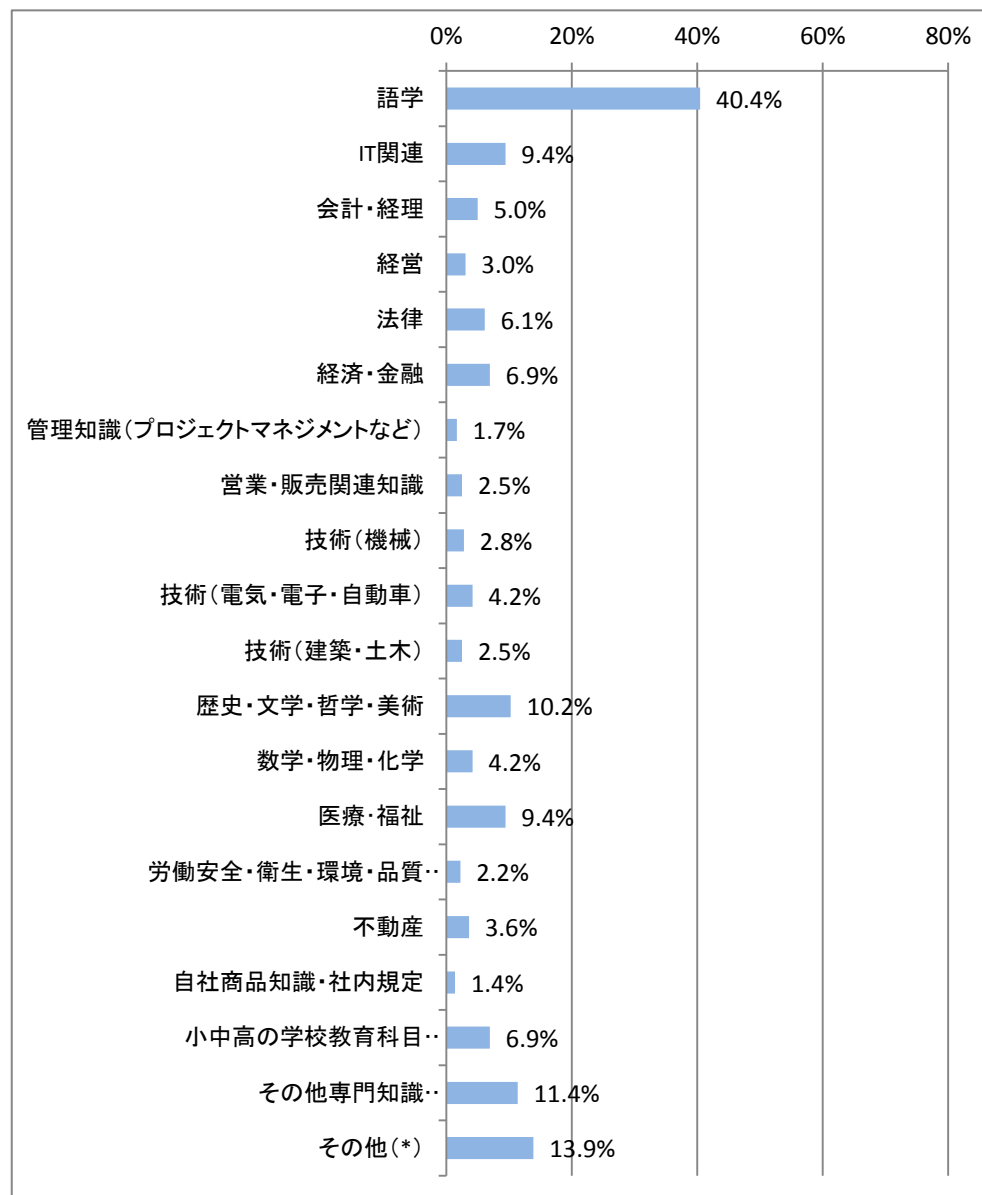
	#	%
利用する必要がある	108	38.3%
eラーニングというものを知らなかった	85	30.1%
利用する機会がなかった	70	24.8%
利用したいと感じるサービス、教材がない	31	11.0%
利用したいがサービスがわからない	17	6.0%
利用したいが利用の仕方がわからない	16	5.7%
利用するためのデバイスをもっていない	10	3.5%
そもそも利用したいと思わない(*2)	4	1.4%
その他(*1)	1	0.4%

*1 その他の回答
 ・お金と時間がないから

*2 そもそも利用したいと思わない理由〈自由回答〉
 ・後期高齢者になり、学習とは縁遠い
 ・高齢者
 ・機器に詳しくないから
 ・特にな

<全員への質問>

J. 今後利用してみたい「eラーニング」の分野 <複数回答可>



n= 361

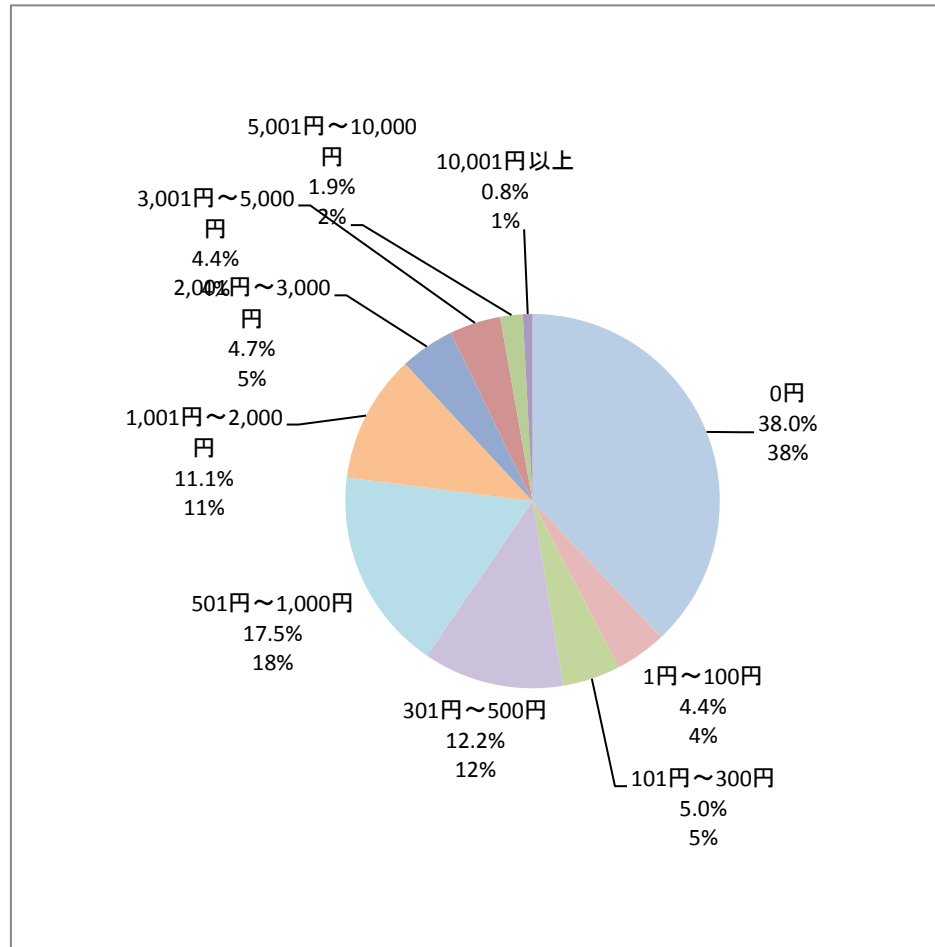
	#	%
語学	146	40.4%
IT関連	34	9.4%
会計・経理	18	5.0%
経営	11	3.0%
法律	22	6.1%
経済・金融	25	6.9%
管理知識(プロジェクトマネジメントなど)	6	1.7%
営業・販売関連知識	9	2.5%
技術(機械)	10	2.8%
技術(電気・電子・自動車)	15	4.2%
技術(建築・土木)	9	2.5%
歴史・文学・哲学・美術	37	10.2%
数学・物理・化学	15	4.2%
医療・福祉	34	9.4%
労働安全・衛生・環境・品質 (ISO9000/14000含む)	8	2.2%
不動産	13	3.6%
自社商品知識・社内規定	5	1.4%
小中高の学校教育科目 (国語・社会・数学・理科・英語等)	25	6.9%
その他専門知識 (農業・服飾・栄養・理容等)	41	11.4%
その他(*)	50	13.9%

* その他の回答

- ・株、投資系
- ・倉庫
- ・有れば、狩猟免許、特殊航空無線技士
- ・特にない/ない/今は無い(37人)
- ・興味ない(3人)
- ・利用の必要がない(2人)
- ・利用する気持ちはない/利用したいとは思わない(2人)
- ・利用したい物は無い
- ・年齢的に学習意欲が湧かない。
- ・eラーニングはこの先も利用しない

<全員への質問>

J. 今後、個人的に「eラーニング」を利用しようとした場合、支払っても良い月額〈択一回答〉



	#	%
0円	137	38.0%
1円～100円	16	4.4%
101円～300円	18	5.0%
301円～500円	44	12.2%
501円～1,000円	63	17.5%
1,001円～2,000円	40	11.1%
2,001円～3,000円	17	4.7%
3,001円～5,000円	16	4.4%
5,001円～10,000円	7	1.9%
10,001円以上	3	0.8%
計(n)	361	100.0%

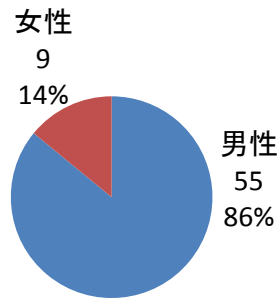
12-eラーニングの関連技術に 関するWebアンケート <第1回>

- ◆ 調査期間: 2015年12月～2016年1月
- ◆ 調査手法: web調査(Googleフォーム利用)
- ◆ 対象者: eLCおよび関連機関において
メールアドレスが登録されている人
- ◆ サンプル数: 64 サンプル

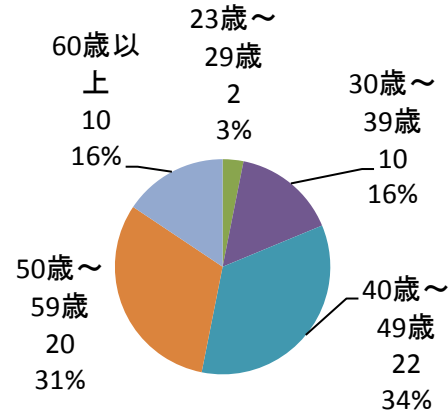
◆ 回答者の属性

注) サンプル数が少ないことからパーセンテージは整数表示(以下同様)

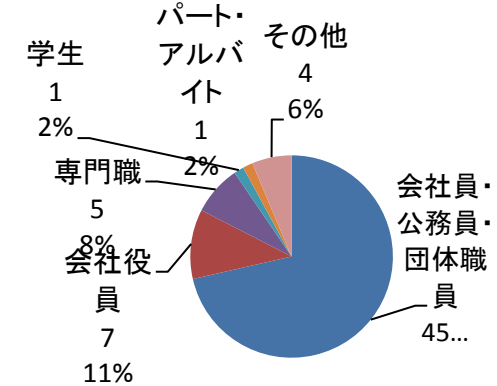
① 性別 <n=64>



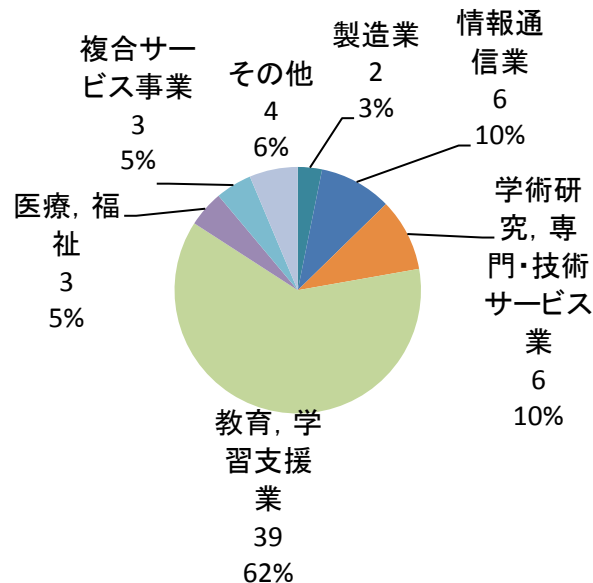
② 年齢帯 <n=64>



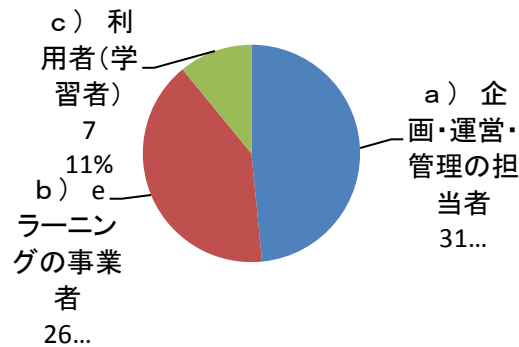
③ 職業 <n=63>



④ 業種 <n=63>



⑤ eラーニングとの関わり <n=64>

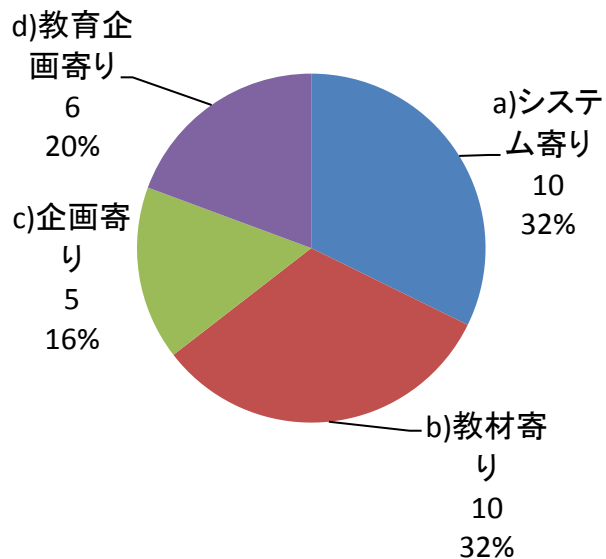


＜グラフ内の表記＞
 上段: 回答内容
 中段: 回答者数
 下段: パーセンテージ

- a) 企業や学校など自身が属する組織の中で、eラーニングの企画・運営・管理などを担当している。(予定も含む、以下同様)。
- b) eラーニングの事業者(コンテンツ開発/提供、アプリ開発/提供、システム開発/提供などに携わっている)。(予定も含む、以下同様)
- c) eラーニングを利用して現在、学習している。(予定を含む、以下同様)

◆ eラーニングの企画・運営・管理者について

① 担当分野 <n=31・SA>



- a) システム寄りの運用
⇒ LMS(Learning Management System)の運用に携わっているなど
- b) 教材寄りの運用
⇒ eラーニング教材の制作や、外部から教材購買など
- c) 企画寄りの運用
⇒ eラーニング環境全体の企画、分析、提案など
- d) 教育企画寄りの運用
⇒ 集合研修も含めた教育体系の企画、運営、など

このような方々から
得られた情報です！

<回答形式>

SA: 択一回答

MA: 複数回答可

<グラフ内の表記>

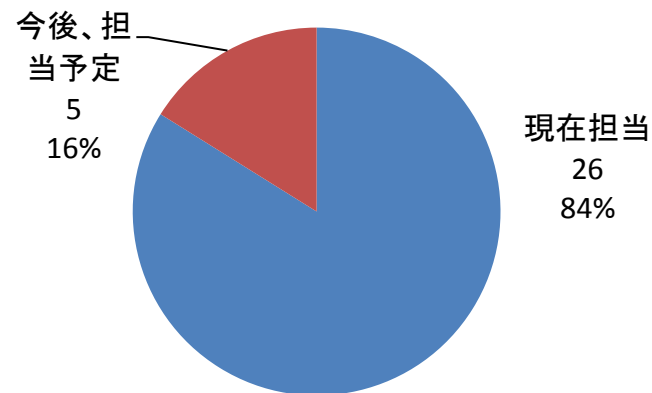
上段: 回答内容

中段: 回答者数

下段: パーセンテージ

(以下同様)

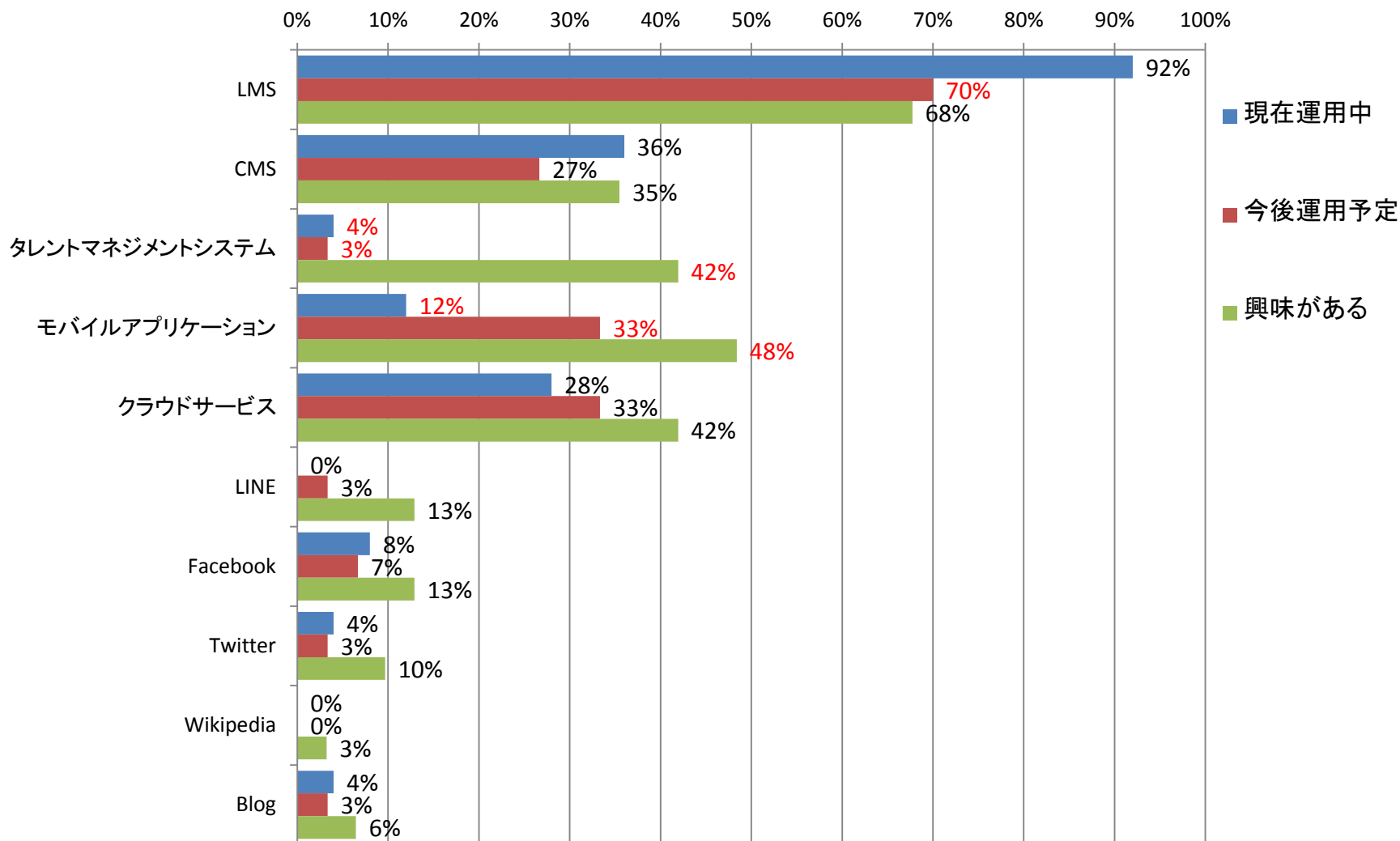
② 現在担当しているか？ 今後担当する予定か？ <n=31・SA>



◆ eラーニングの企画・運営・管理者について

現在運用中の/今後運用予定の/興味がある …

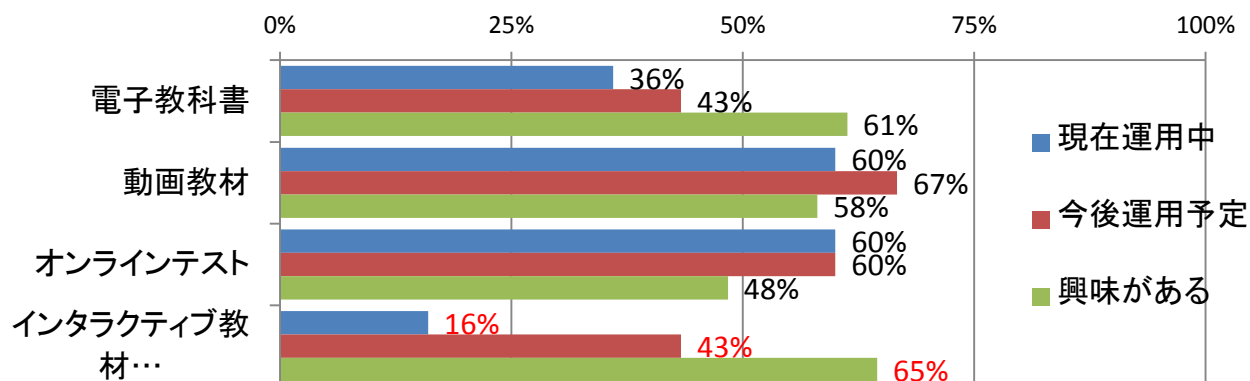
① eラーニングのシステム <現在:n=25/今後:n=30/興味:n=31・MA>



◆ eラーニングの企画・運営・管理者について

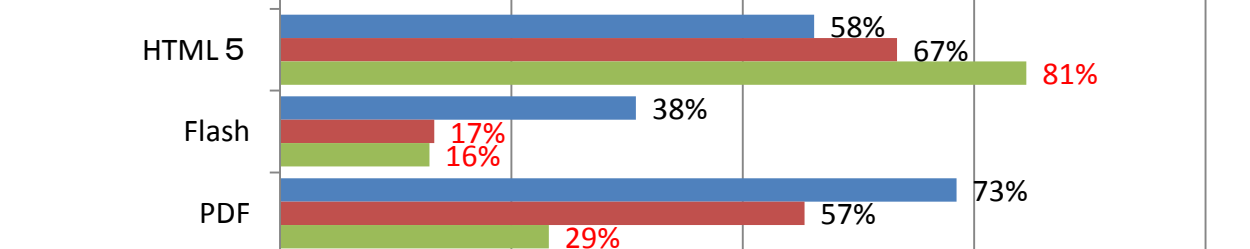
② コンテンツのタイプ

〈現在:n=25/今後:n=30/興味:n=31・MA〉



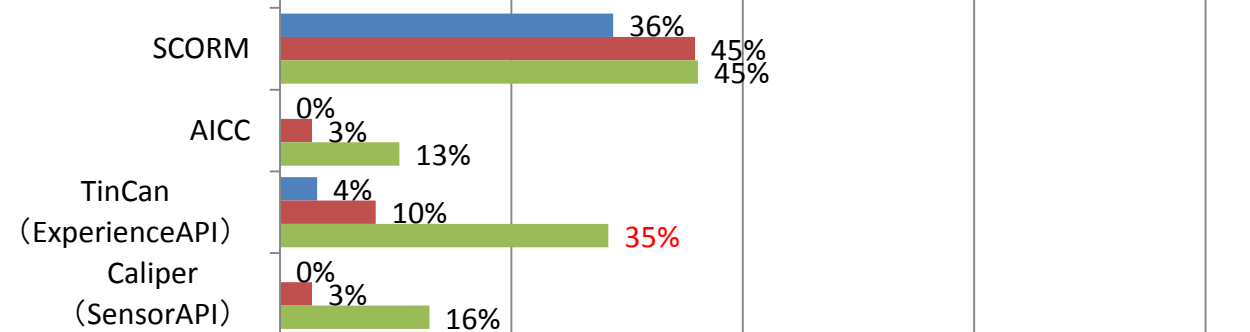
③ コンテンツの形式

〈現在:n=25/今後:n=29/興味:n=31・MA〉



④ コンテンツの規格

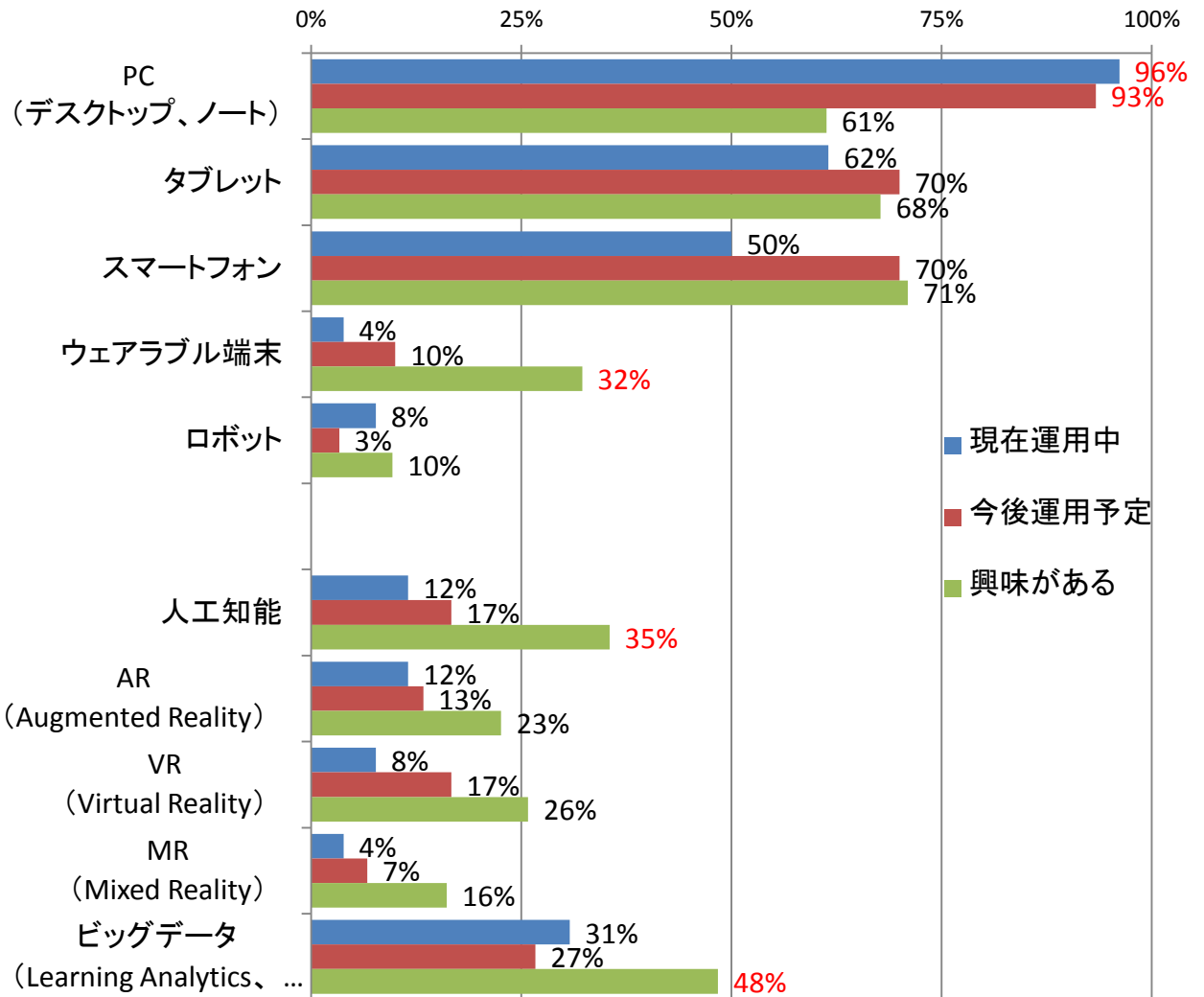
〈現在:n=26/今後:n=30/興味:n=31・MA〉



◆ eラーニングの企画・運営・管理者について

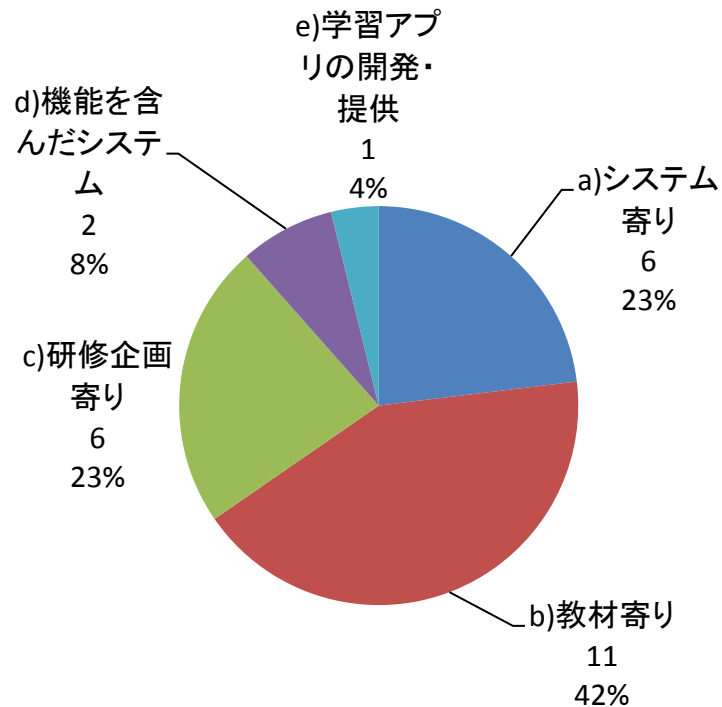
⑤ 利用デバイス

〈現在:n=26/今後:n=30/興味:n=31・MA〉



◆ eラーニングの事業者について

① 事業者のタイプ <n=26・SA>



a)システム寄りの事業者

⇒ LMS(Learning Management System)の開発、提供など

b)教材寄りの事業者

⇒ eラーニング教材の企画、開発、提供など

c)研修企画寄りの事業者

⇒ 集合研修も含んだ教育、研修の設計、コンサルティングなど

d)機能を含んだシステム開発・提供事業者

⇒ eラーニングがメインではないが人財育成システムなどの提供

e)学習アプリの開発・提供事業者

⇒ eラーニングがメインではないが学習関連のアプリの開発・提供

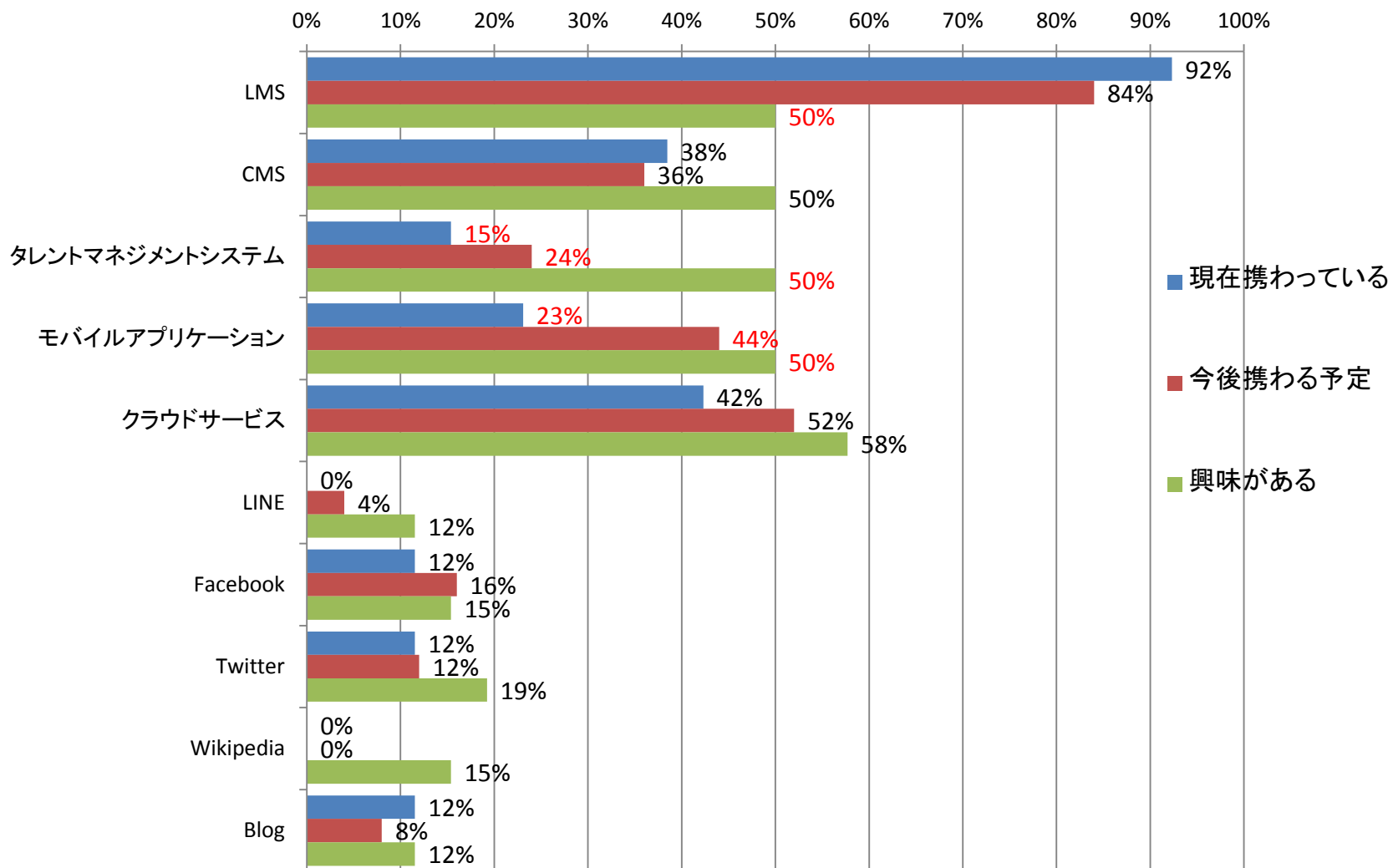
※ 26人全員が、eラーニング事業に現在携わっている。

このような方々から
得られた情報です！

◆ eラーニングの事業者について

現在携わっている/今後携わる予定の/興味がある …

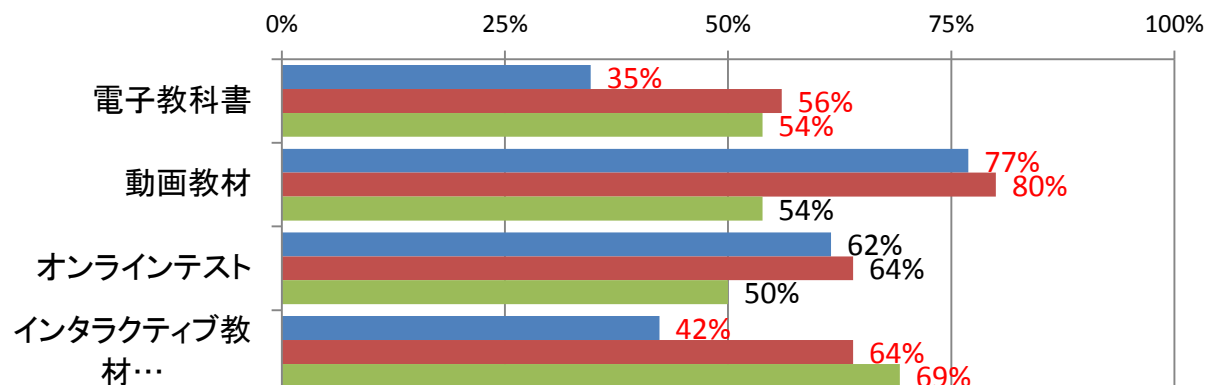
① eラーニングのシステム <現在:n=26/今後:n=25/興味:n=26・MA>



◆ eラーニングの事業者について

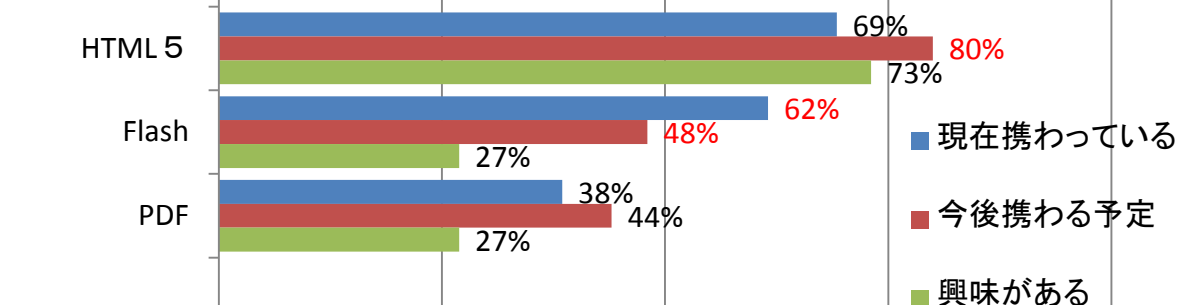
② コンテンツのタイプ

〈現在:n=26/今後:n=25/興味:n=26・MA〉



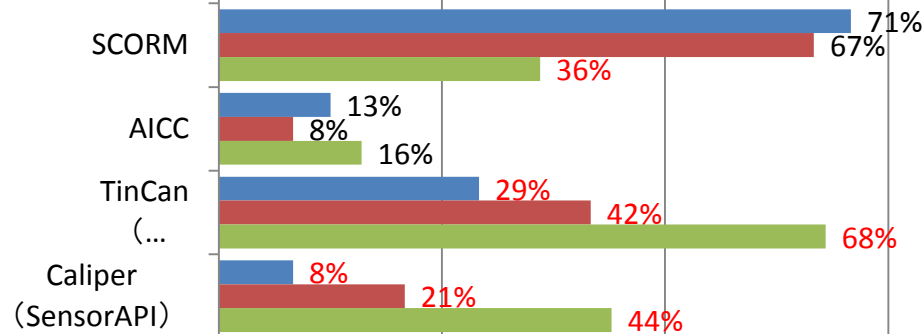
③ コンテンツの形式

〈現在:n=26/今後:n=25/興味:n=26・MA〉



④ コンテンツの規格

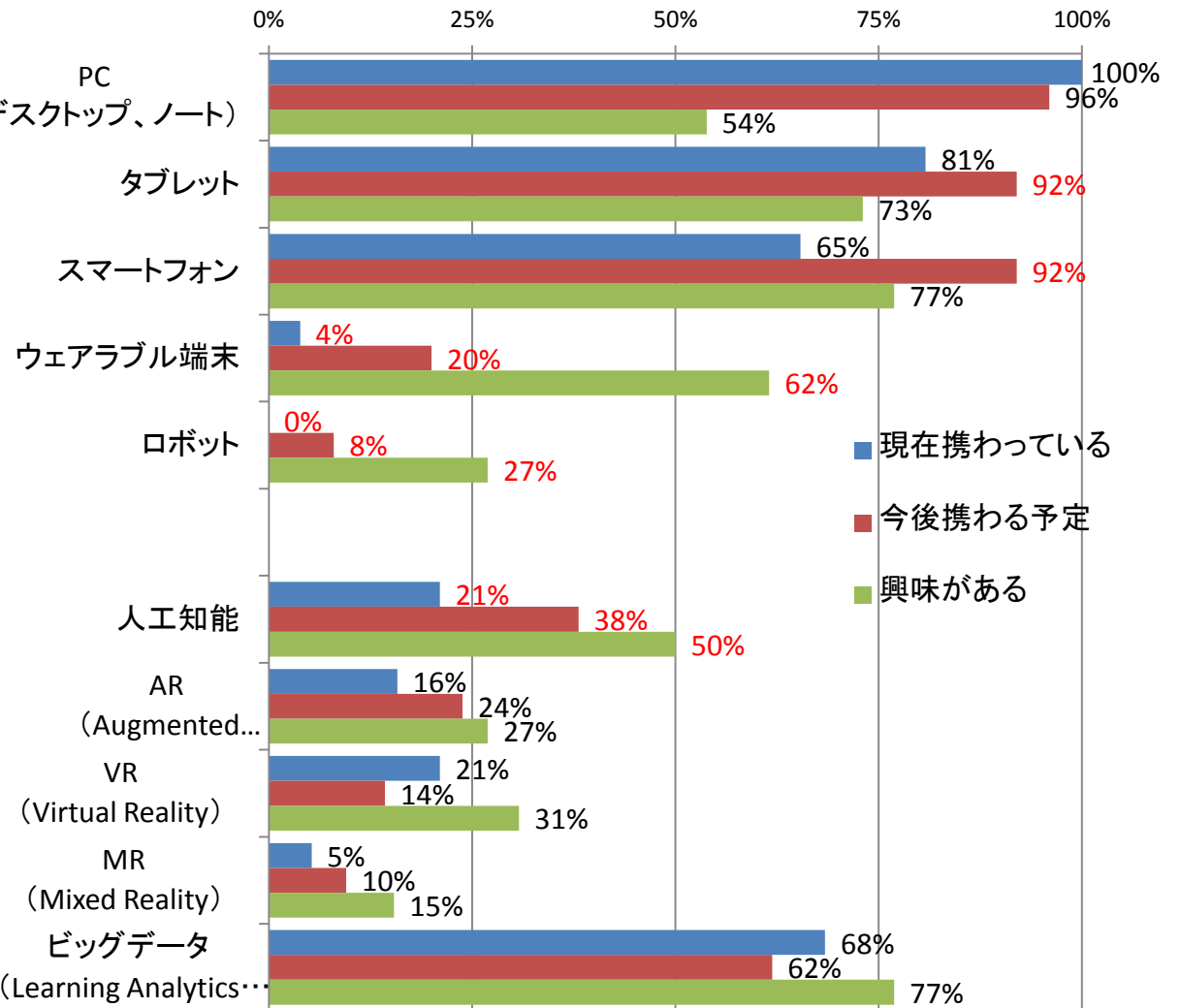
〈現在:n=24/今後:n=24/興味:n=25・MA〉



◆ eラーニングの事業者について

⑤ 利用デバイス

〈現在:n=26/今後:n=25/興味:n=26・MA〉

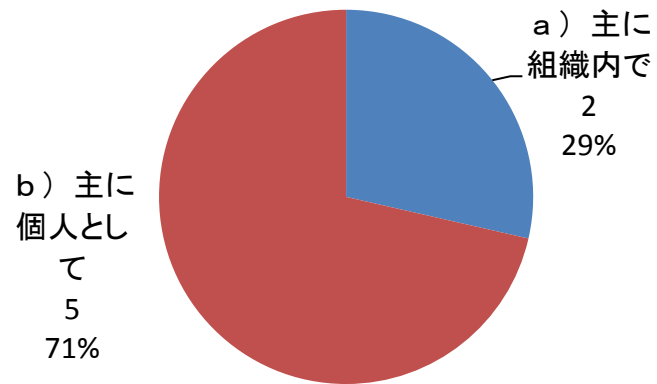


⑥ 周辺分野

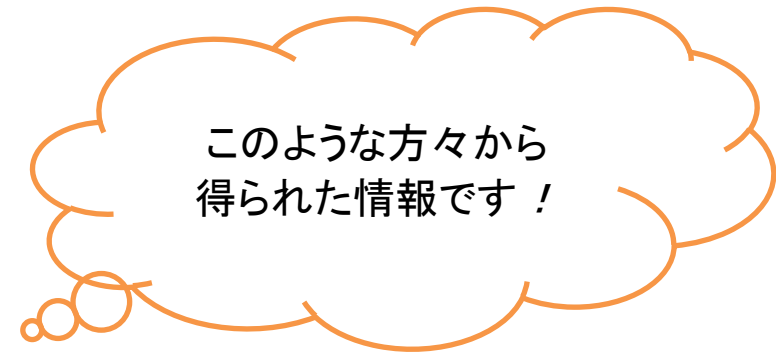
〈現在:n=19/今後:n=21/興味:n=26・MA〉

◆ eラーニングの利用者(学習者)について

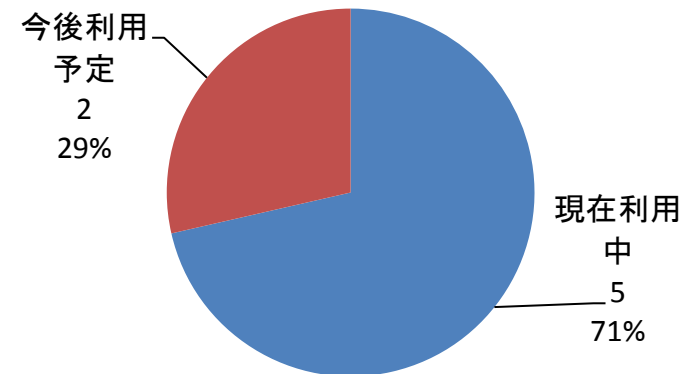
① 組織内ですか？ 個人としてか？ <n=7・SA>



- a) 企業の研修や学校の授業などで
- b) 主に一個人として自己啓発や趣味などで



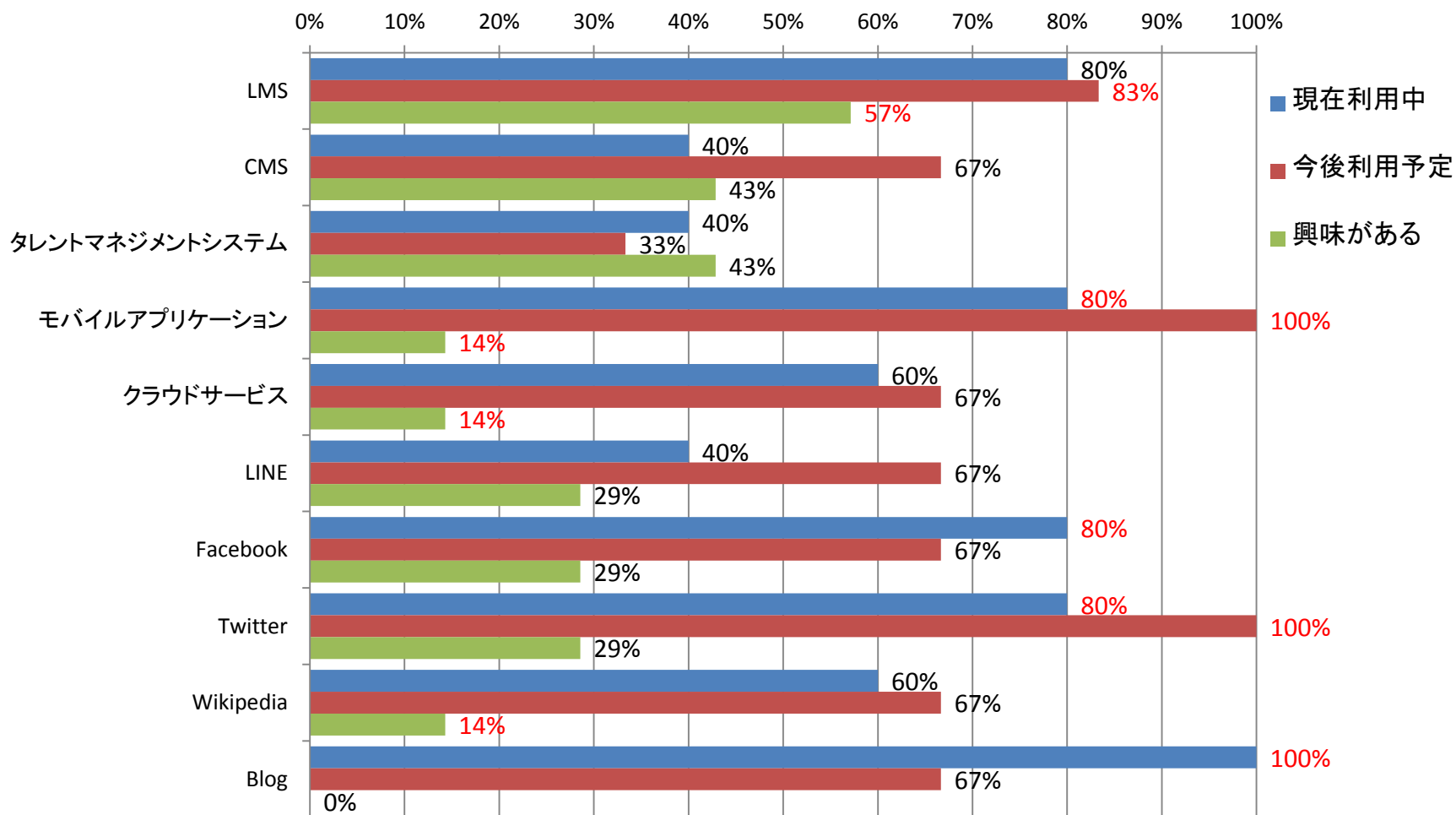
② 現在利用しているか？ 今後利用する予定か？ <n=7・SA>



◆ eラーニングの利用者(学習者)について

現在利用中の/今後利用予定の/興味がある …

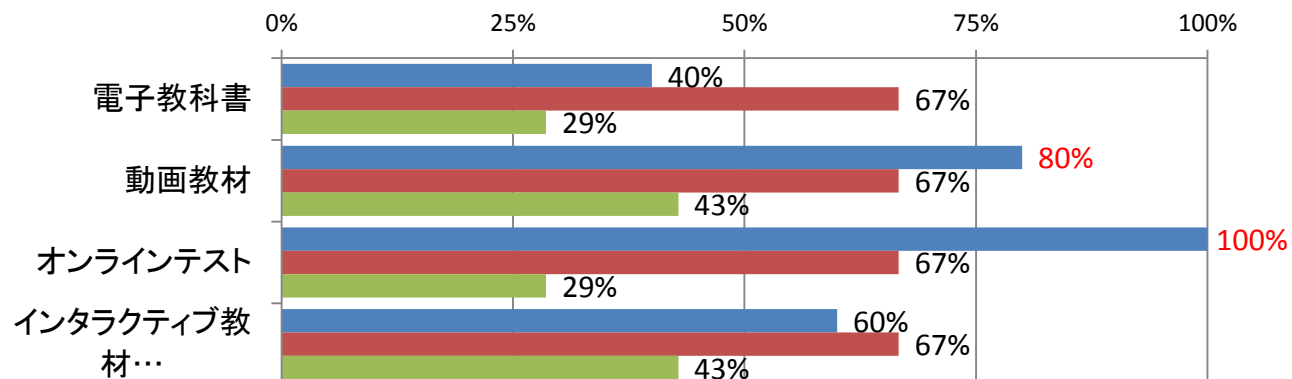
① eラーニングのシステム <現在:n=5/今後:n=5/興味:n=7・MA>



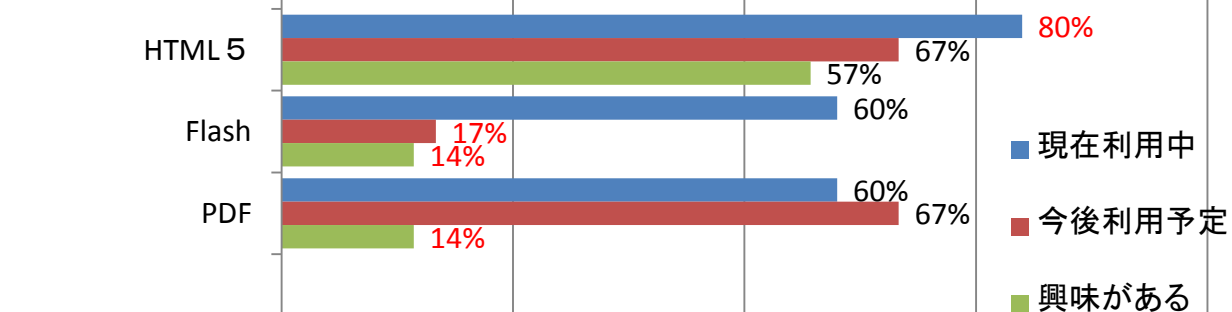
※ 現在利用中の回答者(5人)の中において、CMS(Contents Management System)を「わからない」とした人が3人、タレントマネジメントシステムを「わからない」とした人が2人、それぞれ存在した。

◆ eラーニングの利用者(学習者)について

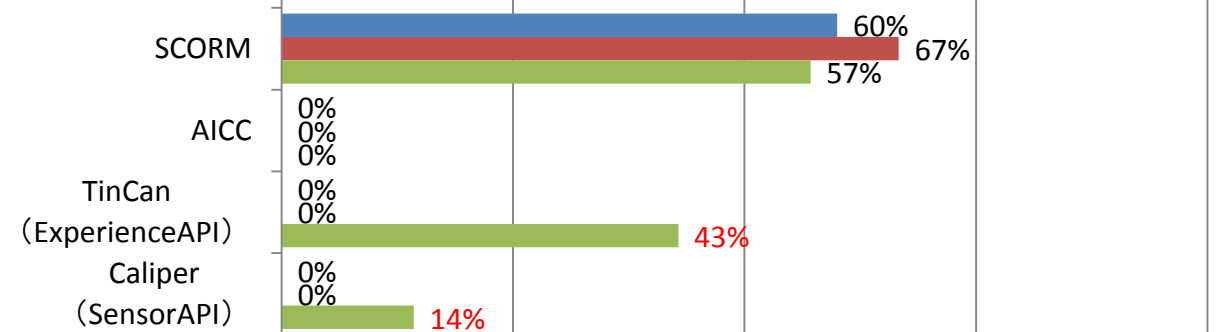
② コンテンツのタイプ 〈現在:n=5/今後:n=6/興味:n=7・MA〉



③ コンテンツの形式 〈現在:n=5/今後:n=6/興味:n=7・MA〉



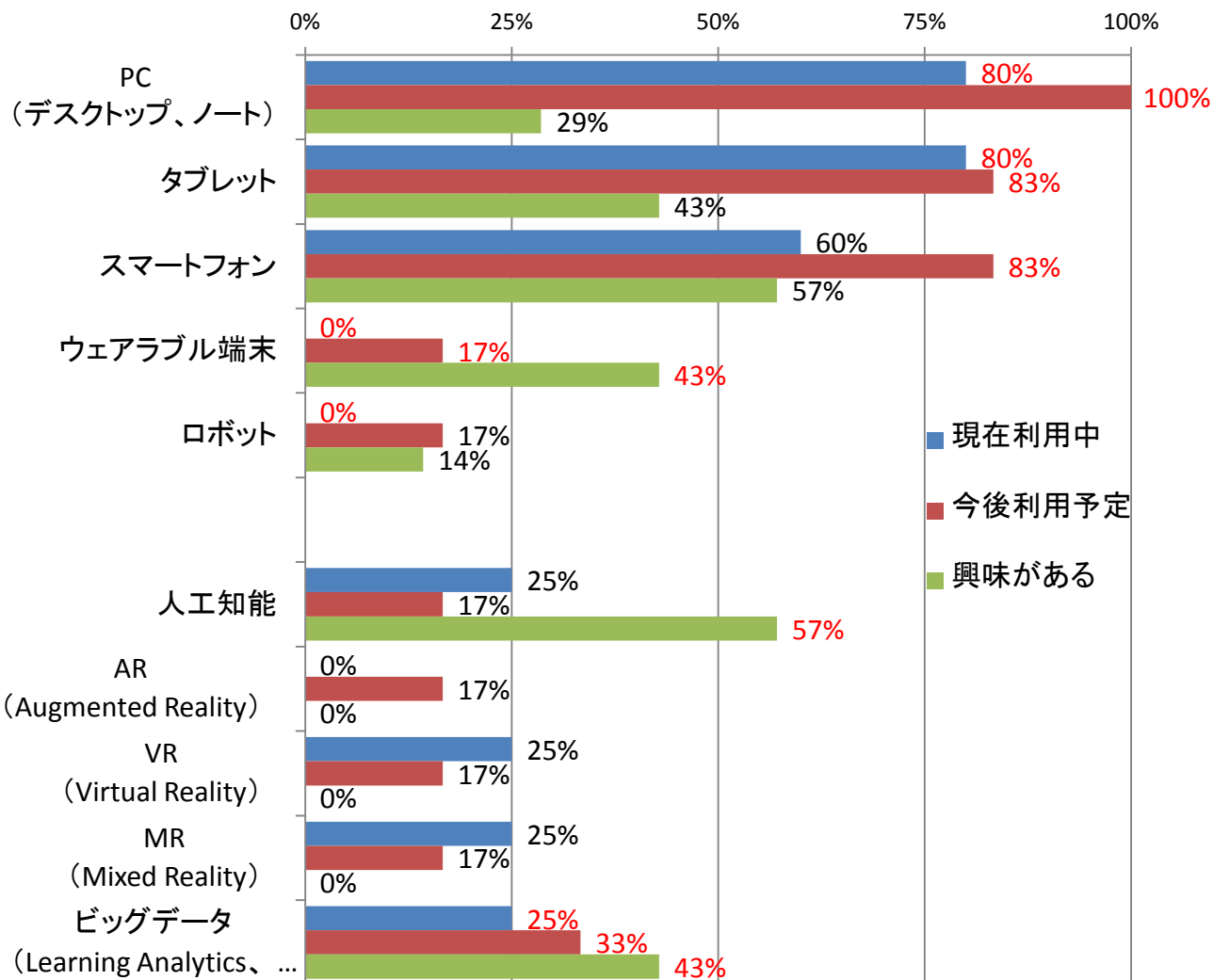
④ コンテンツの規格 〈現在:n=5/今後:n=6/興味:n=7・MA〉



◆ eラーニングの利用者(学習者)について

⑤ 利用デバイス

〈現在:n=5/今後:n=6/興味:n=7・MA〉



⑥ 周辺分野

〈現在:n=4/今後:n=6/興味:n=7・MA〉

◆ eラーニングに関する現在の課題・悩み・興味など

① 技術

【システム、ツール、ソフトウェアに関して】

- インタラクティブなコンテンツを制作するためのプラットフォーム非依存の技術として何を利用すべきか。またそのためのオープンな開発環境や便利なツールが存在しているのか。アダプティブテストの実施をサポートしてくれる仕組み、プラットフォーム、LMSが欲しい。
- 大学教育における対面授業の補助として利用できる、よいLMSがない。また、大学教育で提供する、よいオーサリングツールがない。
- デジタルコンテンツの不正利用防止技術 AIを活用した的確な学習履歴の分析とフィードバック
- LMSに、eポートフォリオやeルーブリックをアドインとして組み込むためのソフトウェアについて関心がある。
- Machine Learning / Learning Analytics

【コンテンツに関して】

- HTML5ではブラウザごとに互換性があるので、現時点ではJavaScriptで教材作成するのが良いのかなと考えている。
- ビッグデータ活用。

【通信に関して】

- モバイルアプリの実装について 動画配信の技術について。
- メールでの送信をしても、学生達はLINEを利用している。メールとLINEの連携ができるような仕組みが必要。

【環境、規格、ノウハウに関して】

- コロコロ変化する規格にどう対応するか。費用感
- 継続的なシステム運用に耐えるのかどうか。
- 教育のビッグデータ解析を行う上で、どういう規格でデータを取っておくべきか
- ブレンド研修やハイブリッド研修への対応

◆ eラーニングに関する現在の課題・悩み・興味など

【人材、知識に関して】

- LMS専任要員(理解している担当者)が少ないため、機能向上を図ることができない現状です。
- 周りに勉強している人がいないと、手が見つからないし相談相手もないしモチベーションが上がらない
- 活用技術の知識の習得が不明確のため、何をどうすれば製品やサービスに効率的に導入できるかわからない。
- 細かいところがよくわからない。個人認証との組み合わせ、コンテンツテスト結果の読み込みなど。

【その他】

- DRM
- 技術よりも、コンテンツ、全体構成が重要
- 委託するのでタイミングが心配。
- eラーニング以外の技術の流入

◆ eラーニングに関する現在の課題・悩み・興味など

② 教材

【開発の手間や費用に関して】

- ・ 現在、Powerpoint＋ナレーションという形で教材開発を行っているが、その作業負荷が多くて大変である。また、オーサリング作業が効率よくできる環境が整えられればよい。
- ・ 教材作成方法の簡便化、それに関わるコストの低減。
- ・ 最近ではSCORM規格対応が明記されていない教材も増えてきており、システムに依存するコンテンツが以前よりも多くなってきている気がする。今後、活用教材を如何に自社ならびに提案顧客に対してリコメンドしていけばよいか悩む。コンテンツ制作では以前はFlashが主流であり、Playerのおかげで多くの端末で同じ動作を保障できていたが、昨今では、HTML5に移行しつつあり、実行環境により動作が環境によって様々になってきた。そのため、動作確認に余計な時間を要するようになってきてしまった。
- ・ インストラクショナルデザインにそった教材開発が大変
- ・ コンテンツ作成のマンパワー確保が難しい。
- ・ 制作支援

【教育理論、教授法に関して】

- ・ 脳科学や神経科学など背景としての理論の構築
- ・ 一定の学力がある学生には、講義を収録したような形式の教材が良いが、学力が低い学生には教員がマンツーマンで指導し、わからないポイントを図や動画で説明している教材を利用しながら教えるのが良いと考えている。
- ・ 大学教育では、画一的なeラーニング教材は適さない。教科書に沿いつつ、教員の教育方針に応じて活用可能な教材があるとよい。
- ・ サプライズ、感動がある教材開発

【著作権、個人情報に関して】

- ・ 著作権の取り扱い 費用感
- ・ 著作権処理
- ・ デジタルで可用性が高いコンテンツの著作権処理
- ・ 今のところ、クラス外の人にはアクセスできないようにしているが、使っているテキストの著作権の問題や、学生の個人情報の問題などあり、公開していない。公開しているサイトではこのような問題はどのように解決しているのだろうか。

◆ eラーニングに関する現在の課題・悩み・興味など

【内容に関して】

- ・ 電子書籍とノートを一体化した高度な電子教材(付箋、メモ、しおり、関連リンク)
- ・ 電子教科書は、現状では、従来の紙の教科書の思考から抜け出せていない。新しい発想が必要。
- ・ 動画等を利用したのですが、機材(コンテンツ)がバージョンアップされないため、利用できない現状です。

【デバイス、環境に関して】

- ・ タブレットをどう考えるか。タブレットでしかできないものを準備出来るのか
- ・ モバイル環境における適切な教材設計について

【その他】

- ・ 海外の先進国ユーザーでも満足できるレベルの品質が高い教材を作ることができない。(日本のeラーニング教材は、満足できるもの、参考にできるものがほとんど無い。)
- ・ 任意の教育関連会社(個人)が、ネット上で自由に無料で使える教材があれば教えてほしい。
- ・ 将来的に陳腐にならない教材形式(規格)
- ・ MPEGDash
- ・ シンプル化...技術が向上し、何でもできる=何もできない化しているのではという懸念に基づく
- ・ 動画を見続けることが苦痛
- ・ eラーニングメソッド視点からの教材開発に興味がある企業・機関を探している。
- ・ つめこみが多くなってしまう

◆ eラーニングに関する現在の課題・悩み・興味など

③ 企画・運用

【人材、体制に関して】

- 教職員のICTリテラシーが不十分。LMSの展開などに大きく影響。全学的な普及には中期的(数年がかり)な感覚で望む必要がある。
- 職場でのeLearningに関する無理解や誤解の解消。運用のための継続的な費用確保。人員の確保。
- LMSの利用促進のための体制づくりが課題。
- 前記と同様に、管理責任者に従事している方がいないため、バージョンUPできない現状です。
- 教員の理解

【運用、管理に関して】

- 受講管理(進捗、修了、履歴)
- 安定した運用体制 無償に近いオンラインコンテンツでの収益性
- ユーザーからの問い合わせ窓口に対してどのようにトラブルシューティングの知識を移植するか、ユーザーにストレスをかけない運用方法がないか。
- 実務的視点の必要性

【その他】

- 標準規格をサポートしない教材ビューアが存在
- SCORMをはじめとして、オンプレとクラウドのハイブリッドを頼まれたときの対応
- 簡単、シンプル、ユーザビリティがポイント
- 大学教育におけるeラーニングの活用について、専門的なコンサルティングを受けられる中立的な組織や機関がない。
- 前記と同様に学習効果測定を提案していく上でコンテンツの内容はもとより、仕様が不明確だと既存コンテンツの活用ではなく、いちから開発が必要になる恐れがある。これをある程度解消するのにTinCan規格に期待しているが、立ち上がりが遅く、普及するのに時間がかかりそう。
- eラーニングメソッドを取り入れた学習・研修企画に興味のある企業・機関を探している。
- サービスの乗り換えの可用性について
- 個人では想いはあるけれど、所属している会社組織そのものにはその気がないので時間だけが過ぎていく
- 回答結果とそれに即したコンテンツ提案 ライセンス運用
- コース設計

◆ eラーニングに関する現在の課題・悩み・興味など

④ 効果や効果測定

【「効果はある」】

- LMSしか現在導入されていませんが、導入されての効果はあると考えています。新しい機能が使えないため、使えるようになると、さらに効果はあがると思われます。

【問題提起】

- ICT活用教育をした場合、直ぐの効果を求められるが、そう簡単なものではない。
- 正直、オンラインテストの成績だけで、どこまで効果が見られるのか。
- 学生の習熟度を測るのが難しい

【測定手法に関して】

- 運用者側の立場に沿った集計、分析結果の実現をするためには、どこまでの情報を取得できるかが重要な要素であるが、記録できる情報が規格ですべてカバーされていないため、統一的な管理ができない。
- 何をもちて成果・効果とするのか、定義が難しいなと思う。
- 納得性の高い、評価の仕組み
- 現状のLMSにおける学習履歴データは、通り一遍の形式でしか取得できない。もう少しこちらのニーズに合った形でカスタマイズした学習データがほしい。
- 短期的に学習効果を定量的に測定する手法
- テスト以外の効果測定ができるかどうか。
- 数値による効果測定の方法を学びたい。
- 効果測定方法
- 簡便で説得力のある効果測定方法の開発がのぞまれる。
- 学修効果測定のスタンダードな手法はあるのか。

◆ eラーニングに関する現在の課題・悩み・興味など

【その他】

- 事前、事後学習フォロー、受講者現場とのコミュニケーション
- まだ実感できる内容のものが少ないので、なんとも言えません
- 当社が開発したeラーニングメソッドの効果測定に協力してくれる企業や機関を探している。
- 準実験に対して理解を示さない人々の存在

◆ eラーニングに関する現在の課題・悩み・興味など

⑤ その他の課題・悩み・興味など

【課題、危惧】

- ・ eポートフォリオの利用促進が課題。
- ・ 今後、様々なICT技術が教育の現場に投入されるが、(ハード・ソフトの)規格の違いによる運用管理が大変になることを危惧する。

【ユーザー側に関して】

- ・ 未だ、多くの教員がeラーニングに対する幻想と誤解を持ったままであり、効果的な活用を試みたくない教員が多い。
- ・ 受講者の通信環境。大学生は動画を通信制限を恐れ、動画を見ないと聞く 提供側ばかりの都合だけでは市場が広がらない。

【その他】

- ・ PCの前でじっとしていることが苦痛。いかに手を動かすかが、iPhoneアプリで勉強していて感じました。
- ・ 多様な学習環境の一部として柔軟に使えるクラウドのeラーニング
- ・ やはり、サーバー管理専任者が必要であり、いらっしやると学内での利用が増大すると思われます。
- ・ 教育志向のエンジェル(投資者)が居れば教えてほしい。
- ・ 当社が開発したeラーニングメソッドを採用してくれる企業や機関が見付からない。
- ・ eラーニングと敢えて言う必要がないレベルに早く広まって欲しい。

13-生活者のeラーニング利用状況実態調査

webアンケート

<第2回>

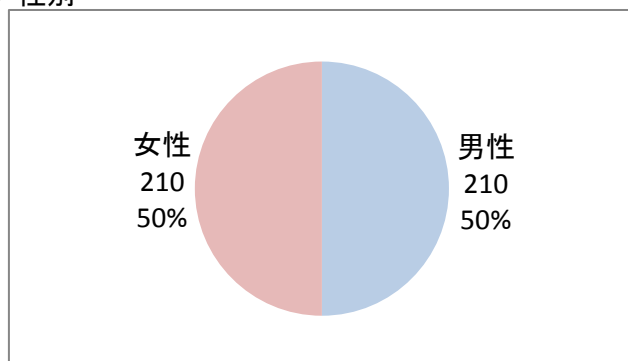
【調査の概要・回答者属性】

A. 概要

- ① 対象 … 一般生活者 (web調査会社の登録モニターを利用)
※第1回webアンケート(2015年5月実施)において回答した人以外を対象とした)
- ② 性別 … 男女
- ③ 年齢 … 15歳以上
- ④ 地域 … 全国
- ⑤ 条件 … eラーニング(スマートフォンやタブレット、パソコンなどの情報機器を活用した学習)を
現在利用している人、過去5年以内に利用していた人(現在は利用していない)
- ⑥ サンプル数 … 420 s.s.
(スクリーニングのためのプレ調査: 4,890 s.s.)
- ⑦ 実査時期 … 2016年3月4日(金)～6日(日)

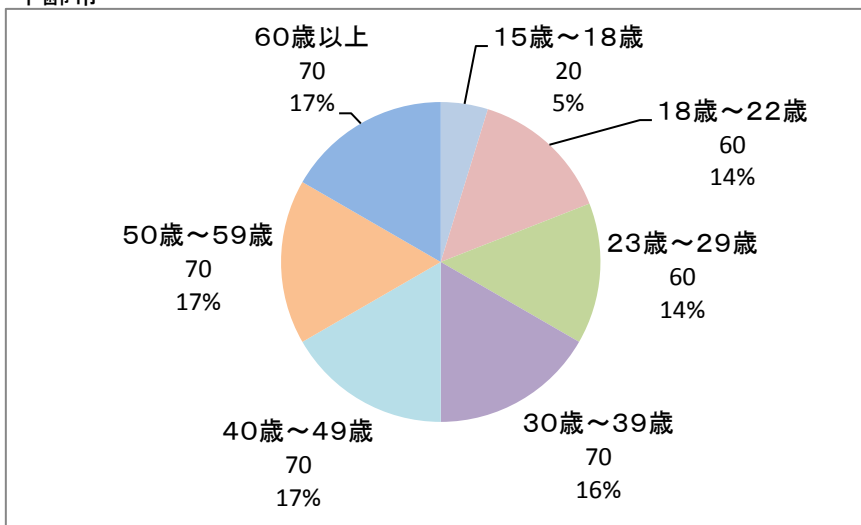
B. 回答者の属性

1) 性別



	#	%
男性	210	50.0%
女性	210	50.0%
計	420	100.0%

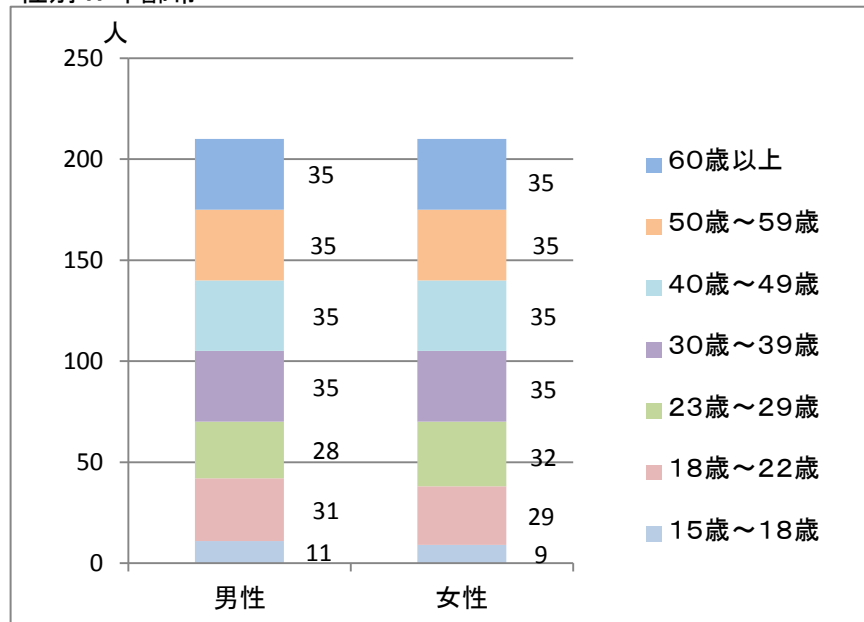
2) 年齢帯



	#	%
15歳～18歳	20	4.8%
18歳～22歳	60	14.3%
23歳～29歳	60	14.3%
30歳～39歳	70	16.7%
40歳～49歳	70	16.7%
50歳～59歳	70	16.7%
60歳以上	70	16.7%
計	420	100.0%

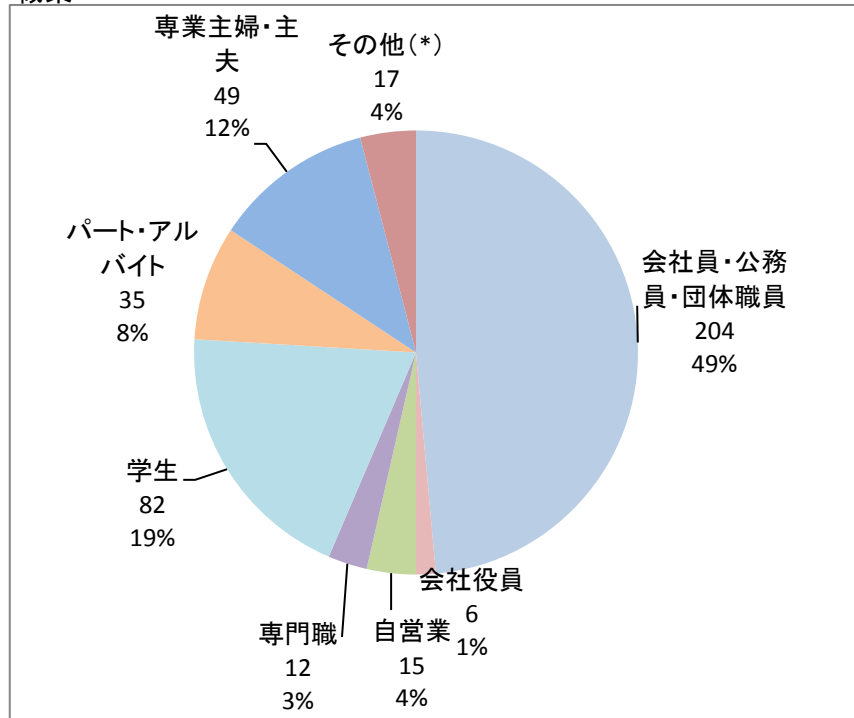
最低年齢: 15歳
 最高年齢: 85歳
 平均年齢: 40.5歳

2) -a. 性別 x 年齢帯



	男性	女性	計	
#	15歳～18歳	11	9	20
	18歳～22歳	31	29	60
	23歳～29歳	28	32	60
	30歳～39歳	35	35	70
	40歳～49歳	35	35	70
	50歳～59歳	35	35	70
	60歳以上	35	35	70
計	210	210	420	
%	15歳～18歳	5.2%	4.3%	4.8%
	18歳～22歳	14.8%	13.8%	14.3%
	23歳～29歳	13.3%	15.2%	14.3%
	30歳～39歳	16.7%	16.7%	16.7%
	40歳～49歳	16.7%	16.7%	16.7%
	50歳～59歳	16.7%	16.7%	16.7%
	60歳以上	16.7%	16.7%	16.7%
計	100.0%	100.0%	100.0%	

3) 職業



	#	%
会社員・公務員・団体職	204	48.6%
会社役員	6	1.4%
自営業	15	3.6%
専門職	12	2.9%
学生	82	19.5%
パート・アルバイト	35	8.3%
専業主婦・主夫	49	11.7%
その他(*)	17	4.0%
計	420	100.0%

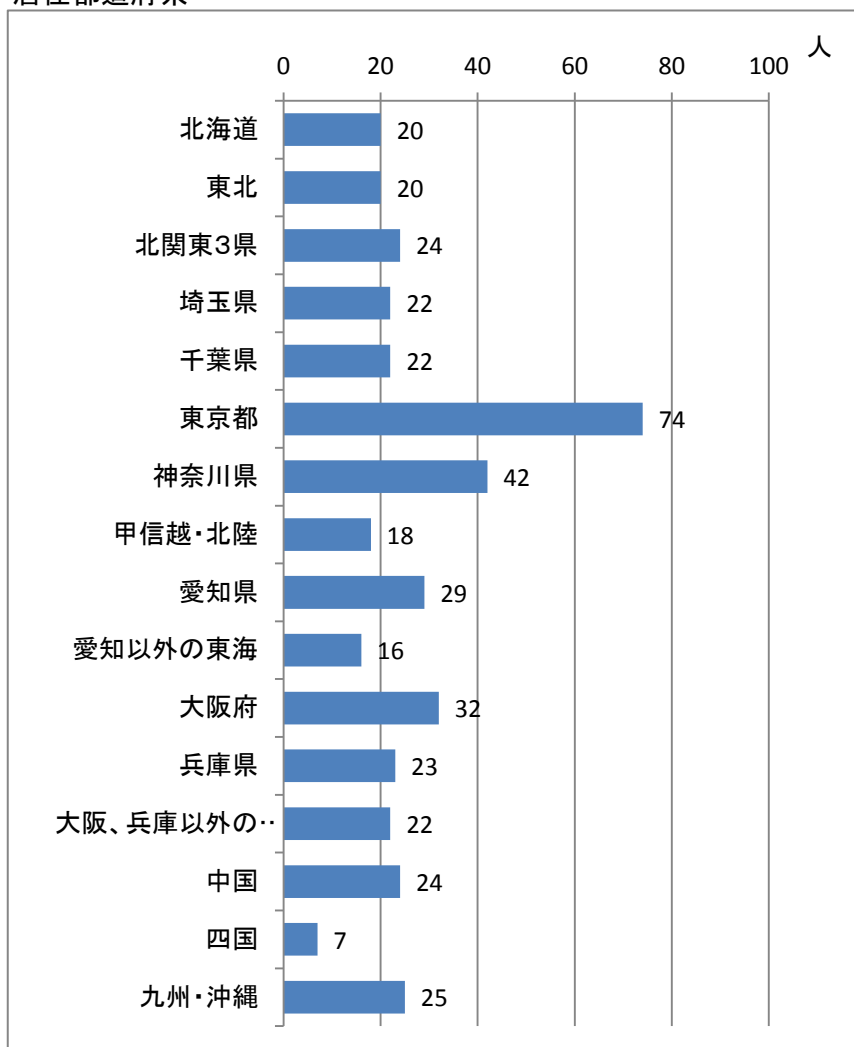
*「その他」の回答

- ・無職・休職中(9人)
- ・定年退職者・年金受給者(3人)
- ・契約社員
- ・不動産賃貸業
- ・フリーランス
- ・ボランティア活動
- ・予備校生

4) 勤め先の業界

	#	%
情報・通信(eラーニング関連事業を除く)	25	6.0%
金融・保険	25	6.0%
自動車・輸送機器	18	4.3%
医療サービス・宗教	18	4.3%
エネルギー・素材・産業機械	14	3.3%
家電・AV機器	13	3.1%
流通・小売業	13	3.1%
不動産・住宅設備	12	2.9%
官公庁・団体	11	2.6%
教育(教職員、教育機関関係者、その他)	11	2.6%
外食・各種サービス	9	2.1%
交通・レジャー	8	1.9%
食品	7	1.7%
飲料・嗜好品	4	1.0%
ファッション・アクセサリ	4	1.0%
化粧品・トイレタリー・サニタリー	3	0.7%
精密機械・事務用品	2	0.5%
新聞・雑誌・テレビ・ラジオ・広告等マスコミ関係	2	0.5%
薬品・医療用品	1	0.2%
家庭用品	1	0.2%
趣味・スポーツ用品	1	0.2%
教育(eラーニングのシステム・ソフト開発)	0	0.0%
教育(eラーニングのコンテンツ開発)	0	0.0%
市場調査	0	0.0%
あてはまるものはない	218	51.9%
計	420	100.0%

5) 居住都道府県



	#	%
北海道	20	4.8%
東北	20	4.8%
北関東3県	24	5.7%
埼玉県	22	5.2%
千葉県	22	5.2%
東京都	74	17.6%
神奈川県	42	10.0%
甲信越・北陸	18	4.3%
愛知県	29	6.9%
愛知以外の東海	16	3.8%
大阪府	32	7.6%
兵庫県	23	5.5%
大阪、兵庫以外の近畿	22	5.2%
中国	24	5.7%
四国	7	1.7%
九州・沖縄	25	6.0%
計	420	100.0%

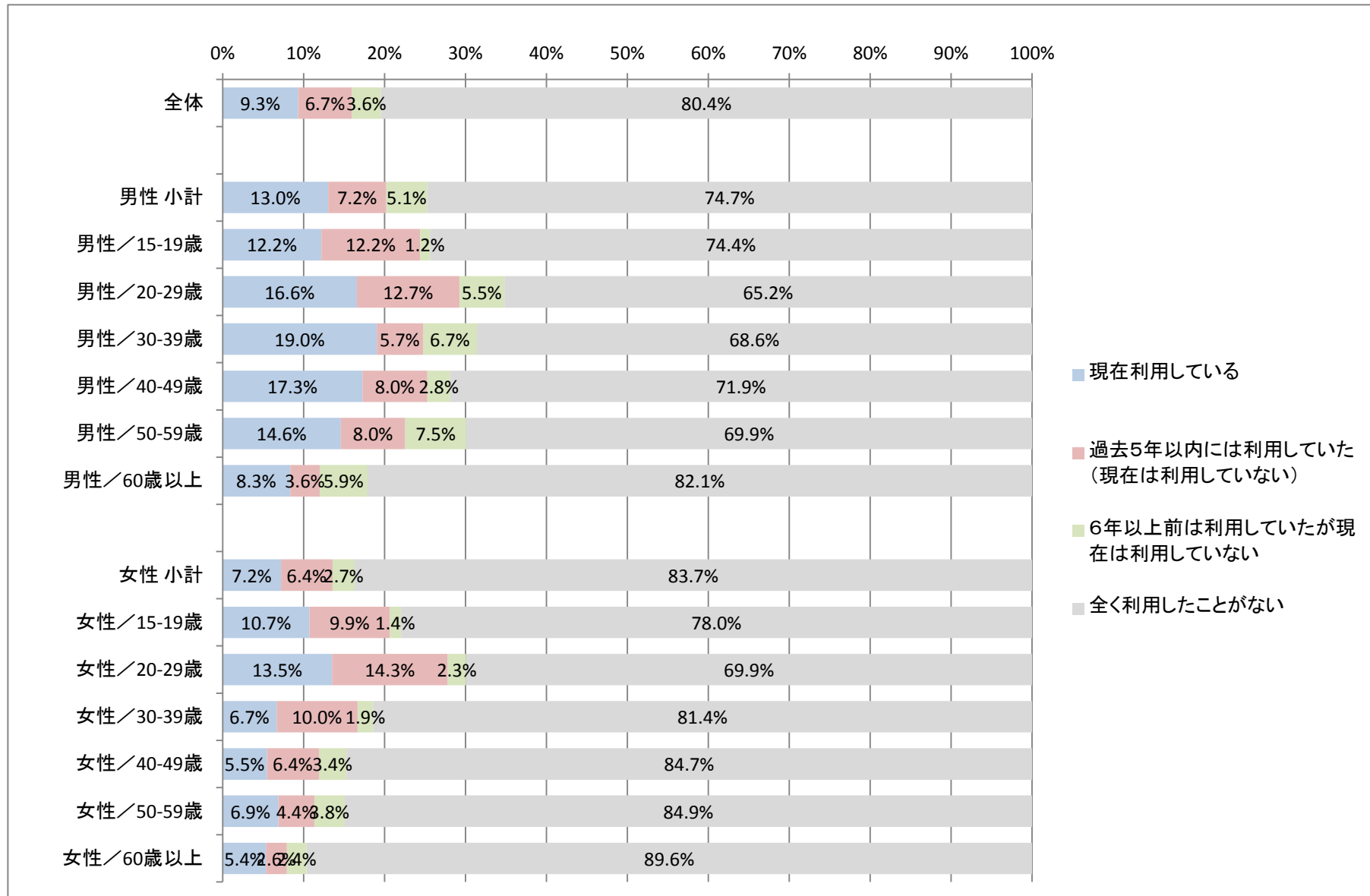
	#	%
北海道	20	4.8%
青森県	3	0.7%
岩手県	3	0.7%
宮城県	7	1.7%
秋田県	0	0.0%
山形県	3	0.7%
福島県	4	1.0%
茨城県	11	2.6%
栃木県	7	1.7%
群馬県	6	1.4%
埼玉県	22	5.2%
千葉県	22	5.2%
東京都	74	17.6%
神奈川県	42	10.0%
新潟県	5	1.2%
富山県	2	0.5%
石川県	0	0.0%
福井県	5	1.2%
山梨県	0	0.0%
長野県	6	1.4%
岐阜県	4	1.0%
静岡県	9	2.1%
愛知県	29	6.9%
三重県	3	0.7%
滋賀県	4	1.0%
京都府	11	2.6%
大阪府	32	7.6%
兵庫県	23	5.5%
奈良県	6	1.4%
和歌山県	1	0.2%
鳥取県	2	0.5%
島根県	2	0.5%
岡山県	6	1.4%
広島県	11	2.6%
山口県	3	0.7%
徳島県	1	0.2%
香川県	3	0.7%
愛媛県	2	0.5%
高知県	1	0.2%
福岡県	10	2.4%
佐賀県	2	0.5%
長崎県	5	1.2%
熊本県	2	0.5%
大分県	2	0.5%
宮崎県	0	0.0%
鹿児島県	2	0.5%
沖縄県	2	0.5%
計	420	100.0%

【調査の結果】

A. スクリーニングのためのプレ調査

【 eラーニングの利用状況 】

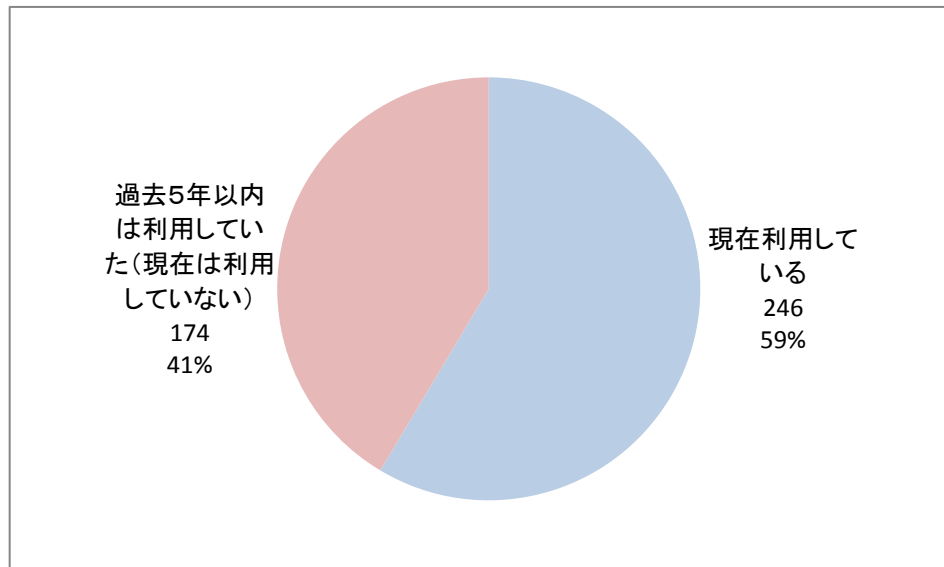
n=4,890



		現在利用している	過去5年以内には 利用していた(現在は 利用していない)	6年以上前は利用し ていたが現在は利 用していない	全く利用したことが ない	計
#	全体	456	326	175	3,933	4,890
	男性 小計	231	127	90	1,323	1,771
	男性／15-19歳	30	30	3	183	246
	男性／20-29歳	30	23	10	118	181
	男性／30-39歳	40	12	14	144	210
	男性／40-49歳	43	20	7	179	249
	男性／50-59歳	33	18	17	158	226
	男性／60歳以上	55	24	39	541	659
	女性 小計	225	199	85	2,610	3,119
	女性／15-19歳	39	36	5	283	363
	女性／20-29歳	36	38	6	186	266
	女性／30-39歳	24	36	7	293	360
	女性／40-49歳	29	34	18	449	530
	女性／50-59歳	51	33	28	630	742
	女性／60歳以上	46	22	21	769	858
	%	全体	9.3%	6.7%	3.6%	80.4%
男性 小計		13.0%	7.2%	5.1%	74.7%	100.0%
男性／15-19歳		12.2%	12.2%	1.2%	74.4%	100.0%
男性／20-29歳		16.6%	12.7%	5.5%	65.2%	100.0%
男性／30-39歳		19.0%	5.7%	6.7%	68.6%	100.0%
男性／40-49歳		17.3%	8.0%	2.8%	71.9%	100.0%
男性／50-59歳		14.6%	8.0%	7.5%	69.9%	100.0%
男性／60歳以上		8.3%	3.6%	5.9%	82.1%	100.0%
女性 小計		7.2%	6.4%	2.7%	83.7%	100.0%
女性／15-19歳		10.7%	9.9%	1.4%	78.0%	100.0%
女性／20-29歳		13.5%	14.3%	2.3%	69.9%	100.0%
女性／30-39歳		6.7%	10.0%	1.9%	81.4%	100.0%
女性／40-49歳		5.5%	6.4%	3.4%	84.7%	100.0%
女性／50-59歳		6.9%	4.4%	3.8%	84.9%	100.0%
女性／60歳以上		5.4%	2.6%	2.4%	89.6%	100.0%

B. 「eラーニング」の利用状況〈択一回答〉

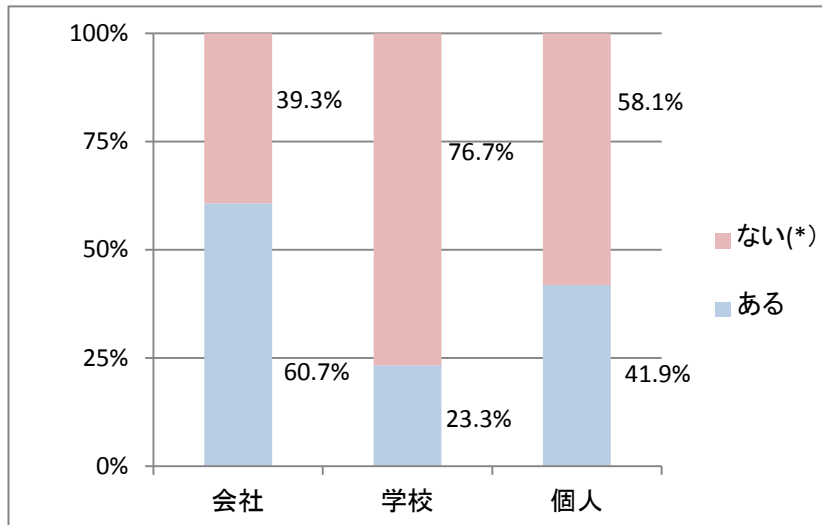
※ 調査における「eラーニング」の定義:『スマートフォンやタブレット、パソコンなどの情報機器を活用した学習』



	#	%
現在利用している	246	58.6%
過去5年以内は利用していた(現在は利用していない)	174	41.4%
計(n)	420	100.0%

C. 「eラーニング」の利用経験

C-① 会社/学校/個人における「eラーニング」の利用経験 <択一回答>



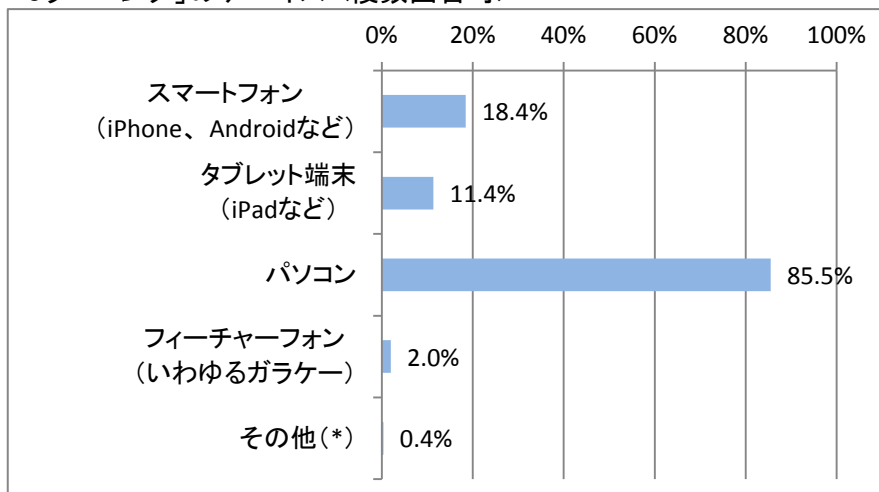
* “会社”の『いいえ』の中には、学生および、勤務経験がない人などを含む

	#			%		
	会社	学校	個人	会社	学校	個人
ある	255	98	176	60.7%	23.3%	41.9%
ない(*)	165	322	244	39.3%	76.7%	58.1%
計(n)	420	420	420	100.0%	100.0%	100.0%

<“C-①”で、『会社』でeラーニングの利用経験があると回答した人について(n=255人)>

D. 会社の研修で利用した/利用している「eラーニング」

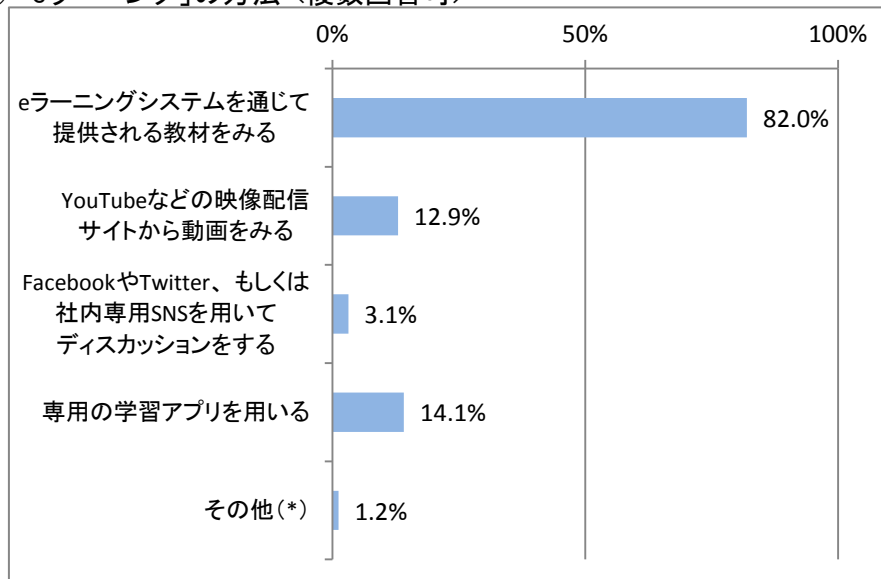
D-① 「eラーニング」のデバイス <複数回答可>



n= 255

	#	%
スマートフォン (iPhone、Androidなど)	47	18.4%
タブレット端末 (iPadなど)	29	11.4%
パソコン	218	85.5%
フィーチャーフォン (いわゆるガラケー)	5	2.0%
その他(*)	1	0.4%

D-② 「eラーニング」の方法 <複数回答可>



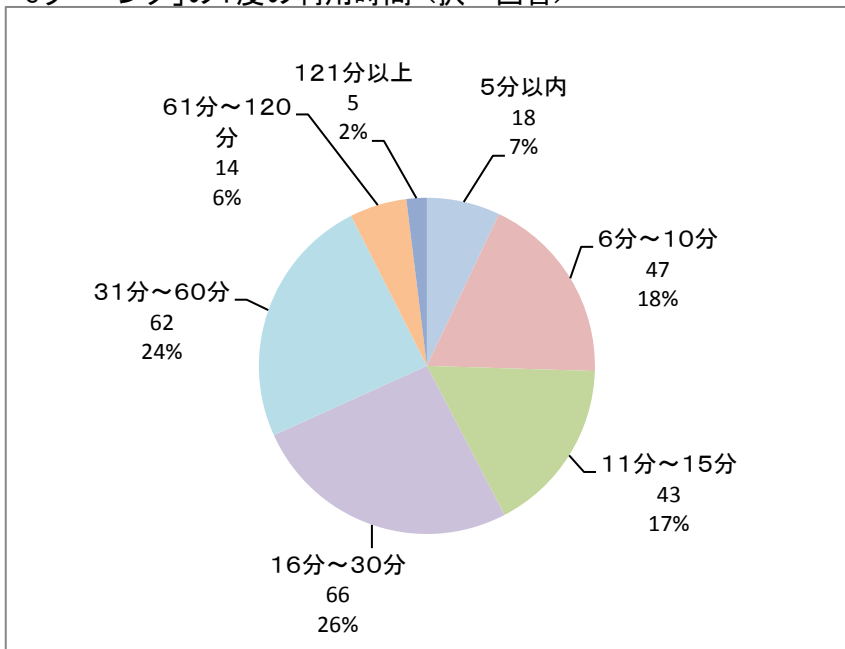
n= 255

	#	%
eラーニングシステムを通じて提供される教材をみる	209	82.0%
YouTubeなどの映像配信サイトから動画をみる	33	12.9%
FacebookやTwitter、もしくは社内専用SNSを用いてディスカッションをする	8	3.1%
専用の学習アプリを用いる	36	14.1%
その他(*)	3	1.2%

*「その他」の回答

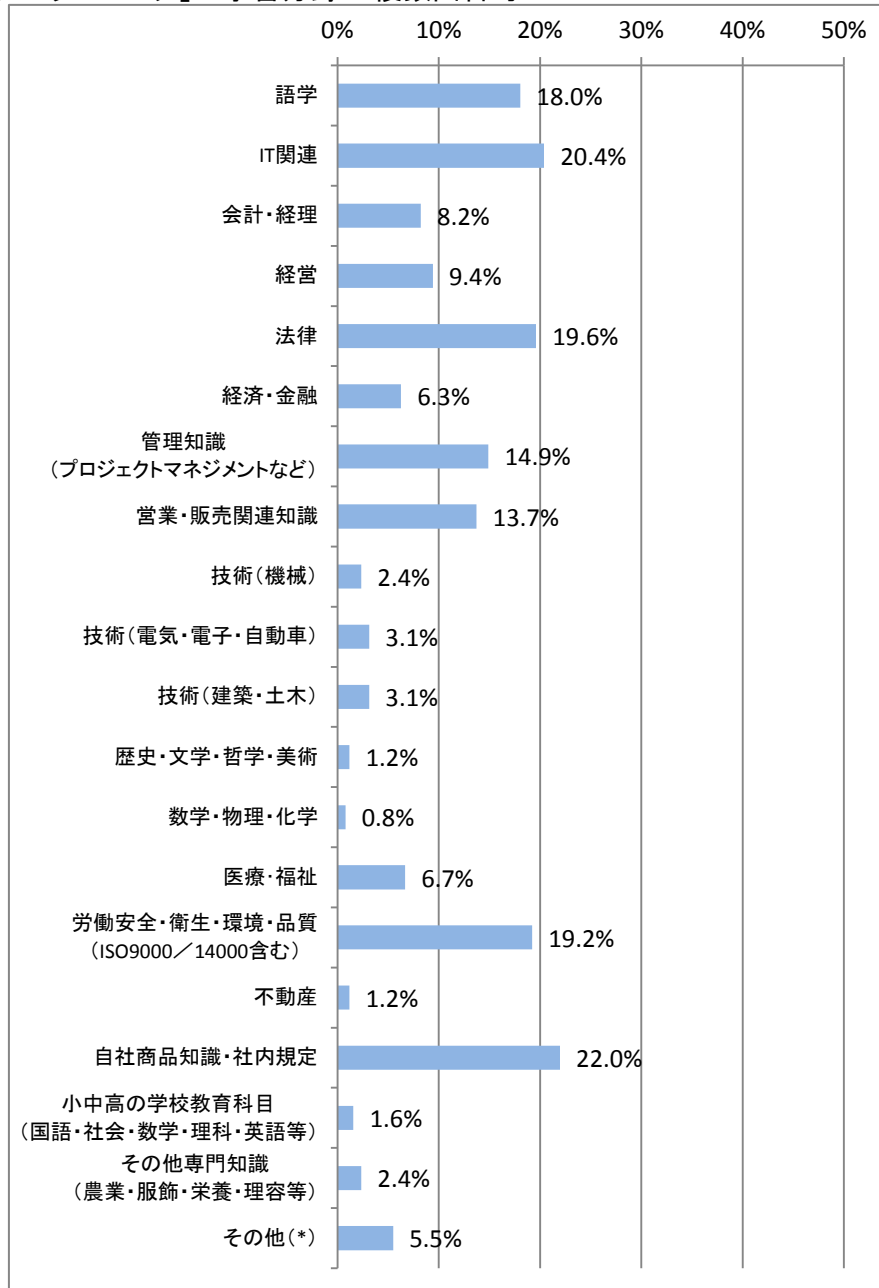
- ・機器メーカーのホームページより
- ・eラーニングのサイトで問題を解く

D-③ 「eラーニング」の1度の利用時間〈択一回答〉



	#	%
5分以内	18	7.1%
6分~10分	47	18.4%
11分~15分	43	16.9%
16分~30分	66	25.9%
31分~60分	62	24.3%
61分~120分	14	5.5%
121分以上	5	2.0%
計(n)	255	100.0%

D-④ 「eラーニング」の学習分野 <複数回答可>



n= 255

	#	%
語学	46	18.0%
IT関連	52	20.4%
会計・経理	21	8.2%
経営	24	9.4%
法律	50	19.6%
経済・金融	16	6.3%
管理知識 (プロジェクトマネジメントなど)	38	14.9%
営業・販売関連知識	35	13.7%
技術(機械)	6	2.4%
技術(電気・電子・自動車)	8	3.1%
技術(建築・土木)	8	3.1%
歴史・文学・哲学・美術	3	1.2%
数学・物理・化学	2	0.8%
医療・福祉	17	6.7%
労働安全・衛生・環境・品質 (ISO9000/14000含む)	49	19.2%
不動産	3	1.2%
自社商品知識・社内規定	56	22.0%
小中高の学校教育科目 (国語・社会・数学・理科・英語等)	4	1.6%
その他専門知識 (農業・服飾・栄養・理容等)	6	2.4%
その他(*)	14	5.5%

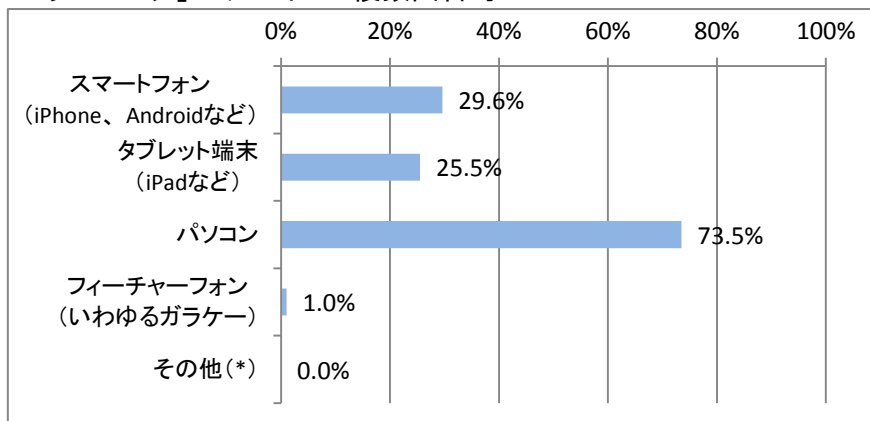
*「その他」の回答

- ・コンプライアンス(6人)
- ・セキュリティ(5人)
- ・セクハラ、パワハラ
- ・サービス
- ・技術者倫理、エコマインド、個人情報保護法
- ・保険研修
- ・放送大学の講義

<“C-①”で、『学校』でeラーニングの利用経験があると回答した人について(n=98人)>

E. 高校や大学、専門学校などで行なった/行っている「eラーニング」

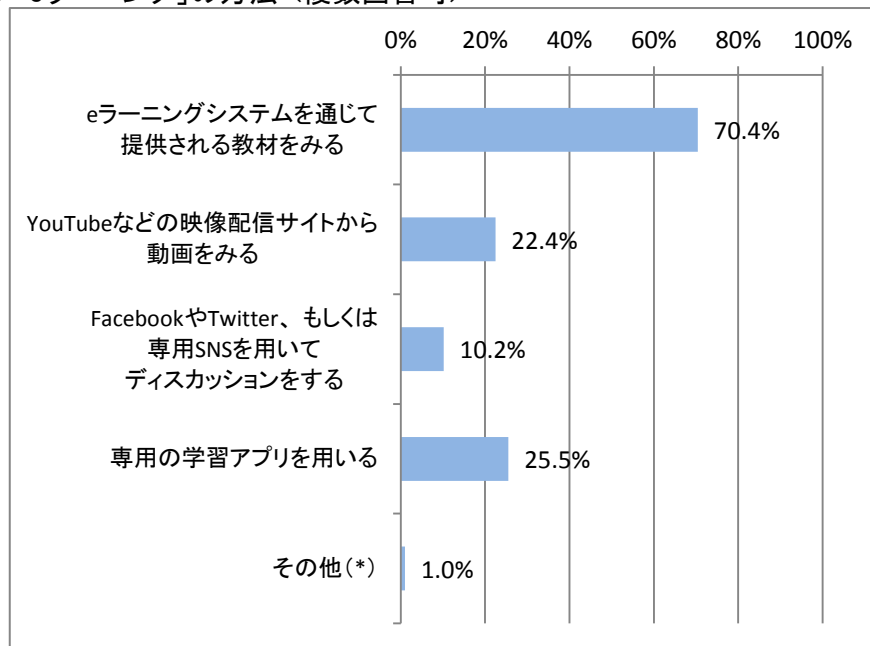
E-① 「eラーニング」のデバイス <複数回答可>



n= 98

	#	%
スマートフォン (iPhone、Androidなど)	29	29.6%
タブレット端末 (iPadなど)	25	25.5%
パソコン	72	73.5%
フィーチャーフォン (いわゆるガラケー)	1	1.0%
その他(*)	0	0.0%

E-② 「eラーニング」の方法 <複数回答可>

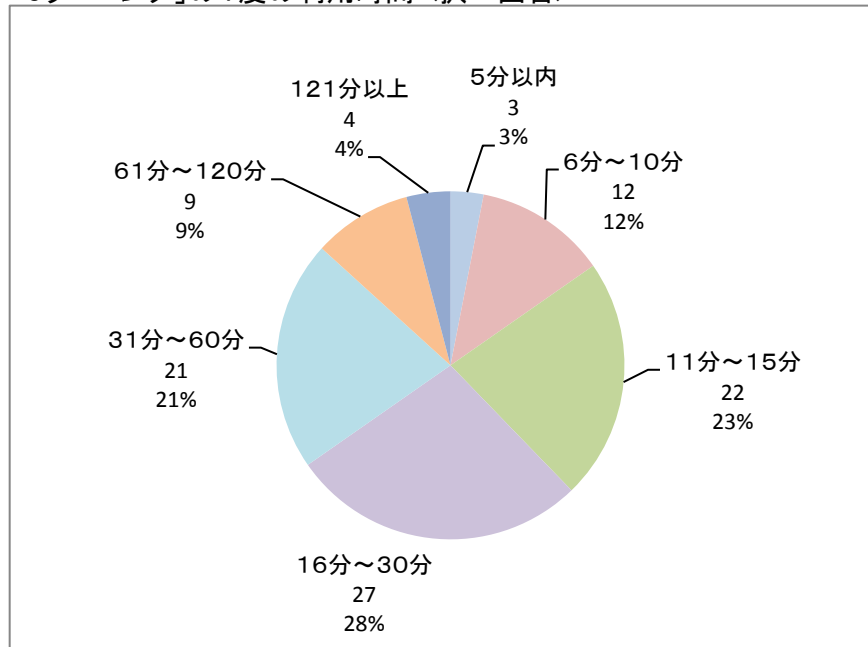


n= 98

	#	%
eラーニングシステムを通じて提供される教材をみる	69	70.4%
YouTubeなどの映像配信サイトから動画をみる	22	22.4%
FacebookやTwitter、もしくは専用SNSを用いてディスカッションをする	10	10.2%
専用の学習アプリを用いる	25	25.5%
その他(*)	1	1.0%

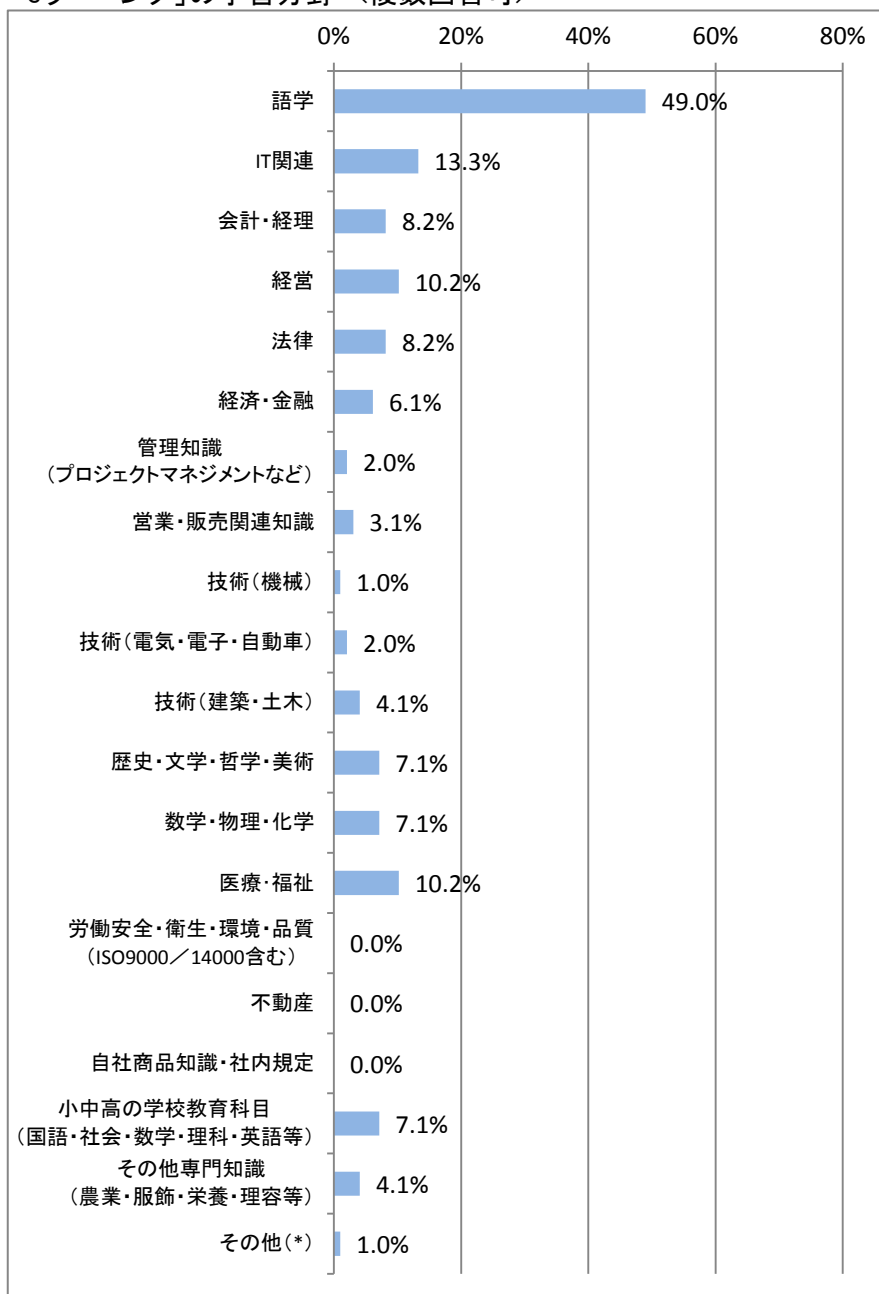
*「その他」の回答
・eラーニングのサイトで問題を解く

E-③ 「eラーニング」の1度の利用時間〈択一回答〉



	#	%
5分以内	3	3.1%
6分～10分	12	12.2%
11分～15分	22	22.4%
16分～30分	27	27.6%
31分～60分	21	21.4%
61分～120分	9	9.2%
121分以上	4	4.1%
計(n)	98	100.0%

E-④ 「eラーニング」の学習分野 <複数回答可>



n= 98

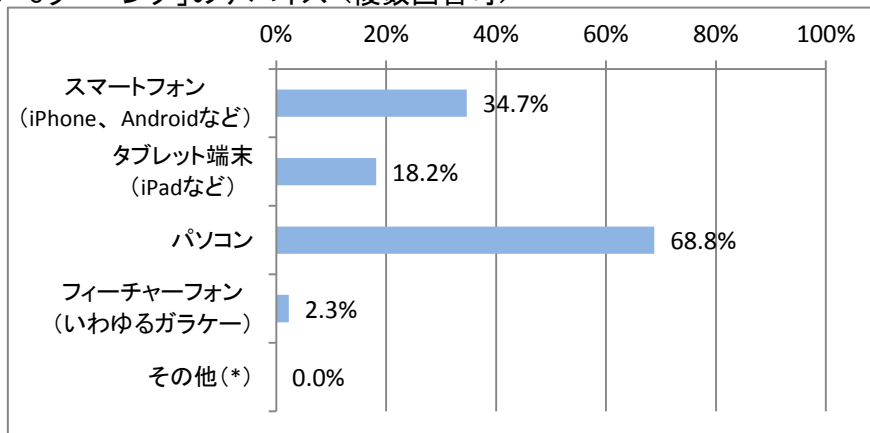
	#	%
語学	48	49.0%
IT関連	13	13.3%
会計・経理	8	8.2%
経営	10	10.2%
法律	8	8.2%
経済・金融	6	6.1%
管理知識 (プロジェクトマネジメントなど)	2	2.0%
営業・販売関連知識	3	3.1%
技術(機械)	1	1.0%
技術(電気・電子・自動車)	2	2.0%
技術(建築・土木)	4	4.1%
歴史・文学・哲学・美術	7	7.1%
数学・物理・化学	7	7.1%
医療・福祉	10	10.2%
労働安全・衛生・環境・品質 (ISO9000/14000含む)	0	0.0%
不動産	0	0.0%
自社商品知識・社内規定	0	0.0%
小中高の学校教育科目 (国語・社会・数学・理科・英語等)	7	7.1%
その他専門知識 (農業・服飾・栄養・理容等)	4	4.1%
その他(*)	1	1.0%

*「その他」の回答
・学部の専門科目の基礎的な知識の学習

<“C-①”で、『個人』でeラーニングの利用経験があると回答した人について(n=176人)>

F. 個人的に行なった/行っている「eラーニング」

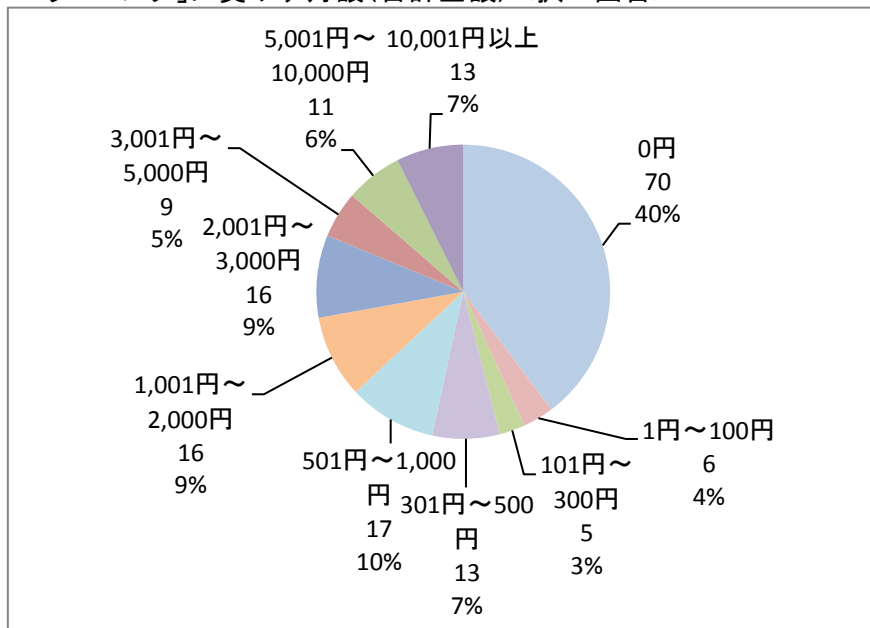
F-① 「eラーニング」のデバイス<複数回答可>



n = 176

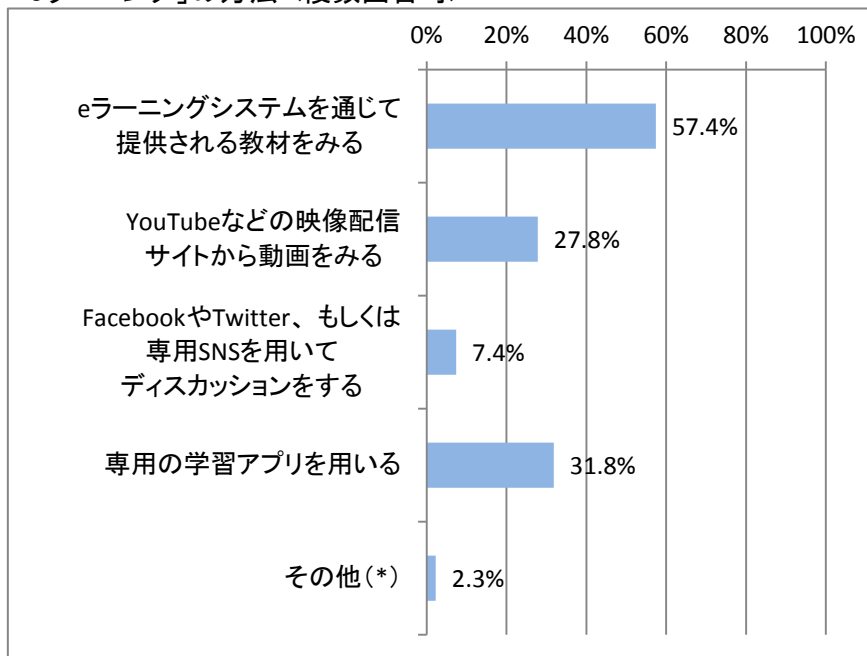
	#	%
スマートフォン (iPhone、Androidなど)	61	34.7%
タブレット端末 (iPadなど)	32	18.2%
パソコン	121	68.8%
フィーチャーフォン (いわゆるガラケー)	4	2.3%
その他(*)	0	0.0%

F-② 「eラーニング」に費やす月額(合計金額)<択一回答>



	#	%
0円	70	39.8%
1円~100円	6	3.4%
101円~300円	5	2.8%
301円~500円	13	7.4%
501円~1,000円	17	9.7%
1,001円~2,000円	16	9.1%
2,001円~3,000円	16	9.1%
3,001円~5,000円	9	5.1%
5,001円~10,000円	11	6.3%
10,001円以上	13	7.4%
計(n)	176	100.0%

F-③ 「eラーニング」の方法〈複数回答可〉

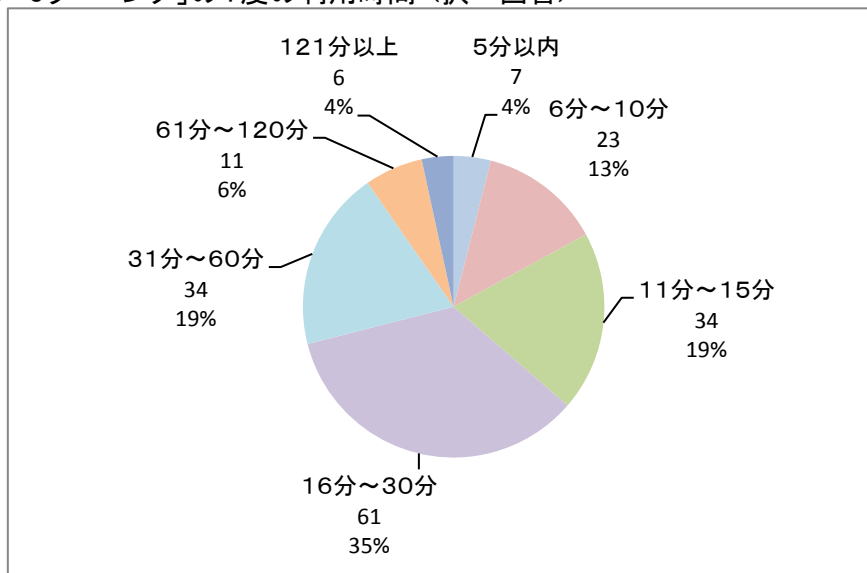


n= 176

	#	%
eラーニングシステムを通じて提供される教材をみる	101	57.4%
YouTubeなどの映像配信サイトから動画をみる	49	27.8%
FacebookやTwitter、もしくは専用SNSを用いてディスカッションをする	13	7.4%
専用の学習アプリを用いる	56	31.8%
その他(*)	4	2.3%

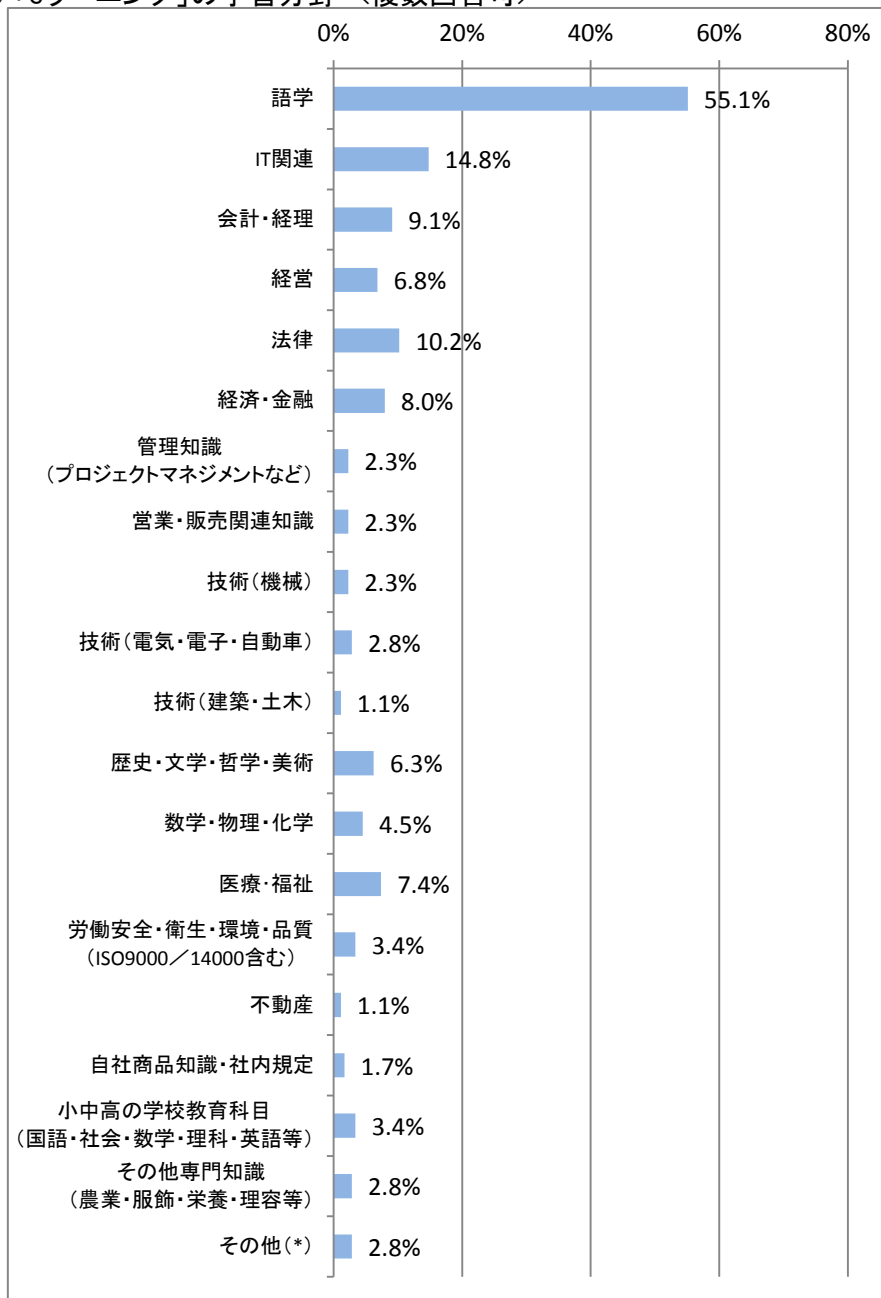
- *「その他」の回答
- ・学習ウェブサイト
 - ・TAC
 - ・家族が保有している物を借りた程度
 - ・分からない

F-④ 「eラーニング」の1度の利用時間〈択一回答〉



	#	%
5分以内	7	4.0%
6分~10分	23	13.1%
11分~15分	34	19.3%
16分~30分	61	34.7%
31分~60分	34	19.3%
61分~120分	11	6.3%
121分以上	6	3.4%
計(n)	176	100.0%

F-⑤ 「eラーニング」の学習分野 <複数回答可>



n= 176

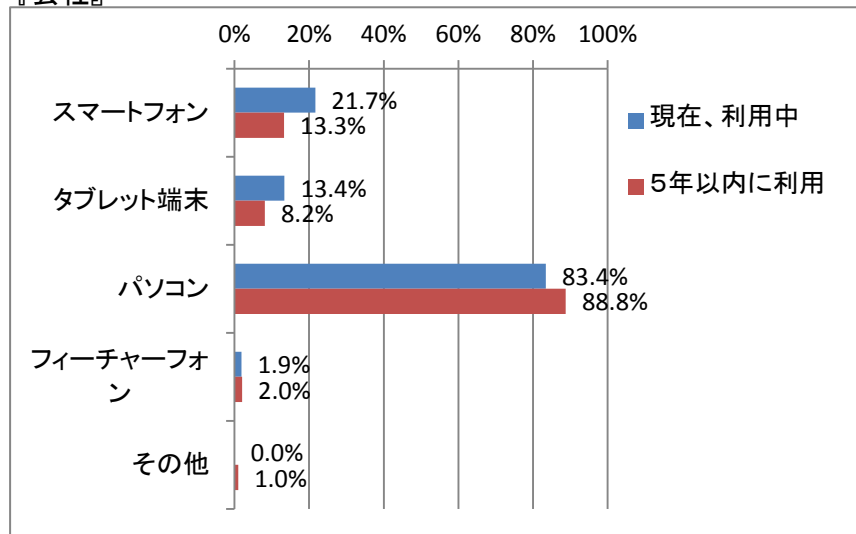
	#	%
語学	97	55.1%
IT関連	26	14.8%
会計・経理	16	9.1%
経営	12	6.8%
法律	18	10.2%
経済・金融	14	8.0%
管理知識 (プロジェクトマネジメントなど)	4	2.3%
営業・販売関連知識	4	2.3%
技術(機械)	4	2.3%
技術(電気・電子・自動車)	5	2.8%
技術(建築・土木)	2	1.1%
歴史・文学・哲学・美術	11	6.3%
数学・物理・化学	8	4.5%
医療・福祉	13	7.4%
労働安全・衛生・環境・品質 (ISO9000/14000含む)	6	3.4%
不動産	2	1.1%
自社商品知識・社内規定	3	1.7%
小中高の学校教育科目 (国語・社会・数学・理科・英語等)	6	3.4%
その他専門知識 (農業・服飾・栄養・理容等)	5	2.8%
その他(*)	5	2.8%

*「その他」の回答

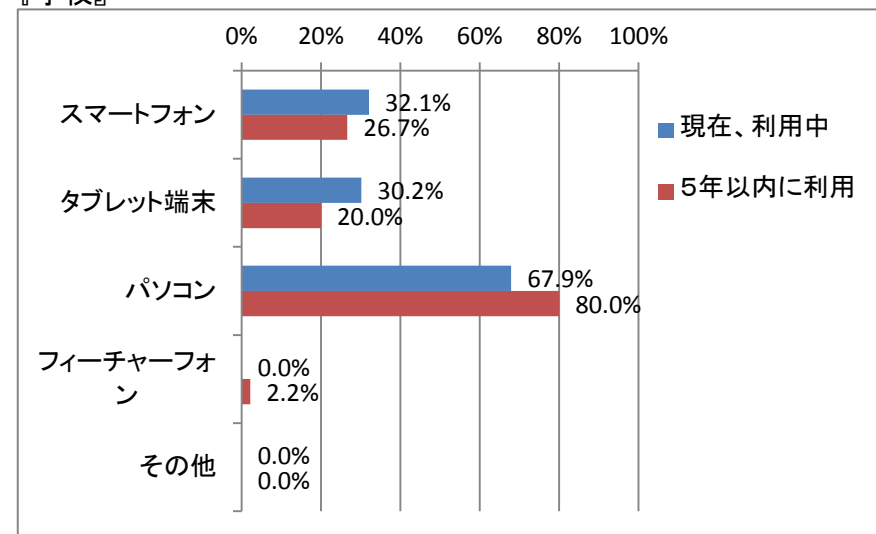
- ・心理学
- ・パソコンアプリ
- ・イラスト
- ・学習するにあたっての的なもの
- ・慶應大学の授業

DEF-2. 「eラーニング」のデバイスの動向 <各複数回答可>

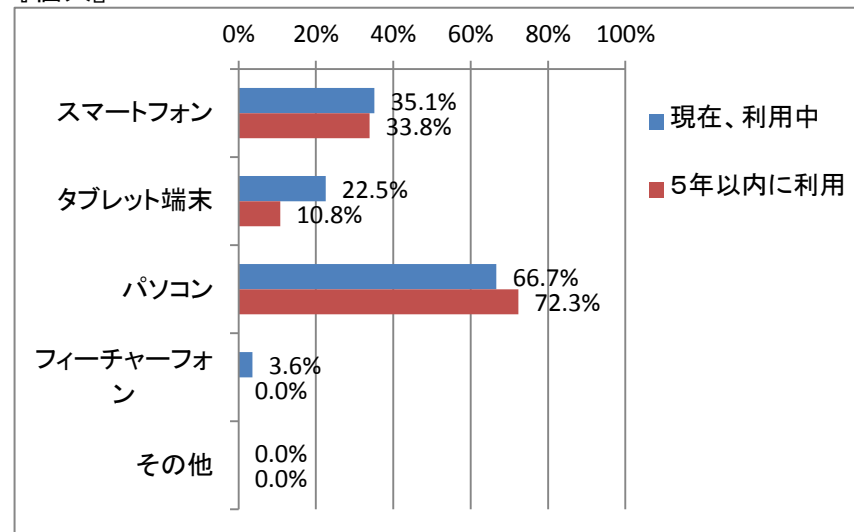
『会社』



『学校』



『個人』



<“C-①”で、『会社』でeラーニングの利用経験があると回答した人について(n=255人)>

『会社』	#		%	
	157	98		
n=	現在、利用中	5年以内に利用	現在、利用中	5年以内に利用
スマートフォン	34	13	21.7%	13.3%
タブレット端末	21	8	13.4%	8.2%
パソコン	131	87	83.4%	88.8%
フィーチャーフォン	3	2	1.9%	2.0%
その他	0	1	0.0%	1.0%

<“C-①”で、『学校』でeラーニングの利用経験があると回答した人について(n=98人)>

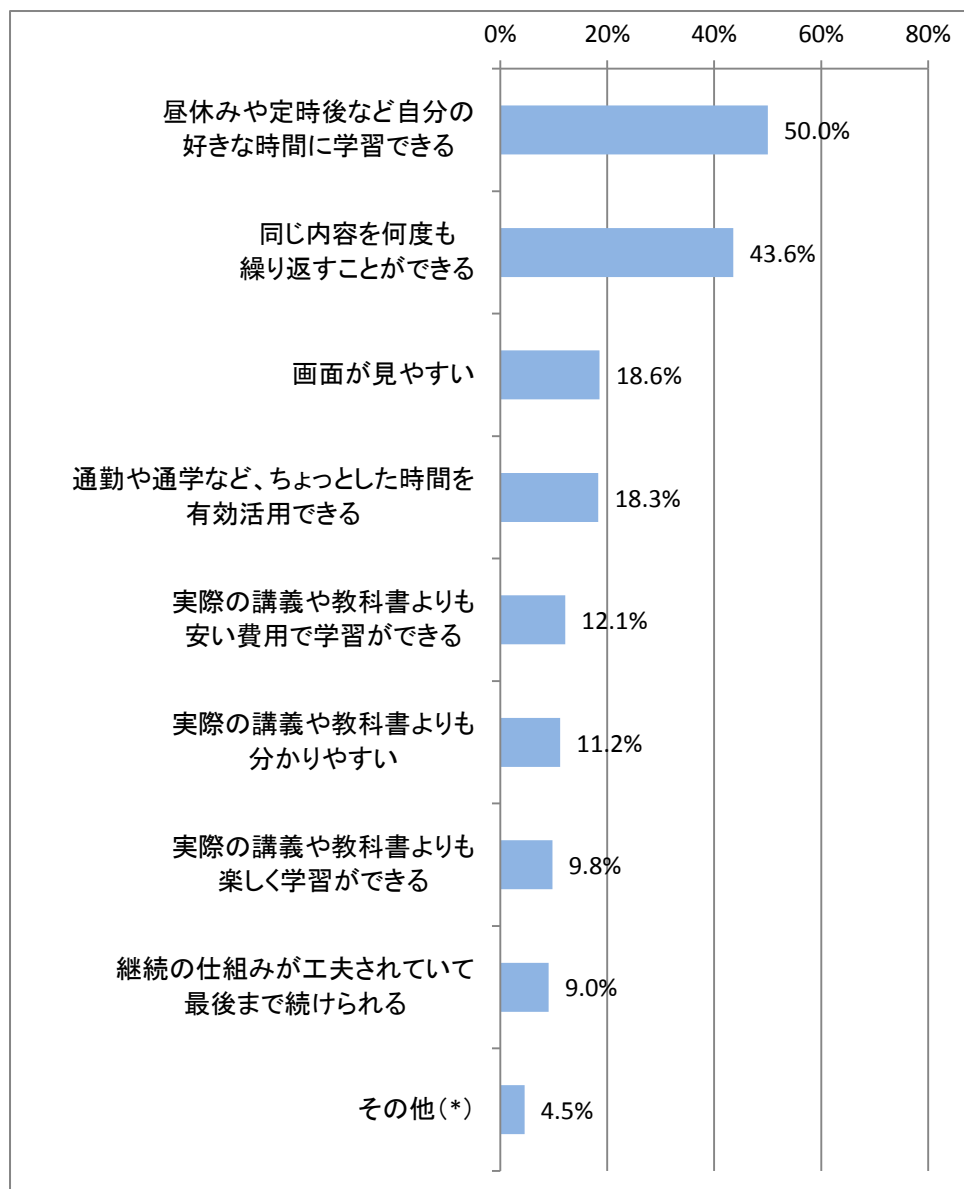
『学校』	#		%	
	53	45		
n=	現在、利用中	5年以内に利用	現在、利用中	5年以内に利用
スマートフォン	17	12	32.1%	26.7%
タブレット端末	16	9	30.2%	20.0%
パソコン	36	36	67.9%	80.0%
フィーチャーフォン	0	1	0.0%	2.2%
その他	0	0	0.0%	0.0%

<“C-①”で、『個人』でeラーニングの利用経験があると回答した人について(n=176人)>

『個人』	#		%	
	111	65		
n=	現在、利用中	5年以内に利用	現在、利用中	5年以内に利用
スマートフォン	39	22	35.1%	33.8%
タブレット端末	25	7	22.5%	10.8%
パソコン	74	47	66.7%	72.3%
フィーチャーフォン	4	0	3.6%	0.0%
その他	0	0	0.0%	0.0%

<全員への質問>

G. これまで「eラーニング」を利用してきて、良かったこと、役に立ったと感じたこと<複数回答可>



n= 420

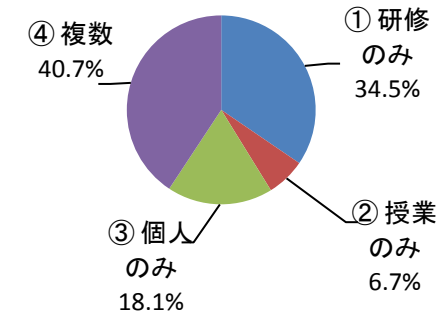
	#	%
昼休みや定時後など自分の好きな時間に学習できる	210	50.0%
同じ内容を何度も繰り返すことができる	183	43.6%
画面が見やすい	78	18.6%
通勤や通学など、ちょっとした時間を有効活用できる	77	18.3%
実際の講義や教科書よりも安い費用で学習ができる	51	12.1%
実際の講義や教科書よりも分かりやすい	47	11.2%
実際の講義や教科書よりも楽しく学習ができる	41	9.8%
継続の仕組みが工夫されていて最後まで続けられる	38	9.0%
その他(*)	19	4.5%

*「その他」の回答

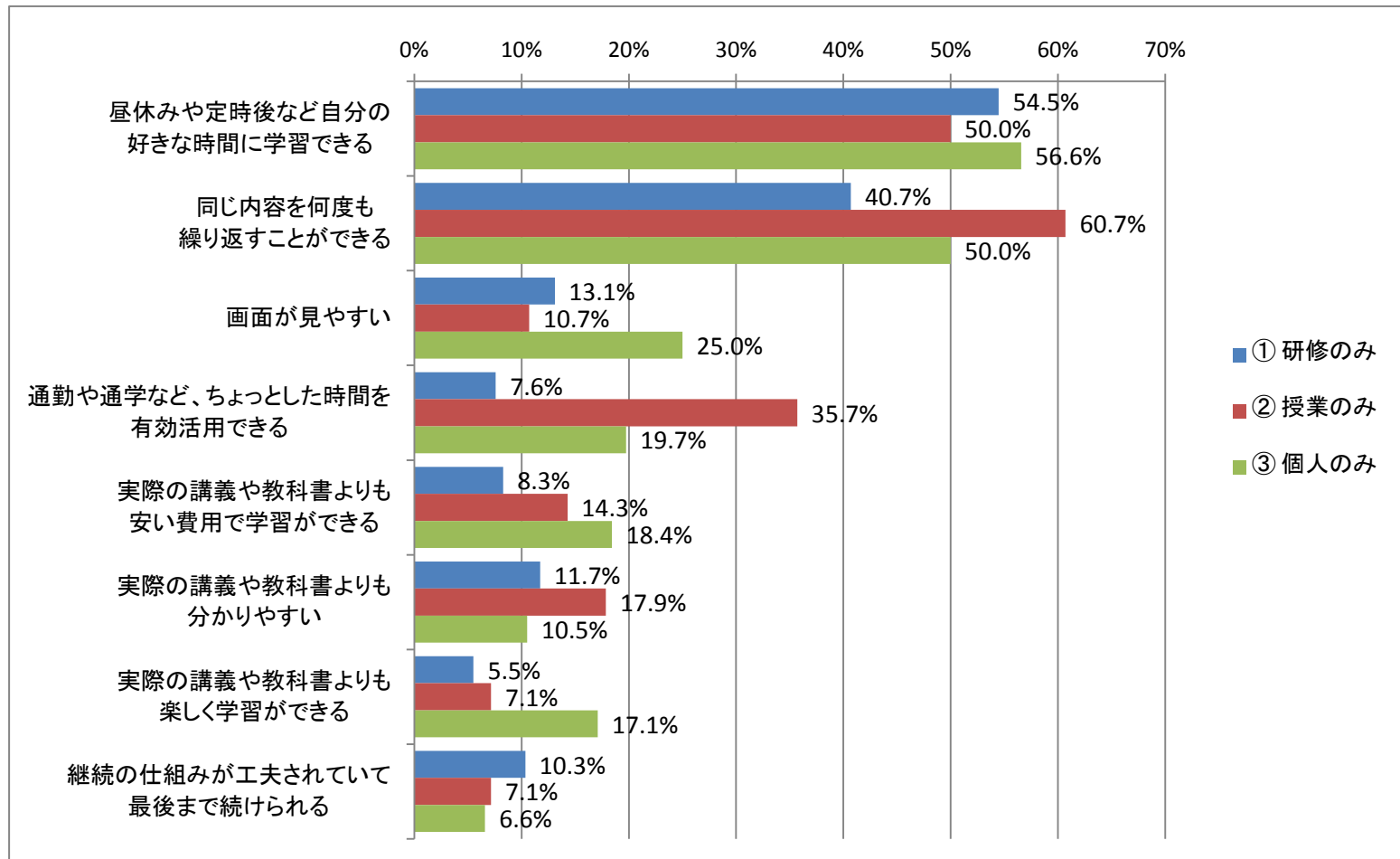
- ・通学しなくとも勉強できる(2人)
- ・遠方の研修場所にいなくてもよい
- ・通学できないときに
- ・テキストを使った学習よりも取り掛かりやすい
- ・テストで役立った
- ・結局やる気がないとだめです。
- ・役に立つことはありませんでした
- ・なし、特になし(6人)

G-2. これまで「eラーニング」を利用してきて、良かったこと、役に立ったと感じたこと〈複数回答可〉

①研修のみで利用している人
 ②授業のみで利用している人
 ③個人でのみ利用している人
 を抜き出して集計
 (複数で利用している人を除外して集計)



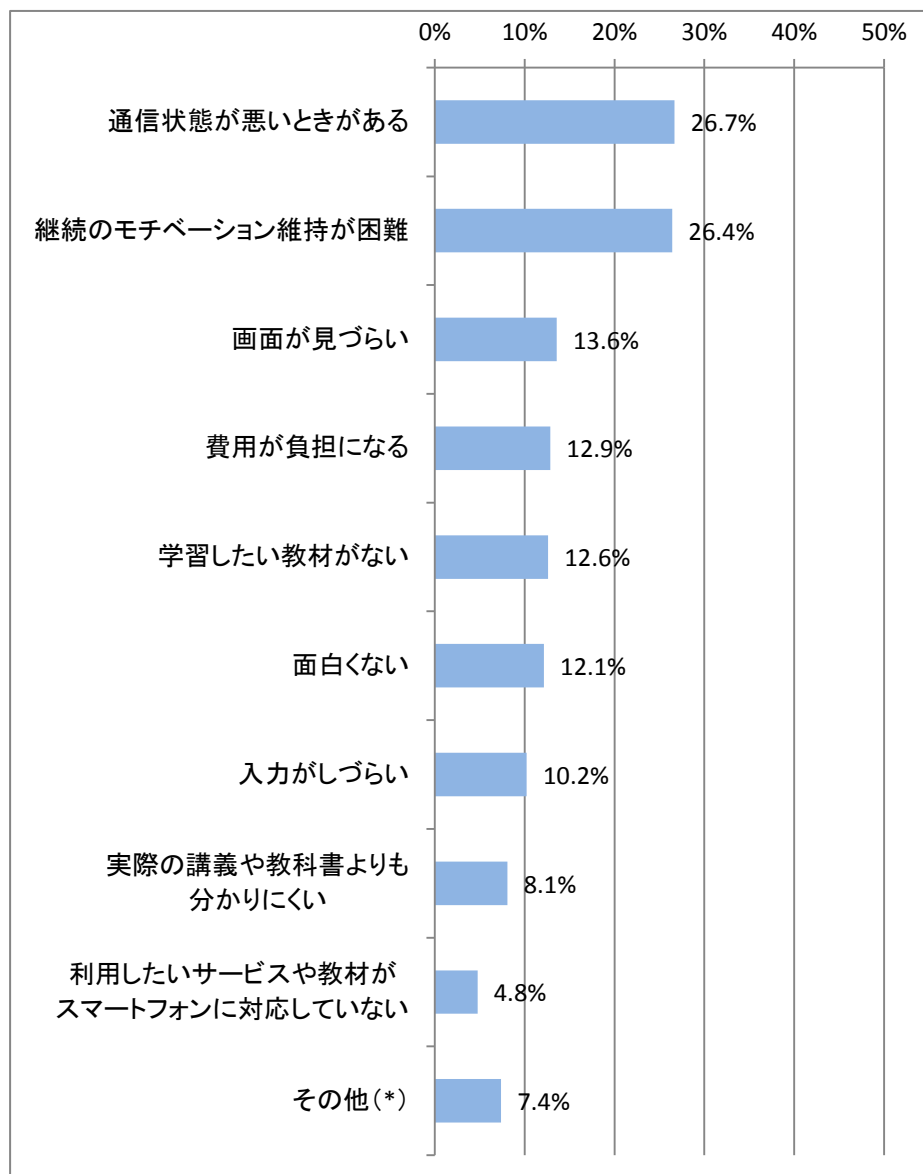
<分類別>



	分類	昼休みや 定時後など 自分の好きな 時間に学習 できる	同じ内容を 何度も繰り返 すことができ る	画面が見 やすい	通勤や通 学など、ち よっとした 時間を有効 活用できる	実際の講 義や教科 書よりも安 い費用で学 習ができる	実際の講 義や教科 書よりも分 かりやすい	実際の講 義や教科 書よりも学 習ができる	継続の仕 組みが工 夫されて いて最後 まで続け られる	その他	n
#	① 研修のみ	79	59	19	11	12	17	8	15	4	145
	② 授業のみ	14	17	3	10	4	5	2	2	1	28
	③ 個人のみ	43	38	19	15	14	8	13	5	1	76
	④ 複数	74	69	37	41	21	17	18	16	13	171
	計(全体)	210	183	78	77	51	47	41	38	19	420
%	① 研修のみ	54.5%	40.7%	13.1%	7.6%	8.3%	11.7%	5.5%	10.3%	2.8%	100.0%
	② 授業のみ	50.0%	60.7%	10.7%	35.7%	14.3%	17.9%	7.1%	7.1%	3.6%	100.0%
	③ 個人のみ	56.6%	50.0%	25.0%	19.7%	18.4%	10.5%	17.1%	6.6%	1.3%	100.0%
	④ 複数	43.3%	40.4%	21.6%	24.0%	12.3%	9.9%	10.5%	9.4%	7.6%	100.0%
	計(全体)	50.0%	43.6%	18.6%	18.3%	12.1%	11.2%	9.8%	9.0%	4.5%	100.0%

<全員への質問>

H. これまで「eラーニング」を利用したなかで、不満に感じたこと<複数回答可>



n= 420

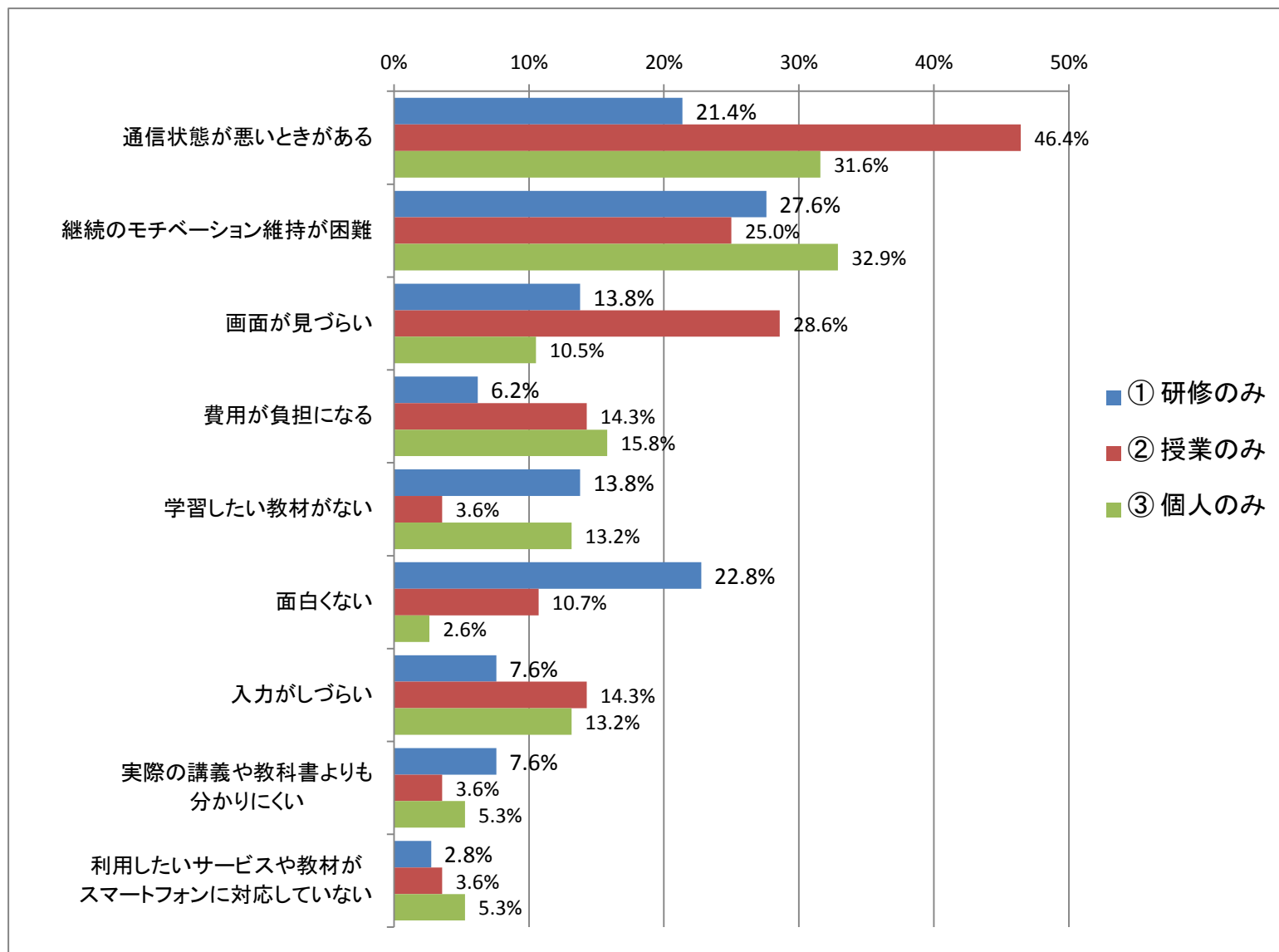
	#	%
通信状態が悪いときがある	112	26.7%
継続のモチベーション維持が困難	111	26.4%
画面が見づらい	57	13.6%
費用が負担になる	54	12.9%
学習したい教材がない	53	12.6%
面白くない	51	12.1%
入力がしづらい	43	10.2%
実際の講義や教科書よりも分かりにくい	34	8.1%
利用したいサービスや教材がスマートフォンに対応していない	20	4.8%
その他(*)	31	7.4%

*「その他」の回答

- ・勉強にならない
- ・不明点が解決できない
- ・勉強したいところが見つけにくく、まどろっこしい場合がある
- ・復習したいとき、どこを見たらよいのか探すことが多い
- ・勤務時間外に自宅で学習することになる。
- ・指定された場所で受けるのでそこまで行くのが大変だった
- ・長くてイライラしてくる
- ・学習中に電話がかかってきて対応しないといけない
- ・自分で教本を読んだほうがメリハリがあっている
- ・好きだったアプリが不人気のため途中で終了してしまった
- ・家族の物なので、頻繁につかえなかった
- ・特になし(16人)

H-2. これまで「eラーニング」を利用したなかで、不満に感じたこと〈複数回答可〉

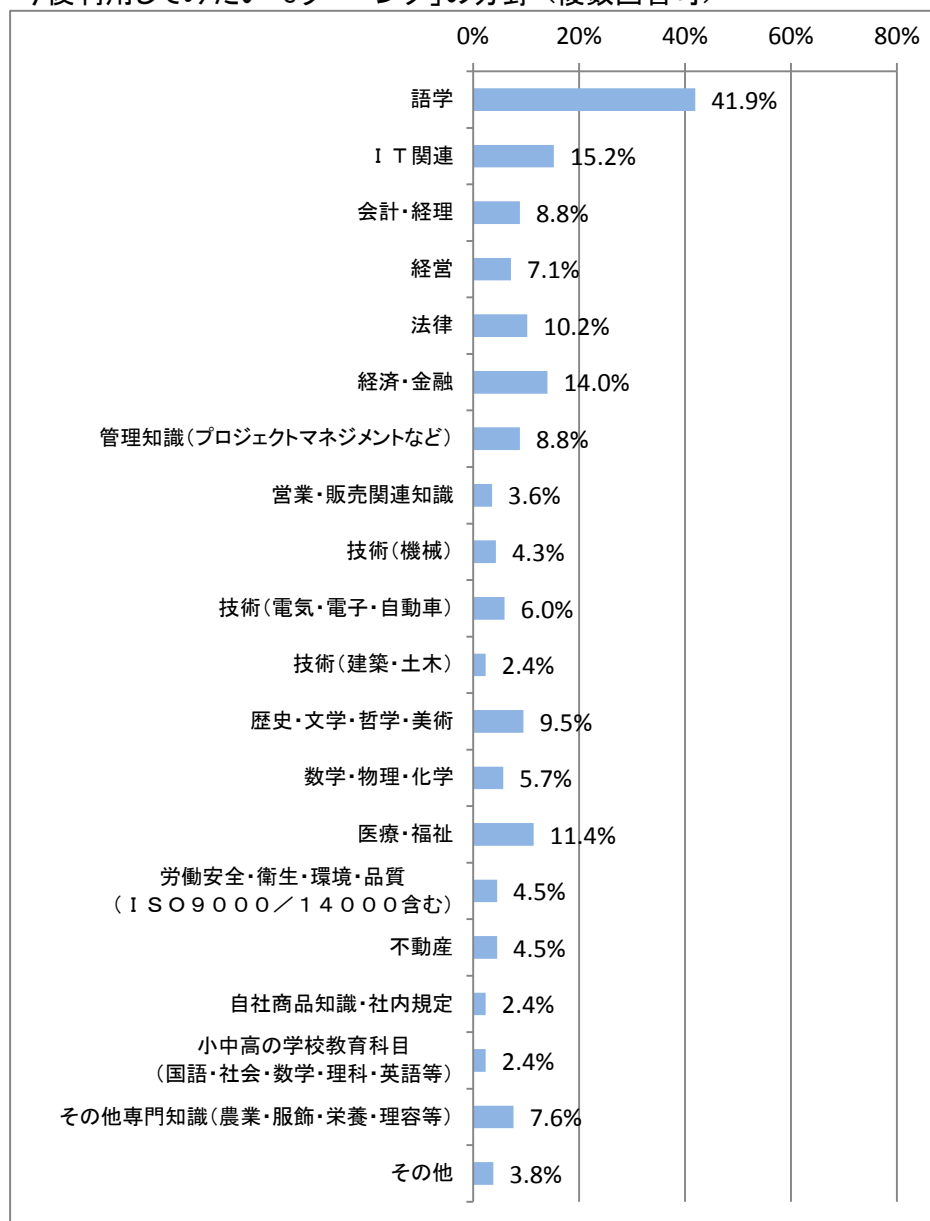
<分類別>



	分類	通信状態 が悪いと きがある	継続のモ チベー ション維 持が困難	画面が見 づらい	費用が負 担になる	学習した い教材が ない	面白くな い	入力がし づらい	実際の講 義や教科 書よりも 分かりに くい	利用した いサービ スや教材 が スマート フォンに 対応して いない	その他	n
#	① 研修のみ	31	40	20	9	20	33	11	11	4	12	145
	② 授業のみ	13	7	8	4	1	3	4	1	1	0	28
	③ 個人のみ	24	25	8	12	10	2	10	4	4	6	76
	④ 複数	44	39	21	29	22	13	18	18	11	13	171
	計(全体)	112	111	57	54	53	51	43	34	20	31	420
%	① 研修のみ	21.4%	27.6%	13.8%	6.2%	13.8%	22.8%	7.6%	7.6%	2.8%	8.3%	100.0%
	② 授業のみ	46.4%	25.0%	28.6%	14.3%	3.6%	10.7%	14.3%	3.6%	3.6%	0.0%	100.0%
	③ 個人のみ	31.6%	32.9%	10.5%	15.8%	13.2%	2.6%	13.2%	5.3%	5.3%	7.9%	100.0%
	④ 複数	25.7%	22.8%	12.3%	17.0%	12.9%	7.6%	10.5%	10.5%	6.4%	7.6%	100.0%
	計(全体)	26.7%	26.4%	13.6%	12.9%	12.6%	12.1%	10.2%	8.1%	4.8%	7.4%	100.0%

<全員への質問>

I. 今後利用してみたい「eラーニング」の分野<複数回答可>



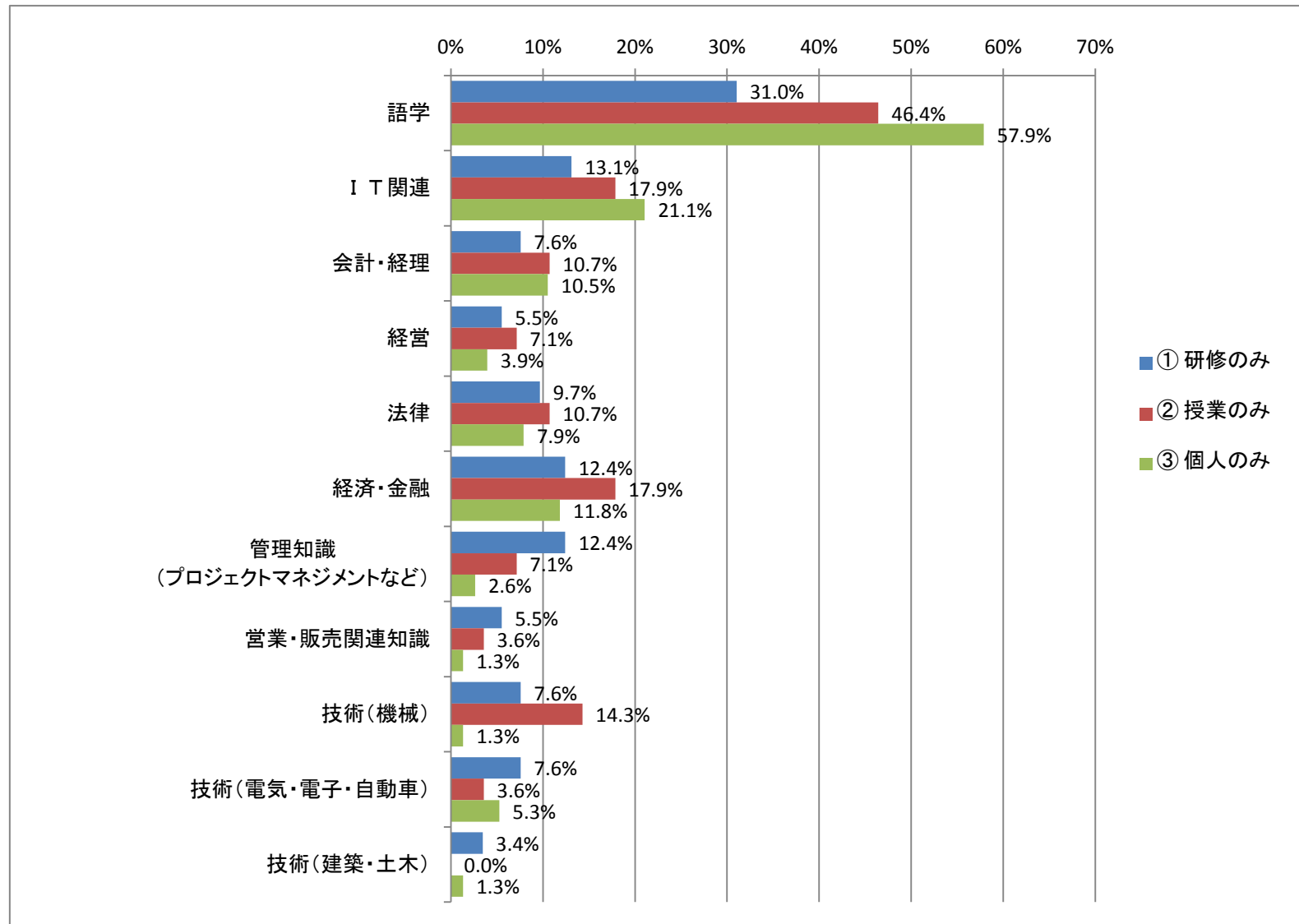
n= 420

	#	%
語学	176	41.9%
IT関連	64	15.2%
会計・経理	37	8.8%
経営	30	7.1%
法律	43	10.2%
経済・金融	59	14.0%
管理知識(プロジェクトマネジメントなど)	37	8.8%
営業・販売関連知識	15	3.6%
技術(機械)	18	4.3%
技術(電気・電子・自動車)	25	6.0%
技術(建築・土木)	10	2.4%
歴史・文学・哲学・美術	40	9.5%
数学・物理・化学	24	5.7%
医療・福祉	48	11.4%
労働安全・衛生・環境・品質 (ISO9000/14000含む)	19	4.5%
不動産	19	4.5%
自社商品知識・社内規定	10	2.4%
小中高の学校教育科目 (国語・社会・数学・理科・英語等)	10	2.4%
その他専門知識(農業・服飾・栄養・理容等)	32	7.6%
その他	16	3.8%

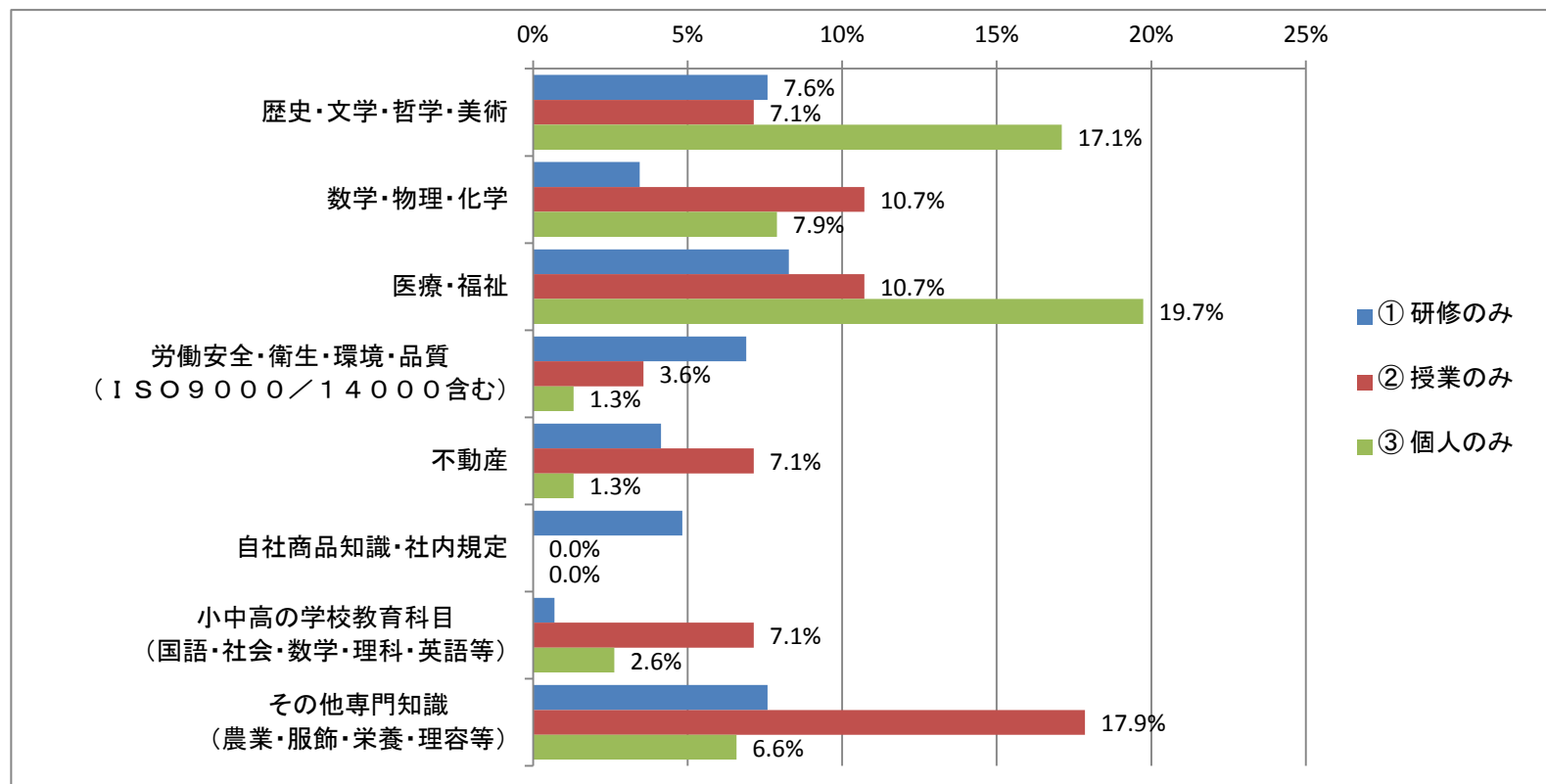
- *「その他」の回答
- ・心理学
 - ・イラスト
 - ・セキュリティ
 - ・趣味の知識的な内容
 - ・なし、特になし(11人)

I-2. 今後利用してみたい「eラーニング」の分野〈複数回答可〉

<分類別>



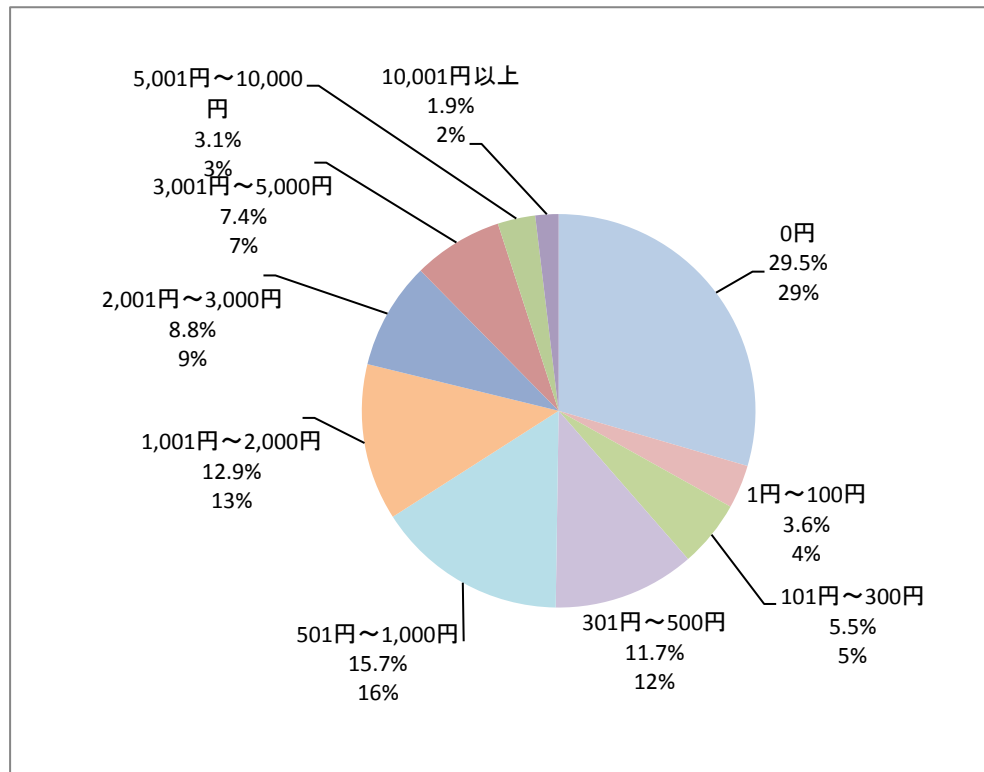
<つづく>
↓ ↓ ↓



	#					%				
	① 研修のみ	② 授業のみ	③ 個人のみ	④ 複数	計(全体)	① 研修のみ	② 授業のみ	③ 個人のみ	④ 複数	計(全体)
語学	45	13	44	74	176	31.0%	46.4%	57.9%	43.3%	41.9%
IT関連	19	5	16	24	64	13.1%	17.9%	21.1%	14.0%	15.2%
会計・経理	11	3	8	15	37	7.6%	10.7%	10.5%	8.8%	8.8%
経営	8	2	3	17	30	5.5%	7.1%	3.9%	9.9%	7.1%
法律	14	3	6	20	43	9.7%	10.7%	7.9%	11.7%	10.2%
経済・金融	18	5	9	27	59	12.4%	17.9%	11.8%	15.8%	14.0%
管理知識 (プロジェクトマネジメントなど)	18	2	2	15	37	12.4%	7.1%	2.6%	8.8%	8.8%
営業・販売関連知識	8	1	1	5	15	5.5%	3.6%	1.3%	2.9%	3.6%
技術(機械)	11	4	1	2	18	7.6%	14.3%	1.3%	1.2%	4.3%
技術(電気・電子・自動車)	11	1	4	9	25	7.6%	3.6%	5.3%	5.3%	6.0%
技術(建築・土木)	5	0	1	4	10	3.4%	0.0%	1.3%	2.3%	2.4%
歴史・文学・哲学・美術	11	2	13	14	40	7.6%	7.1%	17.1%	8.2%	9.5%
数学・物理・化学	5	3	6	10	24	3.4%	10.7%	7.9%	5.8%	5.7%
医療・福祉	12	3	15	18	48	8.3%	10.7%	19.7%	10.5%	11.4%
労働安全・衛生・環境・品質 (ISO9000/14000含む)	10	1	1	7	19	6.9%	3.6%	1.3%	4.1%	4.5%
不動産	6	2	1	10	19	4.1%	7.1%	1.3%	5.8%	4.5%
自社商品知識・社内規定	7	0	0	3	10	4.8%	0.0%	0.0%	1.8%	2.4%
小中高の学校教育科目 (国語・社会・数学・理科・英語等)	1	2	2	5	10	0.7%	7.1%	2.6%	2.9%	2.4%
その他専門知識 (農業・服飾・栄養・理容等)	11	5	5	11	32	7.6%	17.9%	6.6%	6.4%	7.6%
その他	6	1	3	6	16	4.1%	3.6%	3.9%	3.5%	3.8%
n	145	28	76	171	420	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

<全員への質問>

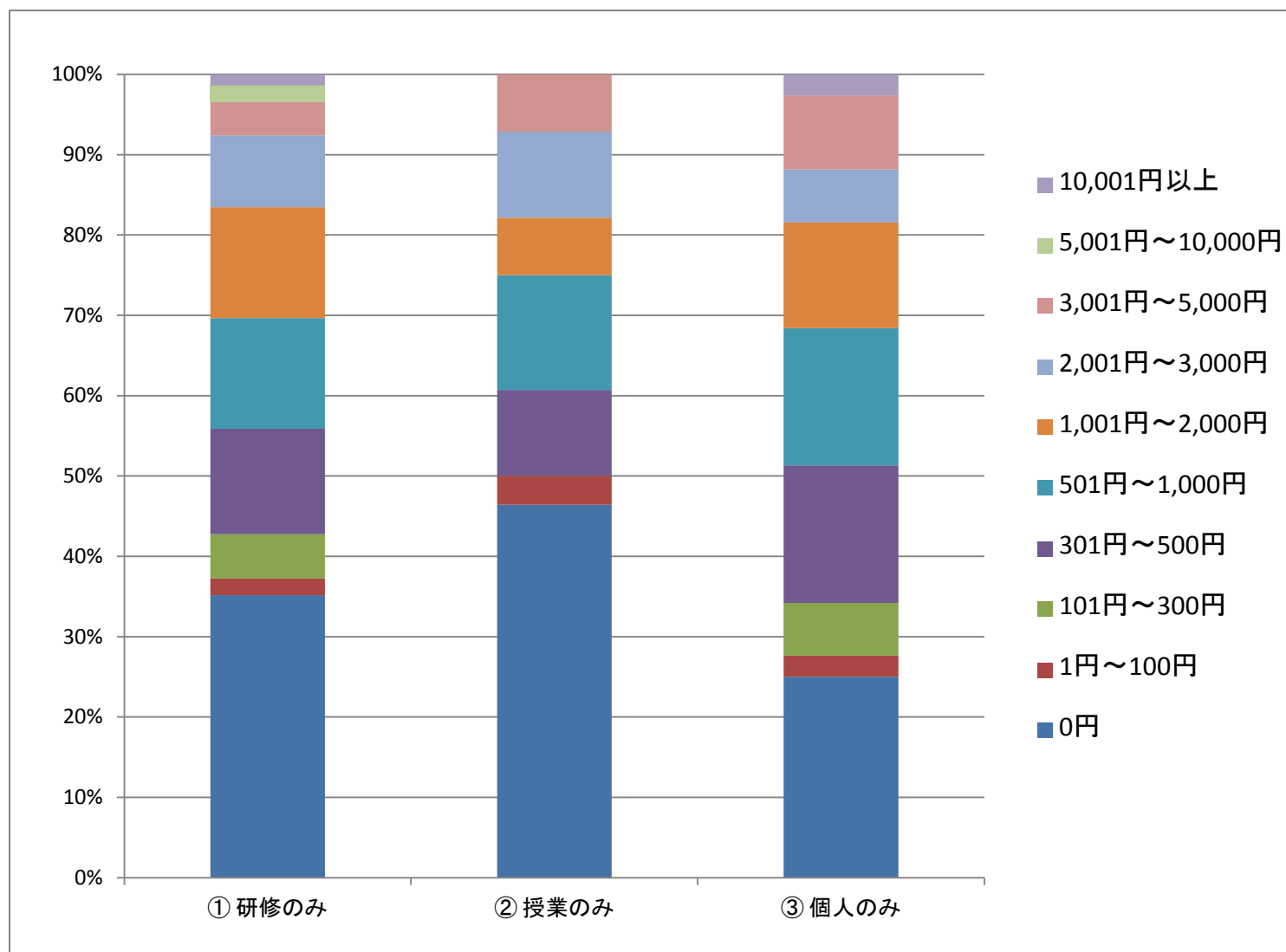
J. 今後、個人的に「eラーニング」を利用しようとした場合、支払っても良い月額〈択一回答〉



	#	%
0円	124	29.5%
1円~100円	15	3.6%
101円~300円	23	5.5%
301円~500円	49	11.7%
501円~1,000円	66	15.7%
1,001円~2,000円	54	12.9%
2,001円~3,000円	37	8.8%
3,001円~5,000円	31	7.4%
5,001円~10,000円	13	3.1%
10,001円以上	8	1.9%
計(n)	420	100.0%

J-2. 今後、個人的に「eラーニング」を利用しようとした場合、支払っても良い月額〈択一回答〉

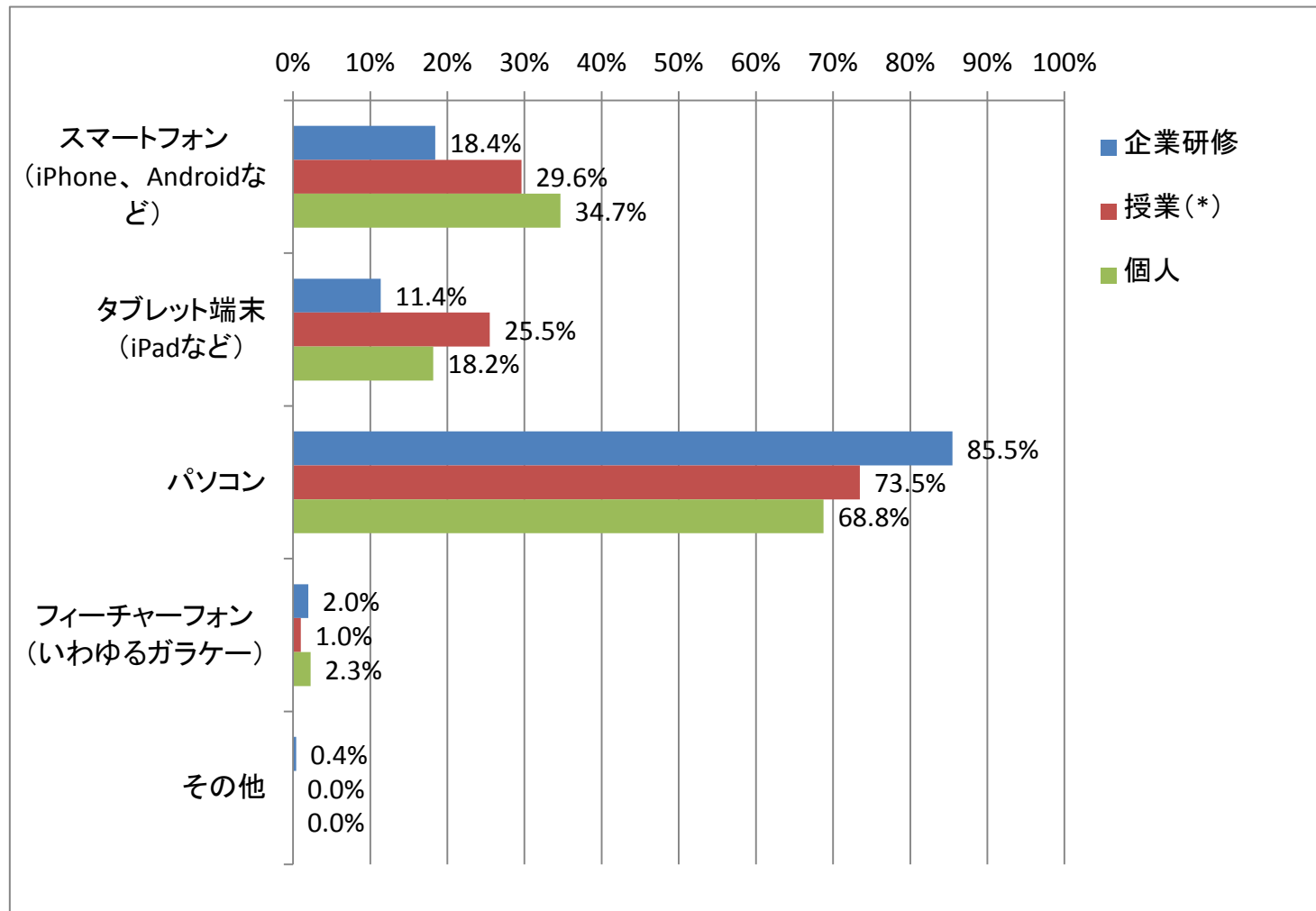
<分類別〉



	#					%				
	① 研修のみ	② 授業のみ	③ 個人のみ	④ 複数	計(全体)	① 研修のみ	② 授業のみ	③ 個人のみ	④ 複数	計(全体)
0円	51	13	19	41	124	35.2%	46.4%	25.0%	24.0%	29.5%
1円～100円	3	1	2	9	15	2.1%	3.6%	2.6%	5.3%	3.6%
101円～300円	8	0	5	10	23	5.5%	0.0%	6.6%	5.8%	5.5%
301円～500円	19	3	13	14	49	13.1%	10.7%	17.1%	8.2%	11.7%
501円～1,000円	20	4	13	29	66	13.8%	14.3%	17.1%	17.0%	15.7%
1,001円～2,000円	20	2	10	22	54	13.8%	7.1%	13.2%	12.9%	12.9%
2,001円～3,000円	13	3	5	16	37	9.0%	10.7%	6.6%	9.4%	8.8%
3,001円～5,000円	6	2	7	16	31	4.1%	7.1%	9.2%	9.4%	7.4%
5,001円～10,000円	3	0	0	10	13	2.1%	0.0%	0.0%	5.8%	3.1%
10,001円以上	2	0	2	4	8	1.4%	0.0%	2.6%	2.3%	1.9%
計(n)	145	28	76	171	420	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

K. 企業研修、授業、個人の比較 — 利用した/利用している「eラーニング」

K-① 「eラーニング」のデバイス〈複数回答可〉

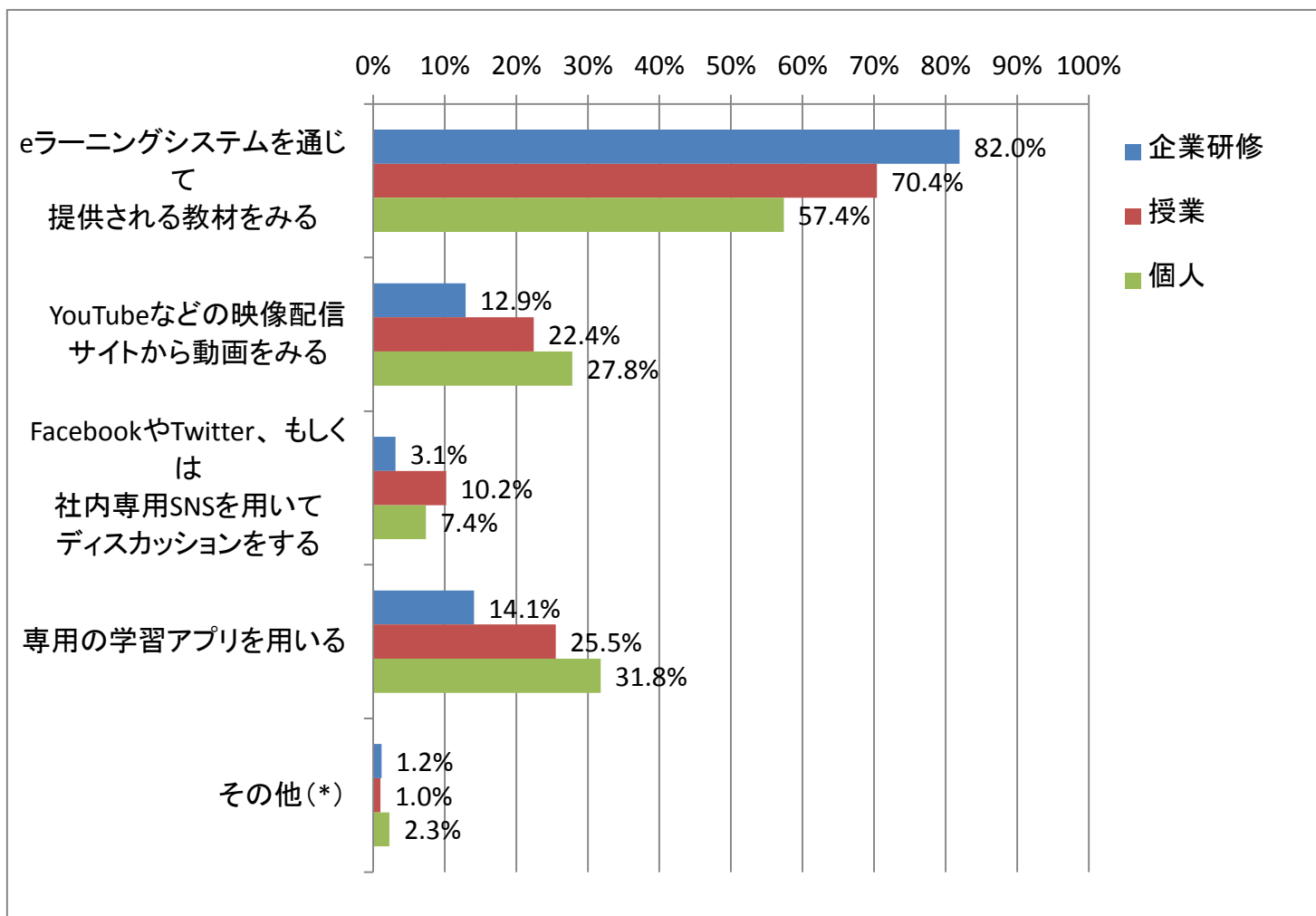


* 高校や大学、専門学校など(以下同様)

#		企業研修 n=255	授業(*) n=98	個人 n=176
		スマートフォン (iPhone、Androidなど)	47	29
	タブレット端末 (iPadなど)	29	25	32
	パソコン	218	72	121
	フィーチャーフォン (いわゆるガラケー)	5	1	4
	その他	1	0	0
%		企業研修	授業(*)	個人
		スマートフォン (iPhone、Androidなど)	18.4%	29.6%
	タブレット端末 (iPadなど)	11.4%	25.5%	18.2%
	パソコン	85.5%	73.5%	68.8%
	フィーチャーフォン (いわゆるガラケー)	2.0%	1.0%	2.3%
	その他	0.4%	0.0%	0.0%

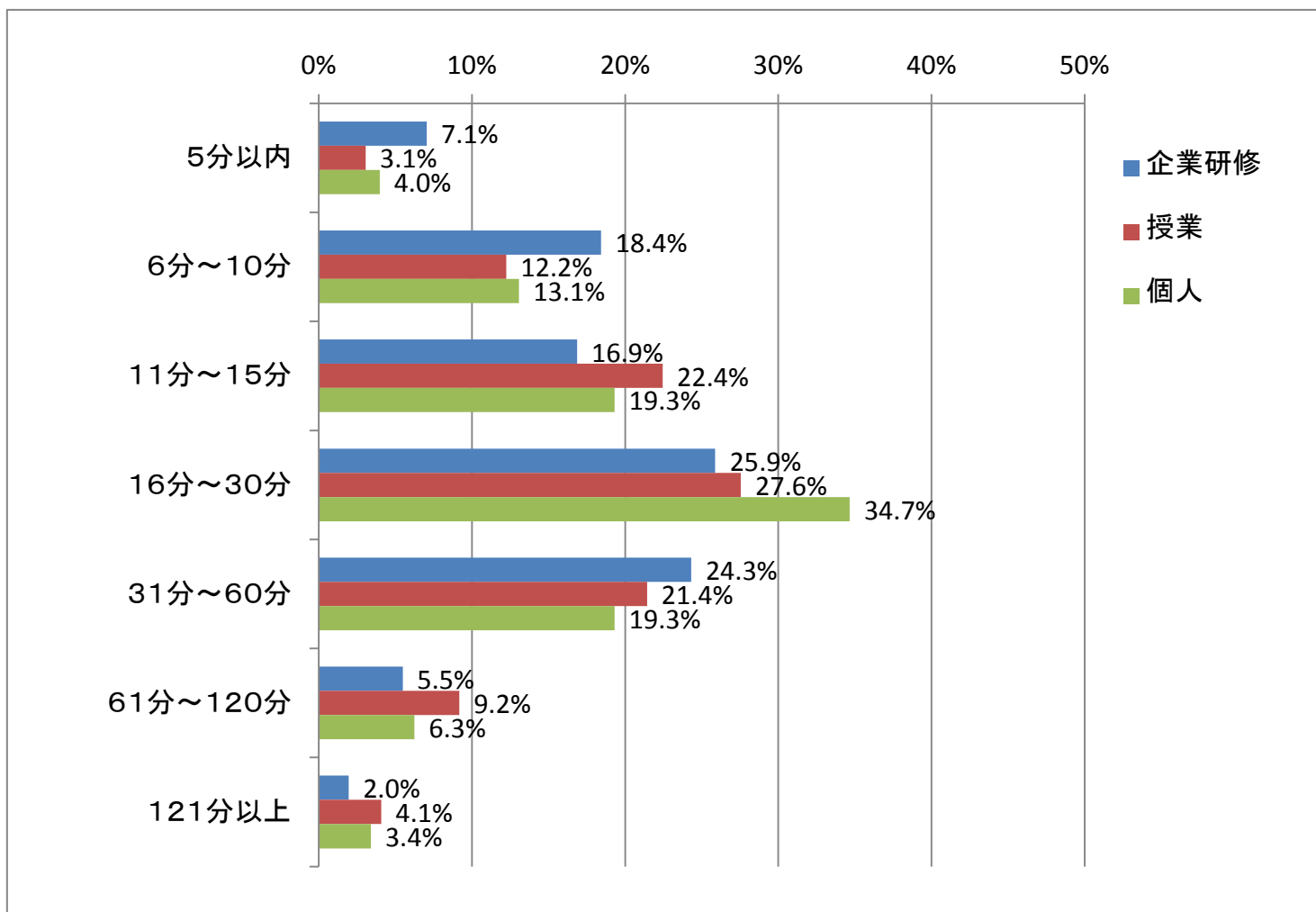
* 高校や大学、専門学校など(以下同様)

K-②「eラーニング」の方法〈複数回答可〉



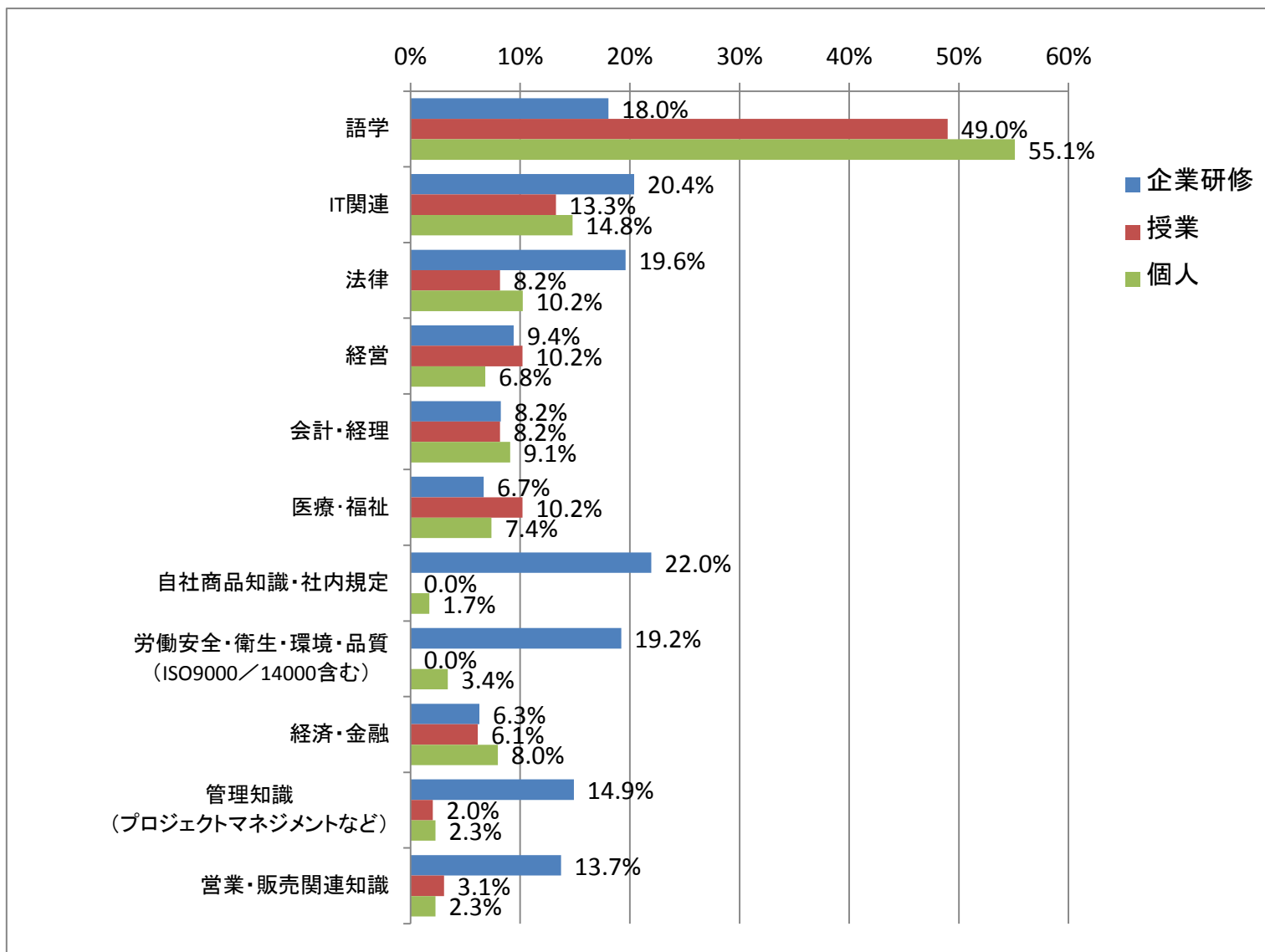
#		企業研修	授業	個人	
		n=255	n=98	n=176	
#	eラーニングシステムを通じて 提供される教材をみる	209	69	101	
	YouTubeなどの映像配信 サイトから動画をみる	33	22	49	
	FacebookやTwitter、もしくは 社内専用SNSを用いて ディスカッションをする	8	10	13	
	専用の学習アプリを用いる	36	25	56	
	その他(*)	3	1	4	
%		企業研修	授業	個人	
		eラーニングシステムを通じて 提供される教材をみる	82.0%	70.4%	57.4%
		YouTubeなどの映像配信 サイトから動画をみる	12.9%	22.4%	27.8%
		FacebookやTwitter、もしくは 社内専用SNSを用いて ディスカッションをする	3.1%	10.2%	7.4%
		専用の学習アプリを用いる	14.1%	25.5%	31.8%
		その他(*)	1.2%	1.0%	2.3%

K-③ 「eラーニング」の1度の利用時間〈択一回答〉



#		企業研修	授業	個人
		5分以内	18	3
	6分～10分	47	12	23
	11分～15分	43	22	34
	16分～30分	66	27	61
	31分～60分	62	21	34
	61分～120分	14	9	11
	121分以上	5	4	6
	計(n)	255	98	176
%		企業研修	授業	個人
		5分以内	7.1%	3.1%
	6分～10分	18.4%	12.2%	13.1%
	11分～15分	16.9%	22.4%	19.3%
	16分～30分	25.9%	27.6%	34.7%
	31分～60分	24.3%	21.4%	19.3%
	61分～120分	5.5%	9.2%	6.3%
	121分以上	2.0%	4.1%	3.4%
	計(n)	100.0%	100.0%	100.0%

K-④ 「eラーニング」の学習分野 <複数回答可>



	#			%		
	企業研修 n=255	授業 n=98	個人 n=176	企業研修	授業	個人
語学	46	48	97	18.0%	49.0%	55.1%
IT関連	52	13	26	20.4%	13.3%	14.8%
法律	50	8	18	19.6%	8.2%	10.2%
経営	24	10	12	9.4%	10.2%	6.8%
会計・経理	21	8	16	8.2%	8.2%	9.1%
医療・福祉	17	10	13	6.7%	10.2%	7.4%
自社商品知識・社内規定	56	0	3	22.0%	0.0%	1.7%
労働安全・衛生・環境・品質 (ISO9000/14000含む)	49	0	6	19.2%	0.0%	3.4%
経済・金融	16	6	14	6.3%	6.1%	8.0%
管理知識 (プロジェクトマネジメントなど)	38	2	4	14.9%	2.0%	2.3%
営業・販売関連知識	35	3	4	13.7%	3.1%	2.3%
歴史・文学・哲学・美術	3	7	11	1.2%	7.1%	6.3%
数学・物理・化学	2	7	8	0.8%	7.1%	4.5%
小中高の学校教育科目 (国語・社会・数学・理科・英語等)	4	7	6	1.6%	7.1%	3.4%
その他専門知識 (農業・服飾・栄養・理容等)	6	4	5	2.4%	4.1%	2.8%
技術(建築・土木)	8	4	2	3.1%	4.1%	1.1%
技術(電気・電子・自動車)	8	2	5	3.1%	2.0%	2.8%
技術(機械)	6	1	4	2.4%	1.0%	2.3%
不動産	3	0	2	1.2%	0.0%	1.1%
その他	14	1	5	5.5%	1.0%	2.8%